

福岡縣連絡委員會設置通報ニ関スル件  
陸軍ノ下関一福岡地區ノ進駐ニ伴フ要求事項ヲ  
回請ニ處理スル為福岡縣廳内ニ福岡縣聯合進駐軍  
連絡委員會設置セラレタル事トテ通報ス右委員會事  
務分担ニ關シテ進駐ノ事

0207

RA'-0108

0175

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

福岡縣連絡委員會事務分擔

事務局長

西政部長

櫻井三郎

委員事務分擔

總務部長

櫻井三郎

事務局主任

外務課長

美馬郁夫

補佐

翻譯外務官

連絡總務官

庶務課長

情報課長

會計課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

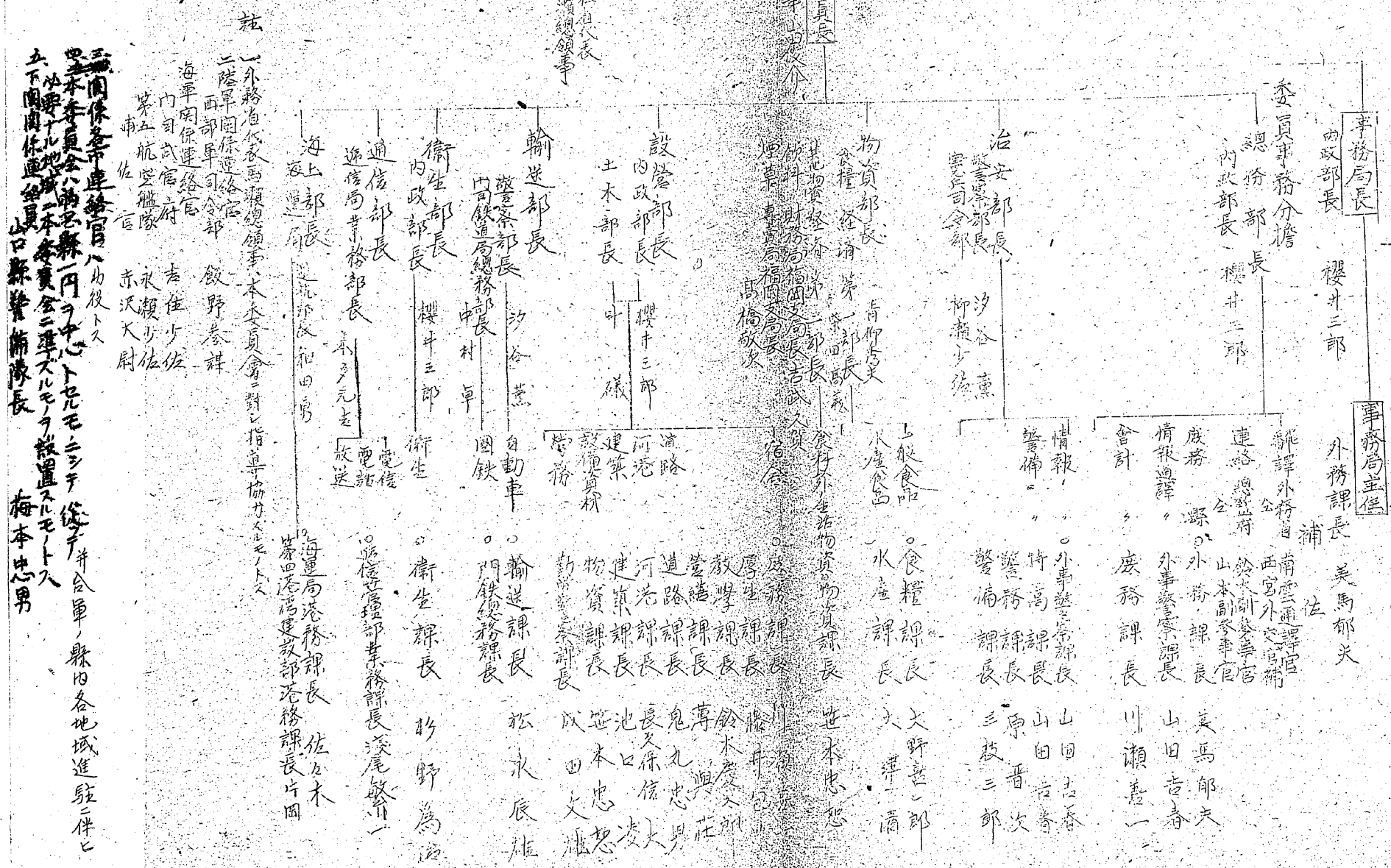
警備課長

警備課長

警備課長

警備課長

0208



Vertical text on the left side of the chart, likely providing additional context or specific instructions related to the organizational structure.



0209

進駐軍司令部ニ對スル希望

福岡縣聯合進駐軍連絡委員會

- 一、進駐軍ノ當方ニ對スル要求ハ總ベテ委員會ヲ通ジテ爲サレ度キコト、當方ヨリノ希望事項モ總ベテ委員會ヲ通ジテ爲スモノトス
- 二、要求ハ正確ヲ期スル爲原則トシテ責任者ノ署名セル文書ニ依リテ爲サレ度キコト
- 三、進駐軍ト市民トノ間ノ事故防止ノ爲M、Pニ依ル市内巡察ヲ實施サレ度キコト  
尙當方ヨリ希望セル場合ハ必要ナル個所ニ特ニM、Pノ「ガード」ヲ配置セラレ度シ、此ノ場合ハ當方ヨリモ警察官ヲ配置ス
- 四、彼我連絡機關タル委員會用自動車ハ縣内保有數ノ極メテ僅少ナルニ鑑ミ錢ニ提供方命令アリタル數量中ヨリ留保セラレ度キコト
- 五、官公署用自動車中必要最少限度ハ之ガ使令ノ重要性ニ鑑ミ進駐軍ニ於テ使用スルコトヲ避ケラレ度シ而シテ之ヲ證明スルマーク及之ガ證明書ヲ至急考慮セラレ度シ

RA'-0108

0177

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

聯合進駐軍連絡委員會回報第5號 九月二十日

委員 殿 委員長

情報 (録) 彼方来着社外事警察課長市ヨリ市長出迎アリ

一行(將校八名兵三名)八席田飛行場内格納庫ニ宿泊

尚九月二十日露當高ト會見ノ爲午後一時三十分

来廳ニ旨申入アリタリ  
九月二十日佐吉保ヨリ我海軍々人ヲ以テ別紙通福岡市長  
社書面ニヨリ要求連絡アリタリ

工作隊司令 クリス少佐、要求 (回報第5号)

一 自動車七輛ヲ以テ編成スル本部ヨリ派遣工作隊ハ九月二十日

五時頃板付飛行場ニ到着ノ予定ナリ 順路ハ佐吉保一佐校

一 田代一十中一校付飛行場ナリ

二 將校ハ兵ニ〇ヲ以テ編成スル當カ一ニ工作隊本部設置場ニ

必要ナル宿舎ヲ準備スベシコ宿舎ハ可及的速カニ將校一五兵

一〇ヲ收容スル様拵張サレキモトス 尚施設ニ電力浄水

排水装置直ノ合モトス  
九月二十日午後五時市役所ハ當工作隊ニ対シ板付飛行場ニ代表  
者ヲ出迎スル爲派遣スベシ

九月二十一日 工作隊司令 オスカート、カノウ少佐

福岡市長殿





0212

聯合進駐軍連絡委員會委員會回報第六号

情報第一号(九月二日) 本日午後一時半先遣隊一員(Chapley)少佐及他一名米廳縣廳

首腦部ト次、如キ會見ヲ為シタル後午後四時半退去セリ

一先遣隊口ビソノ少將以下二名本日席田飛行場ニ到着博

多ホテルニ宿泊ノ豫定ナリ

スミス中將モ父米福スルヤモ知レズ

二要求次ノ通りナリ

將校一五人 兩宿舎

兵一〇〇人

ナルベク飛行場附近ヲ希望ス  
但シ學校寺院等ハ使用ヲ避ケ

2. 倉庫

3. 電力関係

4. 上下水道

5. 下水道

6. 病院 約二五〇〇床

7. 瓦斯

8. 露营地

三以上ヲ具體的ニ要求セル後明日午後一時再ビ縣廳ニ於テ關係  
者集會ノ上同少佐ト會談スルコトナリタリ

四同少佐ハ縣廳ヨリ歸途内政部長ヲ同伴博多ホテルニ

立寄りロビンソン少將ノ部屋ヲ檢分セル後前記將校及兵

用宿舎ニ當具地檢分スル豫定ナリ

RA'-0108

0179

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

聯合進駐軍連絡委員會回報  
情報第...号

九月二十五日

第七号

本日午後一時ヨリ昨日ニ引續キ内政部長室ニ於テ Chulphay  
少佐ヨリ次々如キ質問並ビニ説明アリタル後午後四時半明日午  
后二時再會ヨリ約シテ歸還セリ

記

- 一、ロビンソン少將ハ九州全土ノ飛行場、道路、建物、水道、電氣等ニ関  
スル設營隊長ニシテ其下ニクルーウェイ少佐及ビ Chulphay 少佐アリ  
此ガ擔當地域ハ佐賀、唐津、福岡、北九州ニ至ル間ナリ
- 二、宿舎、前日未解決ナリ宿舎ハ東洋空器工場事務所使用ス  
ルトニ決定セリ此ガ爲明朝七時雜役夫五人ヲ去頭セムベキコトヲ要求  
ス
- 三、電力、詳細ナル質問ナシ
- 四、陸軍関係、地雷布設関係及ヒ岸田飛行場設營関係ニキ  
質問セルモ其責任者去席セル爲明朝返答スベキコトナリ
- 五、海軍関係、福岡縣内飛行隊ハ陸軍ヨリ海軍ニ其位置燃料ハ何處  
ニ置カレタルカ等ニキ質問アリ

持參セルヤ等ニキ質問アリ飛行場設營関係ニ就テハ明晩責任者  
ヨリ解答スベキ事ヲ約セリ

六、倉庫、港灣、港灣関係ニ就テ博多及ビ門司港ニキ主トシテ水深、機  
関係等ニキ質問アリ

七、石油、福岡地区石油統制方法野油所、塩道一時期放棄量之  
ク、圖面、何千噸、船ガ入ルカ等ニキ質問アリ

八、瓦斯、福岡中一日總出能力、現在使用量、貯藏量、使用目的等ニ  
キ質問アリ

九、通信施設、佐賀迄ハ何時回復スルヤ岸田飛行場附近、復旧ヲ週  
間以内テヤラレ度シ

十、其他、福岡中ノ上水道、下水道等ニ就キ質問アリ

以上ヲ通ジテ受ケタル印象ハ良好ニシテ本日解決セザリシ具體的問題  
ニシテ明日午後二時文書ヨリ要求スベキコトヲ約シ終了セリ

外務課長

0213

RA'-0108

0100

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan



聯合進駐軍連絡委員會回報

九月二十六日

才八号

情報 第三号

本日午前十一時 Chaffey 少佐、Brygman 少佐ヲ帶同シテ内政部長  
室ヲ訪問 今後ハ主トシテブレックマン少佐ガ委員會ト接續  
當ル旨説明シ、コリア少佐ハ直ニ引揚ケテ少佐ヨリ次如要アリ

昨日約束セル各種資料、提出

英文原稿三種各三五枚ハ印刷依頼

本日八取敢ヘテ福岡市内ニ於テ

進駐軍ニ於テ使用セラルル事務所候補地トシテ、貸間、易保險局、出石  
屋、九州帝大及宿舍トシテ、一方亭ヨリ現地視察又ルコトナリ、縣川瀬  
庶務課長及市吏員一名ヲ同伴、午後二時半、出發セリ

明日ハ港灣関係及倉庫関係等、現地視察ヲ為ス予定有之

本日以降、委員會報告書記載、各種事務ハ、付現地視察ヲ爲  
ス予定ナリ

外務課長

0214

RA'-0108



外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

聯合進駐軍連絡委員會回報第九號

九月二十七日

聯合進駐軍先遣隊ウインシンガー大佐一行二十五名午後三時ニ縣廳着知事以下各委員ト會見次ノ如キ打合セラ行ヒタリ

- 一、福岡及北九州ヘノ進駐ハ漸次實施スル
- 一、シュミット將軍ハ之ガ監督ノ爲來福スル其ノ時機ハ追テ通知スルノデ準備ヲ頼ム
- 一、委員名簿二十五枚作製ノ上明日提出セヨ
- 一、福岡市長ニ面會シタ<sup>明</sup>朝九時ニ出頭セシメラレタシ
- 一、宿泊施設トシテハ軍隊ノ分ハ全部使用スル
- 一、學校、個人住宅、神社等、院ハ原則トシテ使用セズ
- 一、調査班ハマツカーサーノ司令書ニ準ジテ實施スル
- 一、九月三十日兵凡ソ一、五〇〇名將校一二五名佐世保ヨリ汽車ニテ

福岡縣

進駐ス之ハ飛行場其ノ他ノ施設護衛ノ爲ナリ

- 一、明日ウイリアム大佐ハウツド少佐ヲ同伴市内ノ宿舍タルベキ建物ヲ視察ス明日午前七時三十分迄ニ博多ホテルニ通譯一名カイド一名ト自動車二臺ヲ提出スベシ宿舍トシテハ博多航空隊、福岡航空隊、小富士航空隊ヲ視察ス
- 一、福岡地區ノ駐屯區域ハ市ヲ中心トシテ十哩半徑ノ地域トス
- 一、右區域内ノ日本軍ハ一、五〇〇名ヲ除キ撤退セシムベシ
- 一、飲料水ハ一日一萬屯ヲ要求ス
- 一、電力ハ一日五、〇〇〇キロヲ要求ス
- 一、警察關係ニ付本縣警察ノ組織人員並召集解除ノ數明日迄ニ承知シタシ
- 一、進駐軍ノ警備ハ米軍ニ於テ實施ス日本側ノ警備ハ警察官ニヨリ實施セラレタシ

(福岡一)



一、福岡地區へノ進駐ハ

- 1、三十日ニ一、七〇〇名程度
  - 2、一週間乃至二週間以内ニ漸次増加シ五、〇〇〇名程度トナル
  - 3、以後ハ漸増シテ一七、〇〇〇名程度トナル
  - 4、情勢ニ依リ三五、〇〇〇名迄ハ進駐ノ豫定ナリ
  - 5、夫以上ノ必要ナキモノト認ムルモ必要ニ依リテハ六〇、〇〇〇名迄進駐ノ準備アリ
  - 6、三五、〇〇〇名ノ内三〇、〇〇〇名ハ飛行士ノ他飛行士ノ他飛行場關係軍隊ナリ
- 右ハ計畫ノ大体デアルカラ變更セラルルヤモ知レズ
- 一、駐屯地ハ北九州ハ別デアル
  - 一、駐屯軍ハ芦屋、雁ノ巢、席田飛行場ヲ中心トシテ配置ス
  - 一、宿舍ハ工場ノ寄宿舍ニテモ可ナリ
  - 一、進駐ハ海路ニ依ルカ空輸ニ依ルカ陸行スルカハ其ノ時ノ模様デア

福岡縣

ルカラ判然セズ、

- 一、明日午前十時ニ知事ト正式面會致シタシ
- 一、福岡地區ノ駐屯ハ大牟田、久留米ヲ含ム地域ニ三五、〇〇〇名ナリ
- 一、北九州ノ門司ハ右以外ニ十月十六日ニ比島ヨリ二〇、〇〇〇名來ル豫定ナリ

(註一)

聯合進駐軍連絡委員會報

九月三十日

芳書

一 進駐軍司令官ロビンソン海軍代將ハ列車ヨリ一四〇。米着直  
ニ博多ホテルニ入り縣知事ヲ招致シ面接左ノ如ク懇話ス

出席者 ロビンソン海軍代將 ヴィンガー大佐

知事 敬警察部長 外務課長

口代將「命令依リ朝鮮銀行ヲ當方デ指揮スル 聯合軍方デ歩哨  
ヲ立テ別命アル迄運送停止 誰デモ書類金ヲ動かサズ

敬警察方ニテ協力ヲ頼ム 敬警察ハ銀行外部歩哨又ニ對  
米兵一名ヲソケル 聯合軍ノ將校一名駐在シテ指揮スル 従業員

ハ全部出テモロウ 銀行支配人今辛日午後四時ヨリ始マル  
知事ト敬警察ト協力ヲ得テ運送停止 銀行長名前ヲ

放シラレタリ 福岡縣内銀行他支店トモ 理由解リ迄是迄

二 明日ニ時總監知事軍代表ト會議スル (縣大會議ト)

三 知事ヨリ懇願

野菜 奥配給悪シ原因民間トシテソケル 運用トシテ運搬用ニ

廻シテモライ度シ

代將 運送車介不申全部米軍デトル 現在復員用ニ使フテモカラ消シ

波米軍ノ關係者ト協議シテ便宜ヲ圖様ニシタリ

0217

RA'-0108

0184

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan



駐在連隊連絡委員會面報

情報 第六号 十月一日

一昨日及本日聯合軍、福岡方面進駐状況

一佐吉作員八列連輸送ヨリ自動車陸送ヨリ夫々進駐シ  
宿舎多ク香椎旧需品廠ニ到リ自又

二列車輸送

三日第一列車 一六・一五 (約二七〇)

第二列車 一四・〇〇 (約三〇〇)

第三列車 一七・〇〇 (約二〇〇)

第四列車 一六・三〇 ( )

自動車輸送

三輛(トランク)夕刻到リ自又  
自動車進駐部隊誘導ノ支那郊外迄先驅車ヲ差出ス  
守内交通整理ノ支那道路ニ能言進駐ノ敵意云々  
守隊正解ニテ一般進駐上支那支那進駐ニ速進ニ程林

進駐連隊司令官信、ロビンニ進駐代將ニテ三列連隊ヨリ到着自停

多ク下テルニ止泊泊ス

進駐軍主力ハ第五海兵團ナルモノ、如シ

現在進駐軍、宿舎ニ充當セルモノ

香椎旧需品廠

九龍工員寮

博多ホテル

共進喜上

其他從来ヨリ滞福セルモノ

東洋航空工員寮(堅正柏)

河海軍代將ハ本白縣ニ於テ總司令部知事 陸海軍代將ト會同テ

歸外情報 佐吉係連給委員會ヨリ(三六・一六・〇〇) 是

南野ヨリ帰還音軍官長約テ名米艦ヨリ九月下旬佐吉係

入港ノ事ト示ス

主力

司令部

河海軍代將以下

司令部園伴將校

司令部將校(約一八名)

少佐以下(五〇・二〇名)

陸海軍代將ト會同テ

是

外務課長

0218



0219

聯合進駐軍連絡委員會田報箋五號 十月二日  
委員 殿 委員 長

一 情報

福岡地區進駐軍司令官ロビンソン海軍代將ハ一日縣廳會  
大會議室ニ於テ總監知事 軍代表ト會同ス  
ハロニ海軍代將ハ福岡地區代表者ナリ  
又進駐軍司令官ハ一日東公園一才亭ニ開設セリ  
聯合軍六事務所ハ如ク使用ナリ  
雁巣航空高福岡支局ニ室  
千代田ニ三階會議室

二 要求

一 在會同進駐軍司令官代表將要求  
ハ軍司令官ニ縣代表官ニ名義出サレ度  
ハ軍司令官ト縣ト間ニ直通電話ヲ架設セラレ度  
ハ通設ニ在兩軍隊用語ノ語(セキ) 聯合軍ハ多ク長ナリ  
ニ其他聯合軍ノ要求  
ハ香椎旧九州飛行協會社宿舎移築ノ多明三日ヲ失  
又雅也果不飛行場修理整理ノ多ク

RA'-0108

0186

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan  
国立公文書館 アジア歴史資料センター  
Japan Center for Asian Historical Records  
National Archives of Japan



配布書類名稱変更件十月三日  
今般從來配布セル情報ヲ聯合進駐軍連絡委員會  
回報ト改メ候  
依ッテ情報第幾號ヨリ第幾號迄ヲ聯合進駐軍連絡委  
員會回報第幾號ヨリ第幾號迄トシテ取扱ハ度  
第幾號ヨリ第幾號迄ノ分別送ノ如シ

0220

RA'-0108

0187

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

0221

聯合進駐軍連絡委員會回報 第十三號 十月三日  
委員 殿 委員長

一、情報

西部軍折衝班情報 第四十二號 第四十三號 拔基十左ノ如

(一) 聯合軍進駐狀況

- (1) 北九州地区 (佐古保委員會通報)
  - (イ) 十月三日 二〇〇 佐古保列車 三福岡へ兵力二三名
  - (ロ) 十月四日 下関地区へ三〇三名
  - (ハ) 十月五日 海兵三部隊 (兵力不明) 香椎へ
- (2) 大牟田地区
  - (イ) 九月十九日 在諫早海兵隊所屬ヘイナルド中佐一行熊本ニ飛来
  - 熊本地区 視察時同中佐言ニ依ルニ諫早ヨリ 概テ十月十日以降
  - 鐵道ヨリ 大牟田ヘ約一〇〇〇名進駐スベト
- (3) 福岡地区ニ於ケル M.P.ノ狀況

- (1) 司令部ハ我軍之司令部ニ設置スベシ
- (2) M.P.ヲ左記地点ニ立哨セラレヤリ
  - 博多 博多ヲ北博多駅 共進亭 縣大 福岡駅(西鉄) 各々三名
- (3) 其他 空シガ大佐十月十日刻博多ヲ佐古保ニ歸ルベシ (以上)

二、要 求

- 一、由山觀音附近バシク兵舎ヲ二三中ニ使用スベシ 途中 道路ヲ速カニ修理スベシ
- 二、香椎旧九飛王月年睡子夜及于早寮ノ各便所ノ汲取 雨漏修理 何モ明白日中ニ完了スベシ

RA'-0108



外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan



聯合進駐軍連絡委員會 會田報第14號 十月四日  
委員 殿 委員長

情報

西部軍折衝班情報抜萃左如シ

人通行証ヲ有スル米軍將校ニ限リ日本軍隊ノ管理スル地域内ニ

出入ヲ得ル如ク聯合軍司令部(ロビンソン司令部)側ニ於テ規定セリ

之聯合軍進駐状況

1. 十月四日聯合軍三〇名下関進駐予定

2. 聯合軍約三〇名(日時不明)關門地区ニ進駐予定ニシ

テ連絡將校(門市役所)到リ宿舎ニ関シ連絡アリ 以上

ニ要求

1. 香椎松原倉庫(需品廠倉庫)ノ水道敷設工事を日迄

2. 四日ヨリ香椎北飛青年學校ニ通設五石ノ差込スベシ 完成スベシ

三決定

1. 進駐軍司令部ノ縣代表トシテ前野事務官(商業課

勤務)ヲ派遣ス

2. 聯合進駐軍ノ經費ニ關スル事務担当者ヲ縣會計

課長ト決定ス

3. 福岡市末管區へ自動貨車二輛ヲ本四日ヨリ約四日間配

Handwritten notes in the left margin, including the number '10' and other illegible characters.



別

カミ十七日長崎進駐部隊先遣隊ヨリ長崎軍港委員会  
ニ對スル要求事項  
ウエニカミ大佐(先遣隊長)  
永野 委員長

1. 長崎地區進駐兵力

大將 一

中將 一

附屬人員

兵士 一二

召使 八

右宿舍ヲ提供スルコト

司令部勤務、士官 二〇〇

司令部勤務、兵 五〇〇

司令部トシテ海運局、建物ヲ使用ス

右士官兵、宿舍ヲ其、附近ニ求ムコト

海運局使用

ニ長崎市附近ニ路管分駐スル兵力 二、〇〇〇

西山 大浦 小倉 深堀 福田 五地區ヲ適當ト認ムルコト

2. 病院敷地

三六〇〇平方呎ヲ用意スルコト

但病舎ニ棟聯合軍側ニ於テ準備スルコト

3. 倉庫

一五〇、〇〇〇平方呎ヲ用意スルコト

A 五万平方呎ハ棧橋附近ニ九月ニ首迄ニ用意スルコト

B 十萬平方呎ハ川南造船所深堀工場寄宿舎ニモ可ナリ

4. 學校ヲ提供スル場合ハ提供スルモ大障ナキ旨ノ理由ヲ

附シテ書面ニテ申請スルコト

5. 棧橋附近ニアル爆弾穴ヲトラックノ通過ニ支障ナキ様

0223

RA'-0108

0190

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan



九月二十三日迄ニ修理スルコト

6. 全テノ港灣施設ヲ二十三日迄ニ使用可能ノ様ニ準備  
シ置クコト

7. 速ニ電車ヲ復旧スルコト

8. 十九日朝先遣隊長ウエシガト大佐が佐鎮事務所  
ニ於テ武若内政部長ニ面會シタキニ付出頭スルコト

9. 左記事項調査ノ上十八日迄ニ提出スベシ

イ. 消防施設ノ状況 (水エラ含ム)

ロ. 電氣施設ノ状況

市内ノ供給可能ノ電力量・電圧量

ハ. 水道ノ状況

ニ衛生施設並ニ市民ノ衛生状況

ホ. 連絡委員会ノ表

ヘ. 長崎地区内ニ於ケル現在可動ノ乗用車並貨物自動車数

0224

RA'-0108

0191

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

別紙  
02

九月十七日進駐重上道隊ヨリ要求事項

駐重上道隊長 (署名)

0225

長崎地区進駐兵力

(1) 大將一、中將一、所屬人員一、兵士一、(召使入)

(2) 右衛門少将一、(召使入)

(3) 司令那勤務ノ士官、二〇〇、(司令那勤務ノ兵士五〇〇)

(4) 司令那トシテ海運局ノ建物ヲ使用ス

(5) 右衛門少将一、司令那トシテ、所屬人員一、兵士一、(召使入)

(6) 長崎市附近ニ露艦分駐スル兵力ニ二〇〇〇、(西山大浦小島等)

又病院敷地

三六〇〇〇平方呎ヲ用意スルコト但シ病舎ニ棟敷合量側ニ於テ準備

スルコト

倉庫

一五〇〇〇平方呎ヲ用意スルコト

(1) 五〇平方呎ハ人校爲附近ニ九月二十三日迄ニ用意スルニシテ

(2) 十〇平方呎ハ川南道隊所深堀工場寄宿舎ニシテ可ナリ

又学校ヲ提供スル場合ハ提供スルニ要シテ是等諸事ノ理由ヲ附シテ書面ニテ

申請スルコト

又橋附近ニアル爆彈穴ヲトラツテ通過ニ支障ナキヤラ九月二十三日迄

ニ修理スルコト

6. 總テノ港灣施設ヲ二十三日迄ニ使用可能ノ様ニ準備シ置ラフコト

7. 左記事項調査ノ上十八日迄ニ提出スル

(1) 消防施設ノ状況(水ポンプ、水道、消火器、消火栓、消火用水、消火用水ノ供給)

(2) 衛生施設ノ状況(衛生施設、衛生用水、衛生用水ノ供給)

(3) 衛生施設ノ状況(衛生施設、衛生用水、衛生用水ノ供給)

(4) 衛生施設ノ状況(衛生施設、衛生用水、衛生用水ノ供給)

(5) 衛生施設ノ状況(衛生施設、衛生用水、衛生用水ノ供給)

(6) 衛生施設ノ状況(衛生施設、衛生用水、衛生用水ノ供給)

(7) 衛生施設ノ状況(衛生施設、衛生用水、衛生用水ノ供給)

(8) 衛生施設ノ状況(衛生施設、衛生用水、衛生用水ノ供給)

(9) 衛生施設ノ状況(衛生施設、衛生用水、衛生用水ノ供給)

(10) 衛生施設ノ状況(衛生施設、衛生用水、衛生用水ノ供給)

(11) 衛生施設ノ状況(衛生施設、衛生用水、衛生用水ノ供給)

(12) 衛生施設ノ状況(衛生施設、衛生用水、衛生用水ノ供給)

(13) 衛生施設ノ状況(衛生施設、衛生用水、衛生用水ノ供給)

(14) 衛生施設ノ状況(衛生施設、衛生用水、衛生用水ノ供給)

(15) 衛生施設ノ状況(衛生施設、衛生用水、衛生用水ノ供給)

(16) 衛生施設ノ状況(衛生施設、衛生用水、衛生用水ノ供給)

(17) 衛生施設ノ状況(衛生施設、衛生用水、衛生用水ノ供給)

(18) 衛生施設ノ状況(衛生施設、衛生用水、衛生用水ノ供給)

(19) 衛生施設ノ状況(衛生施設、衛生用水、衛生用水ノ供給)

(20) 衛生施設ノ状況(衛生施設、衛生用水、衛生用水ノ供給)

(21) 衛生施設ノ状況(衛生施設、衛生用水、衛生用水ノ供給)

(22) 衛生施設ノ状況(衛生施設、衛生用水、衛生用水ノ供給)

(23) 衛生施設ノ状況(衛生施設、衛生用水、衛生用水ノ供給)

(24) 衛生施設ノ状況(衛生施設、衛生用水、衛生用水ノ供給)

(25) 衛生施設ノ状況(衛生施設、衛生用水、衛生用水ノ供給)

(26) 衛生施設ノ状況(衛生施設、衛生用水、衛生用水ノ供給)

(27) 衛生施設ノ状況(衛生施設、衛生用水、衛生用水ノ供給)

(28) 衛生施設ノ状況(衛生施設、衛生用水、衛生用水ノ供給)

(29) 衛生施設ノ状況(衛生施設、衛生用水、衛生用水ノ供給)

(30) 衛生施設ノ状況(衛生施設、衛生用水、衛生用水ノ供給)

(31) 衛生施設ノ状況(衛生施設、衛生用水、衛生用水ノ供給)

(32) 衛生施設ノ状況(衛生施設、衛生用水、衛生用水ノ供給)

(33) 衛生施設ノ状況(衛生施設、衛生用水、衛生用水ノ供給)

(34) 衛生施設ノ状況(衛生施設、衛生用水、衛生用水ノ供給)

(35) 衛生施設ノ状況(衛生施設、衛生用水、衛生用水ノ供給)

(36) 衛生施設ノ状況(衛生施設、衛生用水、衛生用水ノ供給)

(37) 衛生施設ノ状況(衛生施設、衛生用水、衛生用水ノ供給)

(38) 衛生施設ノ状況(衛生施設、衛生用水、衛生用水ノ供給)

(39) 衛生施設ノ状況(衛生施設、衛生用水、衛生用水ノ供給)

(40) 衛生施設ノ状況(衛生施設、衛生用水、衛生用水ノ供給)

(41) 衛生施設ノ状況(衛生施設、衛生用水、衛生用水ノ供給)

(42) 衛生施設ノ状況(衛生施設、衛生用水、衛生用水ノ供給)

(43) 衛生施設ノ状況(衛生施設、衛生用水、衛生用水ノ供給)

(44) 衛生施設ノ状況(衛生施設、衛生用水、衛生用水ノ供給)

RA'-0108

0192

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan



3. 日見トシネル内ノ物ヲ出未得トハ一週向以內運フトモ十日以内ニ取除  
 ノコト  
 4. 若水女学校下ノ疎南地ノ清掃ヲ二十三日迄ニナスコト。之ガ爲聯合軍  
 側ヨリトラフタノ一ノ貨與スルモノトス  
 5. 二十三日迄ニ岸壁倉庫五〇〇〇〇キヲ清掃スルコト。汚務者ハ左  
 腕ニ白布ノ腕章ヲ著セシメ道行ニ便ナラシムルモノトス  
 6. 二十日ハ時迄ニ港内ニ三菱造船所側ノ全舟艇ヲ相所以北ニ撤去セシムル  
 コト。但シ沈没船ハ其ノ儘ニテ可ナリ  
 7. 二十三日迄ニ水ノ浦地帯ノ岸壁及附近一帯ノ清掃ヲナスコト  
 及製缶工場ニトラソフノ土入シ俾ル土入口ニテ所ヲ設ケ且其ノ内部及  
 周圍ヲ清掃スルコト  
 8. 二十日午八時迄ニ第三ドック内ノ船ニ隻ヲドック外ニ出スコト  
 二十三日迄ニ第二第三ドック及第三ドック南側地帯ノ清掃ヲナスコト  
 9. 第三ドックノヨリ稻佐橋迄ノ清掃ヲナシトラフタノ通行可能ノ状態ニナ  
 スコト。以上ノ爲聯合軍側ヨリトラフタノ一ノ貨與スルモノトス  
 10. 二十日ヨリ水ノ浦地帯ノ起重機四台ヲ動かスコト  
 11. 左ノ事項ヲ調査スルコト  
 (1) 海底電線因ノ無線電信ノ状況 (2) 有線電話ノ状況 (3) 砲石場ノ所  
 在ノ因示 (4) 慰安施設ノ状況 (5) 長崎疎早西市ノ傳染病ノ状況 (6) 原  
 油貯油施設ノ調査

九月十九日聯合軍先遣隊ヨリ要求事項

先遣隊 コイルト下佐  
 水野 三郎 隊長

1. 聯合軍ノ使用スル汚物者三〇〇名ヲ二十三日ヨリ提供スルコト  
 其ノ使用期間ハ未ダ確定セズ  
 2. 乾ドックノ機内扉ノ開ケスニ其ノ儘ニスルコト  
 3. 疎早ニ至ル國道日貝網場附近ニ崖崩ヒアルヲ以テ必ズ急遽ニ修理スル  
 コト  
 4. 大波止五島附近ノ電線未空線ヲドラソク其ノ他ノ運行ニ障害ナキヤ  
 ヲ修理スルコト  
 5. 三菱ノ第二事務所元実験所及海軍監督官事務所飽ノ捕察福田泰小倉寮  
 ヲ聯合軍ニテ使用スルヲ以テ之ヲ清掃スルコト  
 6. 海軍監督官事務所内部ノ什器ハ其ノ儘ニシ三菱関係事務所ハ什器ヲ各  
 階ハ一階ニ付テ置クモ差支ナカク  
 7. 事務所実験所及監督官事務所ノ水道ノ故障ヲ直シ又電燈ヲ修理スルコト  
 8. 疎早ノ浦ヨリ福田寮ニ至ル道路上ノ倒木木材其ノ他ノ雜物ヲ整理シ且  
 味附近ノ崖ハ特ニ之ヲ修理スルコト  
 9. 疎早飛行場附近ノ兵舎ハ二十三日迄ニ之ヲ清掃シ聯合軍ノ使用ニ供シ  
 得ル知クナスコト  
 10. 疎早自動車隊用跡ヲトラソク置場ニナスヲ以テ二十三日迄ニ跡ヲ撤去ス  
 他ヲ除去シ整理スルコト但シ若水女学校下ノ疎南地帯ノ跡ヲ撤去スル  
 水ノ浦機橋ハ二十三日ヨリ使用ヲ禁ズ



九月二十日進駐軍先遣隊ヨリ要求事項

一 現定セラレタル降伏條件ノ凡ソル條項ヨリ選り取りニ下記ノ特別指  
 示ニ依リテ進駐軍先遣隊ノ入駐ニ際シテ上開ノ特別指  
 示ニ依リテ進駐軍先遣隊ノ入駐ニ際シテ上開ノ特別指  
 示ニ依リテ進駐軍先遣隊ノ入駐ニ際シテ上開ノ特別指  
 示ニ依リテ進駐軍先遣隊ノ入駐ニ際シテ上開ノ特別指  
 示ニ依リテ進駐軍先遣隊ノ入駐ニ際シテ上開ノ特別指  
 示ニ依リテ進駐軍先遣隊ノ入駐ニ際シテ上開ノ特別指  
 示ニ依リテ進駐軍先遣隊ノ入駐ニ際シテ上開ノ特別指  
 示ニ依リテ進駐軍先遣隊ノ入駐ニ際シテ上開ノ特別指  
 示ニ依リテ進駐軍先遣隊ノ入駐ニ際シテ上開ノ特別指  
 示ニ依リテ進駐軍先遣隊ノ入駐ニ際シテ上開ノ特別指

二 全港南地区ヨリ進駐軍先遣隊ノ入駐ニ際シテ上開ノ特別指  
 示ニ依リテ進駐軍先遣隊ノ入駐ニ際シテ上開ノ特別指  
 示ニ依リテ進駐軍先遣隊ノ入駐ニ際シテ上開ノ特別指  
 示ニ依リテ進駐軍先遣隊ノ入駐ニ際シテ上開ノ特別指  
 示ニ依リテ進駐軍先遣隊ノ入駐ニ際シテ上開ノ特別指  
 示ニ依リテ進駐軍先遣隊ノ入駐ニ際シテ上開ノ特別指  
 示ニ依リテ進駐軍先遣隊ノ入駐ニ際シテ上開ノ特別指  
 示ニ依リテ進駐軍先遣隊ノ入駐ニ際シテ上開ノ特別指  
 示ニ依リテ進駐軍先遣隊ノ入駐ニ際シテ上開ノ特別指  
 示ニ依リテ進駐軍先遣隊ノ入駐ニ際シテ上開ノ特別指  
 示ニ依リテ進駐軍先遣隊ノ入駐ニ際シテ上開ノ特別指



10.9.8.7.6.5 4.3.2.1

九月二十一日 聯合國駐日先遣隊ヨリ長崎建設委員会ニ  
対スル要請事項  
先遣隊チーグサ佐  
永野達路 委員長

九月二十一日 聯合國駐日先遣隊ヨリ長崎建設委員会ニ  
対スル要請事項  
先遣隊チーグサ佐  
永野達路 委員長

佐世保海軍地区日本取高司令官  
合衆國海軍中將 H.W.ヒル

九月二十一日 聯合國駐日先遣隊ヨリ長崎建設委員会ニ  
対スル要請事項  
先遣隊チーグサ佐  
永野達路 委員長

九月二十一日 聯合國駐日先遣隊ヨリ長崎建設委員会ニ  
対スル要請事項  
先遣隊チーグサ佐  
永野達路 委員長

九月二十一日 聯合國駐日先遣隊ヨリ長崎建設委員会ニ  
対スル要請事項  
先遣隊チーグサ佐  
永野達路 委員長



七、長崎港に於ける長崎海軍指揮官の職務  
 八、長崎港に於ける長崎海軍指揮官の職務  
 九、長崎港に於ける長崎海軍指揮官の職務  
 十、長崎港に於ける長崎海軍指揮官の職務  
 十一、長崎港に於ける長崎海軍指揮官の職務  
 十二、長崎港に於ける長崎海軍指揮官の職務  
 十三、長崎港に於ける長崎海軍指揮官の職務  
 十四、長崎港に於ける長崎海軍指揮官の職務  
 十五、長崎港に於ける長崎海軍指揮官の職務  
 十六、長崎港に於ける長崎海軍指揮官の職務  
 十七、長崎港に於ける長崎海軍指揮官の職務  
 十八、長崎港に於ける長崎海軍指揮官の職務  
 十九、長崎港に於ける長崎海軍指揮官の職務  
 二十、長崎港に於ける長崎海軍指揮官の職務

佐世保海軍地区日本最高司令官

合衆國海軍中將 H.W.ヒル

九月二十一日 合衆國進駐軍先遣隊ヨリ要求事項  
 於進駐軍受入本部 先遣隊  
 永野連絡委員長

- 一、日見トシネルノ清掃ヲ必スナスコト
- 二、二十三日迄三葉園係事務所ノ清掃
- 三、湯田寮ハノ道路ノ清掃ヲ二十三日迄ナスコト
- 四、二十三日午前九時迄三葉園二十五名宛本館ニ集合ノコト
- 五、本館ニ委員会ヨリ連絡員ヲ出スルコト
- 六、大波止敷橋ハス裏側道路ノ清掃ヲ二十日中ニ終スルコト
- 七、三菱水ノ浦埠頭ノ鉄線ヲ取除フコト
- 八、三菱木工場ヲ清掃スルコト
- 九、三石一時埠頭附近倉庫視察ノ結果内人ヲ後閣本部ニ出スルコト
- 十、埠頭附近倉庫ニ三万平方呎ヲ追加要求ス



NAGASAKI LIAISON COMMITTEE

President: Wakamatsu Nagano, Governor of Nagasaki Prefecture.  
Vice-President: Major General, Koko  
" J. Okada, Mayor of the City of Nagasaki  
General Secretary: Y. Tsujimura, Chief of Second Economic Dept.

(1) Department of Affairs

Chief..... Y. Tsujimura  
Assistant.... T. Hisatake  
Helpers.... N. Kajiyama & T. Fujimoto  
Routine Affairs..... N. Kajiyama  
Guides ..... T. Fujimoto  
Interpreters ..... G. Nakayama  
Finance ..... E. Kondo

(2) Department of Public Security

Chief..... Y. Fujimoto  
Assistant.... H. Nakamura

(3) Department of Harbor Facilities

Chief..... T. Okamoto (Chief of Bureau of Maritime  
Assistant... J. Sato Transportation)

(4) Department of Installation & Facilities

Chief Y. Tsujimura  
Assistant S. Kato  
Helpers K. Imaizumi & E. Yamaguchi

Labor T. Soga  
Telephone Y. Nishimura  
Electric Lighting K. Ogawa

(5) Department of Materials (foodstuff etc)

Chief Ikanno (Chief of the 1st Economic  
Dept.)  
Assistant K. Yamasaki  
Helper H. Yamaguchi

(6) Department of Transportation

Railway Maeda (Superior of the Nagasaki  
Railway)

(7) Department of Sanitation

Automobile T. Izumi  
Sanitation F. Nakayama

0230

昭和二十年九月十八日

長崎縣警察部長

内務省警保局保母課長

外務課長

九州地方總監府第一部長

殿

別紙之

進駐軍ノ要求事項等ニ関スル件 (第一報)

聯合軍先遣隊ハ

九月十六日

日 長崎地区

日 佐世保地区

日 大村地区

日 佐世保地区

日 佐世保地区

日 佐世保地区

日 佐世保地区

日 佐世保地区

日 佐世保地区

日 佐世保地区

日 佐世保地区

日 佐世保地区

日 佐世保地区

日 佐世保地区

日 佐世保地区

日 佐世保地区

日 佐世保地区

日 佐世保地区

日 佐世保地区

日 佐世保地区

日 佐世保地区

日 佐世保地区

日 佐世保地区

日 佐世保地区

日 佐世保地区

日 佐世保地区

日 佐世保地区

日 佐世保地区

日 佐世保地区

日 佐世保地区

日 佐世保地区

日 佐世保地区

一、長崎佐世保大村各地区連路委員及事務分担別紙(一)(二)(三)ノ通りナリ

二、先遣隊ノ我方ニ対スル要求事項

三、其ノ他参考事項

九月十六日軍務局長ヨリ佐領參謀長宛次ノ通リノ電ナリ

又ル模様ナリ

九月十五日内閣訓令ニ依リ左記ノ通令セシメタリ

(一) 中將杉山大藏宛

貴官ハ佐世保駐紮委員長トナリ委員ヲ組織シ佐世保ニ駐在シ九月十七日業務ヲ開始スル事ヲ命ジテ又第五艦隊進駐ニ際シ右進駐区域ニ関スル諸情致ノ提供等ニ便道供與等ニ任ズル

(二) 委員長海軍一、副委員長陸軍一、外務(中史)委員陸軍三、海軍適宜内務五、外務(中史)運輸二、大蔵(中史)通信二

(三) 右委員長(中史)通信(部隊)ハ委員長ノ協議ニ應ジ所要ノ委員ヲ派去スルモトス

(四) 海軍(中史)通信(中隊)大佐 実在大佐 日高大佐 十六日飛行機ニ乗リ去ル事ヲ決定

(五) 第五艦隊司令官 佐世保ニ司令官部ヲ置キ九州一月(河馬ヲ含ム)山口縣北緯五〇度以北上ノ諸島ヲ管轄スル

(六) 第五艦隊ハ佐世保ニ司令官部ヲ置キ西日本ヲ管轄スルモノ

尚九月十六日佐領石井海軍少將ハ米國軍艦ニ乗リ(河馬)ヲ手交シタルガ右水路及地図ハ本月二十四日ヒル中將ヲ佐世保ニ送リ佐世保港ノ使用ハ佐世保港ノ使用ノ支障無キ旨ヲ示シテハ安全ニ念ヲ持キ居ルモノナリ

九月十六日佐領石井海軍少將ハ米國軍艦ニ乗リ(河馬)ヲ手交シタルガ右水路及地図ハ本月二十四日ヒル中將ヲ佐世保ニ送リ佐世保港ノ使用ハ佐世保港ノ使用ノ支障無キ旨ヲ示シテハ安全ニ念ヲ持キ居ルモノナリ



昭和二十年九月十九日

長崎縣警察部長

九井總監府第一部長

聯合軍長崎進駐部隊先遣隊ヨリ長崎連絡委員會  
ニ対スル要求事項ニ関スル件 (第二報)

本日午前十時三十分聯合國軍先遣隊ワイルド中佐外  
四名ハ長崎地区聯絡委員會ヲ訪問シ委員長永野知事ニ  
對シ左記事項ヲ要求セリ右申報ス

一川南造船所漆工宿舎ノ囚人ヲ速カニ退去セシムルコト

二宿舎地トシテ疎早市ノ兵舎ヲモ使フス

三長崎謀早向ノ道路ガ栗クナリタル場合ハ之ヲ修繕スルコト

四汚水女學校下ノ疎開地ノ清掃ヲナスコト

五之ガ倉聯合軍側ヨリトヲクター一トヲ貸與スルモノトス

六汚務者ハ左腕ニ白色ノ腕章ヲ著セシメ通行ニ便ナラシ  
ムルコト

六二十日午八時迄ニ港内ニ菱造船所側ノ全舟艇ヲ旭町  
以北ニ撤去セシムルコト

但シ沈没船ハ其ノマシニテ可ナリ

七二十三日迄ニ水ノ浦地帯ノ岸壁及附近ニ掃掃ヲナスコト

及ビ製缶工場ニトシテノ本入シ得ル出入口ニテ掃掃ヲ設ケ

八二十四日午八時迄ニ第三トソノ内ノ船ニ隻ヲドソノ外  
ニハスコト

九第三トソノヨリ裕佐橋迄ノ清掃ヲナシトラソクノ通行  
可能ノ状態ニナスコト

以上ノ各事聯合軍側ヨリトラクター一トヲ貸與スルモノトス

一、二十四日ヨリ水ノ浦地帯ノ起重機四台ヲ動かカスコト

二、左ノ事項ヲ調査スルコト

(一)海底電線ノ無線電信ノ状況(二)有線電線ノ状況(三)茶

石場ノ所在ノ自示(四)慰安施設ノ状況(五)長崎謀早西岸

ノ傳染病ノ状況(六)食糧貯油施設ノ調査

三、左ノ事項ヲ調査スルコト

(一)海底電線ノ無線電信ノ状況(二)有線電線ノ状況(三)茶

石場ノ所在ノ自示(四)慰安施設ノ状況(五)長崎謀早西岸

ノ傳染病ノ状況(六)食糧貯油施設ノ調査

三、左ノ事項ヲ調査スルコト

(一)海底電線ノ無線電信ノ状況(二)有線電線ノ状況(三)茶

石場ノ所在ノ自示(四)慰安施設ノ状況(五)長崎謀早西岸

ノ傳染病ノ状況(六)食糧貯油施設ノ調査

三、左ノ事項ヲ調査スルコト

(一)海底電線ノ無線電信ノ状況(二)有線電線ノ状況(三)茶

石場ノ所在ノ自示(四)慰安施設ノ状況(五)長崎謀早西岸

ノ傳染病ノ状況(六)食糧貯油施設ノ調査

三、左ノ事項ヲ調査スルコト

(一)海底電線ノ無線電信ノ状況(二)有線電線ノ状況(三)茶

0231

二十警備親第一五號

昭和二十年九月二十三日

長崎縣知事 永野若松

(長崎縣警察部長)

九州地方總監戸塚九一郎殿  
九州各縣知事殿

(各地區警備本部長殿)  
(各警察消防署長殿)

聯合軍長崎地區進駐ニ関スル件

聯合軍八本月二十三日午前一時八分ヨリ上陸ヲ開始シ計続キ上陸ヲ開始中  
(二十三日午後六時現在)其ノ状況左記ノ通ニシテ現在在道何事事故發生  
無之候条此段ニ於テ及報告候也

記

一 聯合軍進駐前警備隊配置

九月二十三日聯合軍長崎地區進駐ニ関シテハ之ニ備フル爲ニ二十日長崎  
地區特別警備隊(隊長以下百四十八名)ヲ結成シ二十三日午前六時既  
定計畫ニ基キ配置ヲ完了シ直ニ其任区域内ノ檢索ヲ實施セリ

二 聯合軍艦艇入港状況

聯合軍八月二十三日未明長崎港外伊王島沖合ニ。米位ノ箇所ニ大型十六隻  
小型七隻計二十三隻ノ艦艇集結シ午前九時三十分頃ヨリ遂次行動ヲ  
開始シ午後一時八分頃迄ノ間戰艦一隻輕巡洋艦一隻駆逐艦輸送船二  
十隻位小型上陸用舟艇四十隻位長崎港ニ入港午後一時八分長崎市元船町第  
四號棧橋ニ先頭部隊四十名位上陸其ノ後元船町出島岸壁第一面第一號  
乃至四號棧橋出島岸壁長崎三菱造船所構内第一船渠ノ各所ニ上陸  
上陸地ニ於テ隊伍ヲ整ヘ長崎元船町出島岸壁方面へ上陸セル部

0232



隊ハ午後五時ヨリ行動ヲ開始シ六時頃迄ニ約三〇〇名徒歩又ハトラク  
ニ分乗小倉町小倉寮ニ向ヒツテアリ其ノ通行道路要所ニ聯合軍  
側歩哨ヲ立テ一般市民ノ通行ヲ禁止シテアリ  
聯合軍ノ進駐ハ極メテ平穩裡ニ統行セラレツテアリ現在迄何等事  
故発生ナシ

長崎造船所構内第一船渠ニ上陸シタル聯合軍ハ三五〇名ニシテ  
長崎造船所木工場ニ分宿セリ

三進駐聯合軍ノ兵種

長崎地区進駐軍ハ日本語ヲ解スル兵ノ決ラヌトコロニ依レバ「サイパン」方  
面ニ駐在スルシ居タルモノニシテ陸軍(服装黄色)部隊ト海兵隊(服  
装綠色)ノ模様ナリ

四聯合軍諫早市進駐人員

二十三日午後三時ヨリニ時間ニ亘リカオルター少佐外六名ハ諫早

市航空隊及小野乗員養食所建物其ノ他ヲ檢分シ午後四時長  
崎ニ向ヒタルガ同將校ノ言ニ依レバ諫早市小野進駐ハ二十四日正午  
ノ予定  
其ノ数ハ海軍陸戰隊九〇〇名位ナリト云フ

二十警備親第二四號

昭和二十年九月二十四日

長崎縣知事  
(長崎縣警備本部長)

九州地方總監  
九州山口各縣知事  
(各地区警備本部長)  
(各警察消防署長) 殿

聯合軍 長崎大村諫早各地区進駐ニ関スル件

聯合軍ハ本月二十日ヨリ二十四日四日間ニ亘リ大村長崎諫早各地  
区ニ進駐ヲ開始シ尚引續キ進駐續行中(二十四日午後七時現在)ナル  
カ其ノ狀況左記ノ通ニシテ現在進何等特記スベキ事故發生無  
之此段及報告候也

記

大村地区

進駐狀況

聯合軍先遣隊ハ予定ノ通リ九月二十日午前九時ヨリ正午十二時  
頃迄ノ間ソトト洋將以下一五〇名ヲクラヌ機四機ニ分乘大村航空  
隊着陸進駐シ大村海軍航空隊ヲ接收シ宿舍設営飛行場ノ整備ニ着手  
ス更ニ九月二十三日午後二時頃戰鬥機四十機佐世保ヨリトラックニテ  
約五〇〇名同地ニ進駐分宿セリ

警備狀況

大村地区警備ノ爲大村市大村署長ヲ隊長トセル六十三名ヨリナル  
特別警備隊ヲ編成シ九月十七日ヨリ進駐地区大村海軍航空隊ヲ  
中心トシテ一斉檢索ヲ施行シ其ノ後立哨巡察ヲ主体トセル勤務  
ニ移行シ九月二十日飛行場ニテ大村地区先遣隊長スミス大佐進駐  
シ進駐直後警備ニ関シ部員ノ通行及宿營地附近ノ住民ノ措置ニ付

0234



申合セヲ為シ警備ノ多全ヲ期シツ、アルカ現在迄何等事故發生シ

④ 聯合軍進駐后ノ状況

聯合軍進駐前ハ市民ハ恐怖心ヲ抱キアリタルカ進駐後何等事故發生ヲ見ツ聯合側ニ於テモ九月二十日夕刻頃ヨリ太村市武部郷既存ノ遊廓地帯ニ小人数ニテ出入シ翌二日頃ヨリ料亭ニ二三登樓シタル例モアリタルカ何レモ正当ナク金支拂ニテ為ス等友好的ニ接觸シツ、アリ、為ニ民心ハ漸次平靜ニ復シツ、アリ

ニ長崎地区

⑤ 進駐状況

九月二十三日午後六時過、進駐状況ニ関シテハ既報ノ通りナルカ莫、後長崎市松ヶ枝町元税関桟橋附近ヲトトラックターミナルニテ整備ヲ為シ徹宵上陸用舟艇ヲ以テ車輛(大小種別)取交セ桟橋並ニ警備用具積載ノ揚陸ヲ続行午前五時頃迄ニ約三〇〇台揚陸セリ

④ 前日ニ引續キ長崎市元船町市營桟橋附近出島岸壁ニ二十四日午前六時三十分ヨリ兵員ノ上陸ヲ開始シ午後五時迄ニ約二四〇〇名上陸シ若手名ノ兵ガ長崎要塞司令部ニ向ヒタル外其ノ内午前七時先遣隊約五〇名ハ「トラック」ニ分乗諫早航空隊ニ向ケ進發其ノ後「トラック」ニテ約八〇〇名諫早飛行場ニ到着更ニ長崎港駛發三時三十分ノ臨時列車ニテ一三四〇名諫早駅ニ到着徒歩ニテ諫早航空隊ニ進駐シタル外自軍用「トラック」約一三三台ニ露管用具機材等ヲ積載シ午後四時四十分迄ニ諫早市ニ到着シ分宿並ニ露管準備中ナルカ其ノ沿道ニ於テハ何等事故ナシ  
⑤ 長崎市水浦桟橋丸尾町海岸ニ大型輸送船各一隻ヲ横付シ「トラック」道路修理用「トラック」其ノ他器材ヲ二十四日午後一時頃ヨリ揚陸スルト共ニ宿營地予定タル飽、浦寮ニ聯合軍約二〇名到リ附近住民ノ立入りヲ禁止シ宿營準備中ナリ尚同地附近ニハ蚊等ノ駆除ノ為飛行機ニ

0236

(2) 警備状況

依り殺や前手撤去スルニ定メテ云々  
隊ノ編成ハ既報ノ通ニシテ上陸地及通過沿道ノ重要地区ニ隊員ヲ配  
備シ一部交通制限ノ上事故防止ニ方全ク期シツテアリ現在道事故  
発生ナシ

(3) 聯合軍將官士官宿舎タル元月川即外三ヶ所ニ警備員配置ノ要請  
アリタルヲ以テ巡查ニ名宛テ配置セリ

(4) 聯合軍狀報係員ニ於テ事故防止ノ爲聯合軍側將兵ニ對スル命令注  
意事故ヲ傳達スル爲ニラジキ付自動車ヲ使用シ長崎市丸山町ヲ  
中心ニ市内ヲ巡回セリ

(5) 一般市民ハ進駐前後ニ於テ稍恐怖ハ有スル觀アリタルガ聯合軍側ノ  
進駐ハ予想以上ニ平穩且明朗ニ實施セラレタル關係上漸次平靜ニ復セリ  
尚晝間市中ニ於テ聯合軍將兵ヲ通行スル者相当數見受セラレ一部旭

町方面ニ於テハ日本國旗ヲ所望シ代価ヲ支拂ヒ買受ゲタル模様ナルガ  
何等ノ摩擦等生セズ

三 諫早地区

(1) 進駐状況

九月二十四日午前七時三十分頃「トラック」ニ依ル約五〇名ノ先遣部隊ヲ  
始メトシ「トラック」氣車ニ依リ進駐シ其ノ狀況ハ前記長崎地区進駐  
ノ通りナルガ其ノ合計將兵ニ九〇名ナリ

(2) 諫早地区委員會ノ聯合軍トノ取決事項

諫早地区連絡委員會安原委員ト聯合軍部隊長クラーク大佐ト接衝  
シタル状況左記ノ通り

(1) 農家ノ移転必要ナシ但シ住民ノ哨線内ニ立入ヲ禁ズ若シ立入ル場合ハ  
市長責任ヲ負フベシ聯合軍が農家ニ立入りタル場合ハ直接クラーク  
大佐ニ連絡セラレ度

RA'-0108

0204

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan



三警備第一五一號  
昭和三十年九月二十五日

長崎縣知事

(長崎縣警備本部長)

九州地方總監  
九州山口各縣知事 殿  
(各地方警備本部長)  
(各警察消防署長)

聯合軍長崎諫早地区進駐ニ関スル件

聯合軍ノ本月二十四日ヨリ本日(二十五日)午後五時現在迄ニ長崎諫早地区ニ對スル  
進駐狀況等左記ノ通ニ有之候条此段及報告候也  
(管下各地方警備本部長、警察消防署長ハ参考ニ資セラレ度)

0237

RA'-0108

0205

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

長崎地区

進駐状況

九月二十四日午後七時以降長崎市ニ上陸セル兵員ハ約三九二〇名ニシテ  
 丸尾町海岸附近ニ約二六五〇名出島岸壁元船町棧橋附近ニ約  
 一三七〇名上陸シ内八二〇名位トラックニ分乗諫早市ニ進駐シ他長  
 崎市内飽浦寮ニ菱長崎造船所活水高等女学校海星中学校清心  
 高等女学校元長崎要塞司令部等ニ宿營シタリ

九月二十四日午後七時以後長崎市松枝町海岸旭町丸尾町海岸一帯  
 ニ引續キ車輛露管用具兵器其ノ他資材ヲ揚陸シテ場陸地矣附近ハ  
 資材兵員ニテ相当ノ混雜ヲ来シ一部ニ於テハ交通制限ヲ實施セリ之等ノ  
 資材ハトラックニテ各宿營地ニ運搬中ニシテ今尚続行中

警備状況

前日ノ通警備中ナルカ左ノ如キ事故發生セリ本件ニ関シテハ聯合軍憲  
 兵隊ニ旅ヲ對シ取締ヲ申入中

- イ 九月二十五日午前四時三十分頃長崎駅第二貨物ホムニ於テ駅員二名ヲ小銃ナイフヲ突キ付ケ附近ノ貨物ヲ切破リ衣類ヲ強奪シタルモノナリ
- ロ 九月二十五日午後十二時三十分頃長崎市坂本町山王神社附近トラックニ於テ聯合軍海兵二名(船中セリト云フ)カ侵入同所ニ居合セタル主人工員柏尾一郎(四十五歳)ノ腹部ニ海軍ナイフヲ突刺シ傷害ヲ加ヘタル事件

諫早地区

進駐状況

二十五日午前三時ヨリ前日ニ引續キトラックニ分乗シ長崎市ヨリ諫早  
 小野飛行場ニ進駐シ続テ午後四時迄兵員約八三〇名進駐シ更ニ終日  
 トラックニテ露管用具兵器等運搬現在尚続行中

(2) 警備状況



0239

前日三引續キ特別警備隊員七名ト所轄練早警察署員ヲ以テ警備ヤニ  
シテ二十五日迄特記事故ナシ  
三警備ニ関スル申入レ要事事項

九月二十四日警備ニ関シ聯合軍憲兵隊ニ於テ、カリン中佐(憲兵隊  
長タウニス中佐代理)ヨリ本縣ニ對シ別紙(一)如キ申入レアリ  
之ニ基キ本二十五日警備特高面課長ハ憲兵隊長タウニス中佐  
ト会见別紙(二)如キ話合ヲナセリ  
四聯合軍長崎縣内進駐人員 別紙ノ通り

(別紙)

九月二十四日

カリン中佐(憲兵隊長タウニス中佐代理)ヨリ左ノ申入レアリナリ  
申入事項

一憲兵ノ士官一名兵三名計三名ハ北山派出所ニ在リテ取締ニ當ル

二市内巡察ノ際ニ憲兵十二名ガ二名宛六組トナリ、市内ヲ二十四時  
間巡察ス

三十二名ノ憲兵ハ占領区域外ノ市内ヲ聯合軍ノ兵隊カ通ルナラバ公用ヲ  
ナイ限リ將校トシモ之ヲ捕ハル

四若シ日本人カ何か悪イコトヲシテキタ場合ハ憲兵ハ直接ニ捕ヘ  
ナイカ直チニ日本ノ警察官ニ連絡スル、但シ緊急ノ場合ニハ此ノ限リニ  
アラス

五十三名ノ憲兵ノ外ニ三台ノシブ(三人乗リ)テ市内ヲ二十四時間  
スル内一台ハ出島カラ稻佐橋ヲ通ツテ三菱ニ至ル、他ノ一台ハ長崎  
諫早間ヲ往復スル、残りノ一台ハ出島カラ小ヶ倉ヲ往復スル

六三台ノシブ(二台)ハ特ニPト書クイテアル

七聯合軍ノ憲兵ハ日本ノ警察官ニ協力シ様ト思フ

八憲兵ト警察官ト立哨ハ必要ニ處シ之ヲヤロウト思フ

5 C C

九憲兵司令部ニ警察電話ヲ直ニ架設シテ其旨ヒタイソレハ事件カテ  
ツタ場合等ニ直ニ交番ノ電話ニヨリ連絡スル爲デア  
慰安施設拡大ノ件ハ之ハ全ク好マシクナイト思フ  
以上ノ諸事ニ関シ細目打合ノ爲明日(二十五日)午後一時警備課長  
特高課長ハカリシ中佐ノ下ニ出頭スベシ

九月二十四日 聯合軍憲兵隊長、申入ニ依リ九月二十五日午後一時藤本  
(警備)中村(特高)神近(特警隊長)ハ憲兵司令部ニタキミス中佐ヲ訪問シ  
左ノ通ノ意見ノ交換ヲ爲シタリ

(我)当方、警備ハ警察官ノミナリ警備ハ聯合軍ニ對スル日本人ノ不法行爲  
ヲ防止シ聯合軍ノ安全ヲ確保スル爲デアル長崎地区ノ警備ニハ特別警備  
隊ガ編成サレ長崎二四八名、諫早七七名ガ直接警備ニ當ル之等、警備  
員ハ立哨巡邏ヲモテ二十四時間勤務デアル

彼市民ニ對スル治安ニ付テモ極力日本ノ警察ニ協カスルカラ遊廓地帯ニ排  
徊スル被控漢、曖昧(不逞)媒介者、密引等ヲ嚴重取締ツテ其旨ヒタイ  
斯様ナ人ヲ憲兵ガ捕ヘタラ警備隊ニ引渡スカラ嚴重ニ処分ヲ受テ直ニ  
ニ釈放スレバ再ビマルカラ左様ナコトガナイ様ニ若シ市民や軍人カ武器  
ヲ持ツテ居ルトスレバ直ニ取上ゲテ其旨ヒタイ、吾々ハ未ダ然様ナ者  
カ市内ニ潜リテマルト思フカラソナ者カアレハ直ニ引渡シテ其  
旨ヒタイ  
若シ疑ハシイ者カ居レバ自分達ノ手ヲ取締ラスル特ニ拳銃ガ  
最も危険デアルカラ特ニ此ノ旨頼ム  
若シ日本人ト軍人(聯合軍)トノ間ニ問題カ起ツタ場合ハ早ク通知シテ  
其旨ヒタイ、市民同志ノコトモ同様報告シテ其旨ヒタイ  
兎角武器ヲ持ツテ居ル者カ其旨ヒタイ特ニ拳銃ヲ持ツテ居ル者カ  
多イラシイカラ拳銃ヲ持ツテ居ル者ヲ誦ハテ出シテ其旨ヒタイ

0240

RA'-0108

0208

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan



(我)九月二十日迄ニ警察署ニ出エ様命令シテキルニ現ニ警察署ニ集メテ  
 并ル尚同出ナク嚴重ナル取締ヲ施行シテ平ル  
 (他)軍隊カラ帰ツタ者ガ武器ヲ持ツテ居ル等若シ聯合軍ノ憲兵カラ  
 発見サレタラ警察署長ニ責任ヲ持ツテ責ム  
 尚武器ノ引渡セトノ命令大々テ徹底シナイ警察官ガ各家庭ニ行ツテ  
 檢索セヨ若シ之ヲ実施セズシテ聯合軍ノ憲兵カ発見シタル場合ハ何  
 何ニスルカ檢索ヲ嚴格ニ実行シテ是レ時ニ召集解除サレタ軍人カ一  
 番注意ヲ要スル之等ハ思想的ニモソウデアレタカラ嚴重ニ頼ム  
 (我)当地警察官ノ服装ハ黒地ノ服ニ黒色ノ帽子ヲ冠リ劍ヲ佩用シテ肩章  
 ヲ附シ居レリ警備ニ從事スル場合ハ右ノ服装ノ中帽子ヲ黒ノ軟斗帽ニシ  
 卷ケトトルラ着ケ左腕ニ *Police* ノ記號ヲ附シタル白ノ腕章ヲ附シ居レリ  
 (他)子承聯合軍ノ憲兵ハ水色ニ白地テ巾ト書イタ腕章ヲ附シ居ル  
 (我)警察官ノ帯劍ハ正規ノ服装ニシテ聯合軍ノ警備上最も重要ナル

モノナルニ付絶対ニ之ヲ要求ヲ為サル様聯合軍將兵ニ徹底ニ  
 仰類致度イ  
 (我)警察官ノ佩劍ヲ取上ケル様ナモノカアツタラ直ク連絡シテ責ムイ  
 (我)聯合軍ノ長崎地区ニ於ケル進駐区域ヲ <sup>(警備区域)</sup> 教ヘテ責ム度イ  
 (他)聯合軍ノ進駐区域ハ長崎縣全部デア  
 (我)警備ノ都合カアルカラ行動区域ヲ指示シ願ヒ度イ  
 (他)聯合軍ハ今ノ処狭イ範圍ヲ行動スル自由ヲハ余リ許サレナイ  
 自由カ許サレル様ニテソタラ更メテ申込ニ居スル  
 二週間以内ニハツキリ相談スル  
 (我)占領区域警備区域ハ聯合軍憲兵テ警備シ占領区域ノ外側ハ当方ノ  
 警察官警備スルコトト致度  
 (他)警備区域ハ極メラレナイ聯合軍ガ自由行動スルトキハ連絡スル  
 聯合軍カ縣内各地ニ兵ヲ出ス様ナ場合ニモ連絡スル

二十警備親衛第一八八師  
昭和二十年九月二十七日  
内務省警保局長  
九州地方總監  
九州山口各縣知事  
各地区警備本部長  
(管下警察消防署長)  
殿  
長崎縣知事 永野 若松  
(長崎縣警備本部長)

聯合軍ノ長崎縣下各地区進駐ニ関スル件  
九月二十六日午後五時ヨリ本日(二十七日)午後五時現在迄ニ於ケル聯合軍進駐状況ノ通ニ有之候条此段及報告候也  
(管下地区警備本部長警察消防署長ハ参考ニ資セラレ度)

聯合軍進駐状況一覽表

市別	九月		十月		十一月		合計
	二十日	二十一日	二十二日	二十三日	二十四日	二十五日	
長崎市			一九二九〇	一〇七五〇位	三三三〇位	二〇〇位	六六五〇
佐世保市					二九三〇位	八二〇位	三〇〇〇〇
諫州市							三七五〇
大村市	一五〇						六五〇
合計							四一〇五〇



記

長崎地区

進駐状況

九月二十六日午後五時以降長崎市出島岸壁元船町棧橋附近ニ約一六〇名上陸内三五〇名ハトラックニ分乗シ諫早市ニ向ヒ他ハ長崎市海星中學校長崎要塞司令部大浦國民學校浪ノ平國民學校等ニ宿留セリ

更ニ二十六日ニ引續キトラックニ延數百台ヲ使用シ降附中ニ不拘終日各宿營地ニ向ケ食糧衛生材料其他兵器機材ヲ長崎港内各揚陸地迄ヨリ運出ナク運搬セリ

警備状況

前日ニ引續キ警備中ニシテ聯合軍トラックノ往復頻繁ヲ極ムルヲ以テ主トシテ晝間ハ交通整理ニ重矣ヲ置キ夜間ハ巡察立哨ニ主カテ傾注スルニトセルカ左ノ事件發生シタルヲ以テ聯合軍憲兵隊ニ申入レル処聯合軍憲兵隊

ヨリ所轄和佐署ニ憲兵ヲ派遣シ犯人ヲ目下捜査中

九月二十六日午後三時三十分頃青色ノ服ヲ着用シクル米國兵士二名福佐町三丁目ニ七九番地井手惣太郎ヲ表テニテ同家下宿人

三菱事務員 中道絹江 令十九日

ヲ認メ同家ニ侵入シ来ルヲ以テ白人等ガ三階ニシテ隠ケタルニ階下ニテ怒聲シキタル爲中道絹江止チテ階下ニ降りタル処國憲兵等ヲ要求セルヲ以テ中道絹江等ハ裏口ヨリ逃走セリ然ルニ兵士等ハ二階ニ上リ物色ノ上現金五十四ヲ竊取逃走セリ

諫早地区

進駐状況

二十六日ヨリ引續キ長崎ヨリトラックニ分乗諫早市ニ三五〇名進駐スルト共ニトラックニテ終日諸物資ヲ長崎市ヨリ諫早市ニ運搬中ナリ

警備状況

前日同様警備実施中ニシテ何等事故ナシ



0245

三 東彼杵郡川棚町地区  
聯合軍ハ川棚町虎部隊ニ約五〇名進駐ノ予定ニシテ九月二十七日午前九時先遣隊  
トシテ八〇名進駐シタルカ何等事故ナシ

四 佐世保地区

進駐状況 特記スベキ進駐ナキモ各宿营地ニ對スル物資ノトラック輸送ハ  
警備状況 終日鏡行サレシアリ  
引續キ警備中ナルカ九月二十五日午前九時頃佐世保市島地所松浦線一号  
トシタル西北方ニテ鐵道警備ノ夕夕立哨中ノ聯合軍哨兵右足ヲ列車ニテ  
輾傷シタル事故發生シタルカ聯合軍側ニ於テ何等他意ナキコトヲ認メ不問ニ  
附シタリ

五 其他聯合軍要求事項其他参考事項別紙ノ通

六 聯合軍長崎縣進駐状況 別紙ノ通

RA'-0108

0212

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan



二十警備親策二〇一號  
昭和二十年九月二十八日

内務省警保局長  
九州總監第一部長  
九州山口各縣知事  
各地区警備本部長  
管下各警察消防署長

長崎縣知事 永野 松  
(長崎縣警備本部長)

聯合軍長崎縣下各地区進駐ニ関スル件

九月二十七日午後五時ヨリ本日(二十八日)午後五時現在迄ニ於テ聯合軍進駐状況左記ノ通ニ有之候条此段及報告候也  
(管下各地区警備本部長警察消防署長ハ参考ニ資セラレ度)

長崎地区

進駐状況  
九月二十六日以降長崎市辰ノ上町元船町松ヶ枝町海岸出島岸壁等ヨリ徹宵軍需資材等ノ揚陸ヲ続行申ナリシガ本日(二十八日)午前八時頃迄ニ長崎港在泊ノ聯合軍側艦船八隻四隻ニ掃海艇ヲシキモノニ隻大型上陸用舟艇一隻第一区ニ大型上陸用舟艇三隻大型輸送船一隻空艇一ツトホト(要船)二隻計九隻トナリ一時長崎港ニ入港シ在リタル艦船ハ大型約

三十隻上陸用舟艇約百隻ヲ算シ居タル共ヨリ考察シ兵員資材等ノ揚陸ハ概不完了シタルモノト見料セラレ  
尚ニ十七日ヨリ本日(二十八日)長崎ニ上陸シタルモノハ約三〇〇名ニシテ約三九〇名ハ諫早市ニ向テ残余ハ長崎市内ニ宿營セリ

諫早地区

進駐状況  
昨日(二十七日)ヨリ本日午前中迄ニ兵員資材ノ運搬一応完了シタルモノト認めラレテ午後三時ヨリ午後九時迄ニ通行モ困難トナリタリ諫早市進駐ハ昨(二十七日)ヨリ約九三〇名ニシテ小野乘員養成所諫早航空隊ニ夫々宿營セリ

警備状況

前日ニ引續キ晝間ハ交通取締巡察ヲ主トシ夜間ハ巡察立哨ニ主カリ注キ警備実施中ニシテ特記スベキ事故ナシ  
大村地区  
進駐状況  
七月二十三日以降佐世保市長崎市ヨリトランシヨリ又ハ飛行機ニ依リ漸次進駐シ二十八日現在迄約二五〇名増張シ午後四時現在一〇〇〇余名ニ達シ居レリ

警備状況

別紙ニ巡察立哨等ニ重点ヲ置キ警備実施中ナルカ九月二十七日午後四時



計	二十九日	二十八日	二十七日	二十六日	二十五日	二十四日	二十三日	二十二日	二十一日	二十日	十九日	月/日	場所
一〇九五〇	一四二〇	七〇	七〇	一六一〇	一一〇〇	三二〇〇	二〇〇〇	三三五〇	二二〇〇	二二〇〇	二二〇〇	九月	長崎市
七四八〇	三五〇	三九三〇	三五〇	一一〇〇	八二〇	二九三〇						三十日	諫早市
一〇〇〇			三五〇					五〇〇				一日	大村市
八〇三三五〇〇		一〇〇〇	八〇	一五〇〇				一〇七一〇				二日	川棚町
一四〇〇		一四〇〇						二九二九〇				三日	佐世保市
												四日	江上村
五三四一〇	一七七〇	五四〇〇	三八九〇	一三〇〇	三九三〇	三一三〇	一四五六〇	一九二九〇				五日	計

長崎縣内聯合軍進駐状況一覽表

時頃大村市並松郷一三一番地 立石四七(今廿六年)聯合軍兵士侵入シ来リ同人ヲ脅迫シテ時計ヲ強取セシトモ之ニ応セザリシ爲ニ未遂ニ終リタル事件發生シタルヲ以テ之ヲ取調方申入申

四 佐世保地区 進駐状況  
 九月二十六日ヨリ二十七日ニ亘リ佐世保市早岐町田子ノ浦向ヒ側東彼  
 柞野江上村白モケ浦ニ約一四〇〇名佐世保市ヨリ進駐シタリ

二 警備状況  
 前日ニ引續キ警備中ナルガ九月二十四日午前十時三十分頃佐世保市山  
 縣町道路ニ於テ立哨中ノ聯合軍哨兵ニ對シ

泥酔ニ上テ突キ掛ラントセルヲ附近ニ立哨中ノ警察官永松進査カ之ヲ判  
 也ハタル延君達ハアメリカニ使ハレテ平ルテハナイカ等暴言ヲ吐キ肯  
 也ハルヲ以テ止ムナク之ヲ佐世保署ニ檢束シタル事件發生シタリ世良  
 春治ハ佐世保軍法會議ニ於テ目下取調中

五 其ノ他聯合軍申入事項並ニ參考ニ資スルキ事項別紙ノ通リ



二十警備親第一七號  
昭和二十年九月二十九日

長崎縣知事 永野 若 松  
長崎縣警備本部長

内務省警保局長  
九州總監府第二部長 殿  
九州山口各縣知事  
各地方警備本部長  
各地方警察消防署長

聯合軍長崎縣下各地方進駐ニ関スル件

九月二十八日午後五時ヨリ本日は二十九日午後五時現在迄ニ縣下ニ於テケル  
聯合軍進駐状況左記ノ通ニ有之候條此段及報告候也  
各地方警備本部長管下各警察消防署長ハ参考ニ資セラレ度

一 長崎地区

進駐状況  
九月二十八日以降長崎市尾上町出島岸壁等ヨリ聯合軍兵員約一七七〇  
名上陸シ内三五〇名ハ諫早市ニ向ヒ残余ハ小ヶ倉寮金鑄谷倉庫大浦國  
民学校土井首製氷会社等ニ宿營セリ  
二十八日頃ヨリ各宿營地ニ對スル諸物資ノ輸送ハ漸次減少シ宿營地内

外ノ保修又ハ清掃勞務者使用ヲ爲シツ、アリ

警備状況  
前日ニ引續キ警備實施中ナル聯合軍側ニ於テ昨二十八日午後四時頃ヨ  
リ長崎市内ノ家庭ニ臨ミ武器発見ノ爲ナリト稱シ檢索ヲ開始シ二十九  
日七引續キ實施中ナリ之ガ爲家庭ニ於テハ稍動搖シ縣ニ於テハ聯合軍  
司令部ニ特派員一名ヲ配屬シ武器ヲ取締ニ関シテハ先般未  
ヨリ憲兵隊長ニ對シ警察側ニ於テ檢査力實施中ニシテ既ニ回収シツ、ハア  
ルヲ以テ家庭ノ檢索ハ日本側警察ニ一任セラレ度キ旨要請シタリ然ル  
ニ司令部眞八司令官ノ命令ナリトシテ之ヲ了承シ難キ旨ノ回答アリタ  
ルヲ以テ更ニ檢索ハ日本側警察官ト共ニ實施セラレ度キ旨要請シタル  
外之ヲ承知シタルヲ以テ一應中止シ十月一日ヨリ實施スルコトニナレ

二 諫早地区

進駐状況  
九月二十八日ヨリ本日は二十九日午後五時現在迄ニ長崎市ヨリ諫早市ニ  
聯合軍トラツ、ニテ約三五〇名進駐シ海軍病院諫早分院ニ宿營セリ

警備状況  
前日ニ引續キ警備中ニシテ特記スベキ事項ナシ

三 佐世保地区

進駐状況  
特記スベキ変化ナシ

警備状況



前日ニ引續キ警備中ニシテ特記スベキ事項ナシ  
四 聯合軍申入ニ於ケル聯合軍進駐状況別紙ノ通  
五 長崎縣下ニ於ケル聯合軍進駐状況別紙ノ通  
(別紙)

一 申入事項  
聯合軍側ニ於テハ三菱長崎造船所々有三菱會館演藝場ヲ使用スル趣  
ニシテ二十九日午前八時迄ニ清掃完了ヲ申入レタリタリ目的ハ映寫  
場トシテ使用スルモラト認メラレ

(2) 聯合軍C.I.レセイスト中尉ハ本月二十九日大村警察署長ヲ訪問左  
ノ要求ヲ爲シタリ  
イ 米國ハ重人ニハ酒ヲ賣リ又ハ酒ヲ賣ルコトハ出来ナイ其ノ旨  
一般國民ニ示達セラレ度此ノ誤ハ先日酒ノコトクハ傷害事件カアツ  
タカク真ニナ事件ヲ防止スル爲メテ

二 参考事項  
聯合軍ニ在リテハ本月二十八日午後七時ヨリ長崎市國民學校演習  
校庭ニ於テ映寫會ヲ開催附進住民ノ自由観覽ヲ許シタル処女子供  
約五〇名ノ入場者アリタリ尚男子ハ門外ニ於テ道路ヨリ観覽セシメ  
タリ

(2) 二十八月午後七時三十分頃長崎市大浦元町海軍港警備隊跡空家ヲ  
ハ附近ヲ徘徊中ノ米兵二名ヲ警備警察官ニ於テ発見憲兵未ルコトヲ  
告テ飯營セシメタリ

尚海軍中學校裏門附近ニハ全町青年團員十名出動夜警ニ協カシ居レ  
リ  
二十八月午前九時三十分頃長崎市大浦元町海軍港警備隊跡空家ヲ  
檢索中ノ米兵三名ハ同空家ヨリ九九式小銃弾一箱発見司令部ニ引揚  
ゲ

二十九日午後一時頃警備員植木巡査清水女學校附近ヲ警戒中長崎市  
中津町五三番戸清隆公十六年軍服ヲ着用シ果テ類多敷ヲ持出シ居ル  
ヲ発見警察官トシテ取捕メテ此ノ軍服ハ同校附屬人ヨリ賣リ受ゲタル旨  
申入リタル事軍服ニシテ納メシメテ菓子類ハ持戻ラセタルカ清水校内  
ニハ多数ノ中等學生並ニ青年等多數出入シ洗濯等ノ手傳ヲ爲シ復并  
ノ隙ニ乘シ種々ノ物品ヲ持出ス傾向アリ以テ嚴重取締中  
又聯合國兵士モ與ハシル



別紙

聯合軍指示又ハ要望事項

九月二十三日

一 宿舍

ハント少將  
幕僚  
下級士官  
二百名、士官  
五百名、兵士

月川邸  
江島及沢山邸  
三菱造船所長宅  
未定  
先ツ管理部ヲ宛テ不足ヲ来夕セバ活水女学校  
ヲ使用ス

一 原子爆弾ノ被害調査表提出ノ件

五〇〇米乃至三〇〇米ノ距離ニ於ケル死者負傷者行衛不明者等ノ  
被害人員表ヲ作成シ十月一日迄ニ提出ノコト

一 疲止場ノ爆弾穴ヲ埋メル爲勞務者ヲ提供スルコト トラックハ貸與ス

一 要塞司令官々舎附近ノ建物ヲ順次ニ使用ス (神学校海軍武官府集会所  
等)  
附近民家ハ現在ノ処立退ノ必要ナシ

一 三菱第ニドツタ第ニドツクノ扉ヲ本日中ニ開ケルコト

一 水ノ浦埠頭附近ノ爆弾ヲ積ンタ船ヲ伊王島ニ持ツテ行クコト

一 九月二十三日ヨリ港内航行禁止

但シ

1 水ノ浦 大波止

2 水ノ浦 立神

3 水ノ浦ヨリ海岸傳ヒニ戸町ニ至ル間

一 深堀造船所ノ囚人部隊ハ輸送出末又場合ハ三四日其ノ儘トスルコト

一 三隻ノ曳船ヲ使用可能ノ状態ニシテ水ノ浦岸壁ニ着ケテ置クコト

一 飽ノ浦寮ノ水道施設ヲ修理スルコト

九月二十三日

一 長崎市ニ於テ現在開設中ノ各病院名並ニ其ノ所在地調査ノ件

(即日提出)

一 三菱戸町金鰻谷工場及倉庫ヲ二十五日迄ニ清掃スルコト

一 海軍中学校活水女学校ハ使用ス 本日中ニ立退ノコト

0251

RA'-0108

0217

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

1. 法律並ニ秩序  
 a. 地方警察ハ在米ノ儘ナリヤ  
 b. 地方警察ハ在米ノ儘ナリヤ  
 c. 地方警察ハ在米ノ儘ナリヤ  
 d. 地方警察ハ在米ノ儘ナリヤ  
 2. 公衆ノ衛生  
 a. 地方ノ医療設備及医薬品ハ傷病者ヲ治療スルニ充分ナリヤ  
 b. 傳染病ハ流行中ナリヤ  
 c. 上記事項ヲ担当スル日本側ノ公衆衛生官ノ名ハ如何 其ノ所在場所如何  
 3. 給與  
 a. 現在ノ食糧ノ貯蔵ハ市民ニ充分ナリヤ 無シトセバ如何ナル給與ヲ必要トスルヤ  
 b. 衣料燃料並ニ住居ノ現状如何  
 c. 刑務所制度ハ猶損壞セザレアラサルカ  
 4. 運輸  
 a. 鐵道市内軌道バス及ヒ商用車ヲ含ム商用運輸並ニ市營運輸ノ一般狀況ハ如何ナリヤ  
 5. 工業及農業

現在操業中ノ一切ノ大工業ヲ列挙セヨ  
 a. 酒格ハ統制セラレアリヤ  
 b. 上記諸問題ニ通曉セル地方連絡事務所アリヤ アラバ其ノ構成職員氏名並ニ其ノ本部ノ所在地ハ如何  
 c. 地方ノ長ハ誰カ 而シテ其ノ本部ハ何処ナリヤ  
 8. 運輸  
 a. 輸送ノ力並ニ資材  
 b. 使用可能ノ自動車種ノ種類ト數量ハ如何  
 c. 使用可能ノ土木建築資材ノ種類及ヒ其ノ所在地  
 d. 熬練及ヒ数ヨリ見タル労働人員ノ現状如何

日本側ニテ返答スベキ質問

注意、諫早島原半島大串ヨリ北ノ西彼杵半島ヲ含ム長崎地区

1. 今尚武装中ノ一切ノ陸軍兵力(陸空對空部隊地區兵力及ヒ義務ノ遂行状態)  
 2. 武装解除セラレテ猶復員未済ノ一切ノ陸軍兵力ノ地区兵力  
 3. 陸軍兵力ノ武装解除中ニ收集セラレタル一切ノ武器及裝備ノ地区種類數量及保全方法  
 4. 一切ノ地雷敷設及其ノ陸路海路空路ニ依ル軍行動ヘノ障碍物ノ位置並ニ之ニ関連スル安全路ヲ示ス詳細報告(地圖添付ノコト)  
 5. 飛行場水上基地對空防禦物資貯蔵庫永久的並ニ一時的ノ海陸防禦工



事要塞並ニ其ノ他ノ構築陣地ヲ含ム一切ノ軍事施設ノ所在地及種類  
 一切ノ兵器ヲ生産シ若クハ其ノ生産或ハ使用ヲ容易ナラシムル意圖  
 ノ一切ノ工場機械装置作業場研究所実験所試験所ノ所在地及軍若  
 クハ準軍組織ニ使用セラレ若クハ使用セラル、意圖ノ資材備貯藏  
 品及消耗品一切ノ運搬施設並ニ通信施設ノ所在地

九月二十四日

一管内並ニ全九州ニ於ケル衛生状態及医療施設ノ状況 (説明)

一九月二十四日以降毎日午前八時三十分ヨリ衛生課長ニ本部へ出頭ノ上連  
 絡ヲ要求

一原油タンクハ全部聯合軍使用スルニ付管理者ニ通報スルコト  
 (現在民需用トシテ使用中ノモノヲ除クコトニ了解)

一商工会議所使用 即刻移転ノコト

一海軍監督官事務所ヲ夕方迄ニ清掃スルコト

一三菱福田寮ヲ二十五日ヨリニ三日間ニ清掃スルコト

一司令部ノ水洗便所ヲ修繕スルコト

一深堀工員宿舍ヲ二十五日中ニ清掃スルコト

一小ヶ倉道路修繕ヲナスコト

一福田道路修理ヲナスコト

一一日見矢上間口道穴埋没常備修繕ヲナスコト

一三菱第二第三事務所ヲ清掃スルコト

九月二十五日

一九月三十日新興善臨時救護病院ニ於テ懇談会ヲ開催スベキニ付医師齒科  
 医師薬剤師其ノ他多数ヲ召集ヲ要求

一海星中学校ノ電気水道施設ヲ至急整備スルコト

一神学校ノ水道ガ悪イカラ修理スルコト

一五〇ノベッドノ置ケル病院ニナル建物ガ欲シイ (浪ノ平國民学校)

一聯合軍憲兵隊本部ニ警察電話ヲ引クコト  
 明ルイ電球教個ヲ憲兵隊本部ニ届ケルコト

0253

五 營茶屋ノ衛生試驗場ヲ聯合軍創ニテ使用スルコト

一 女神檢疫所ヲ使用スルニ付番人ヲ退カシムルコト

(檢疫所トシテハ唯一ノ建物ニシテ南方引揚民ノ檢疫ノタメ必要ナル旨申出タルモ現在聯合軍創ニ於テ必要ニ付其ノ際ハ別途考慮ス)

一 元海軍武官府ノ建物使用ニ付所有者ニ連絡ノコト

一 聯合軍司令部屋上ノ水道管被損ノ爲流出多量ナリ至急修理ノコト

一 屎尿船航行ハ從來通り所定ノ旗ヲ立テ、航行シテ可ナリ

一 設備用品關係事項ハ時々註文スルカラ之ニ慮スルコト

一 カラス現在々庫分ハゴールドベルク中佐ノ指示ニ依ル外使用ヲ禁止ス

差当リ右カラスヲ以テ司令部(元税関)ヨリ明日(三十七日)午前八時ヨリ修理スルコト

一 砂利採取可能日ヲ報告スルコト

一 米軍巡視將校ハ月川氏ニ對シ同氏宅ヨリ明朝七時江島氏ニ對シ明朝十一時借取ル旨通告セリ

一 波ノ平口民学校(鉄筋木造)明日ヨリ病院トシテ使用スルニ付明日午前中ニ重要書類並ニ物件ヲ引取ルコト 担シ机椅子ハ其儘ニ付可

一 福田寮ノ修理清掃ヲ至急ナスコト 特ニ七百五十人分ハ至急必要ニ付完了日ヲ報告スルコト

一 リンク少佐ヨリ左ノ要求アリタリ

一 左記物資ニ関スル工場名(工場敷生産量工場在庫数量操業中止ノモ)

ハ其ノ理由也統制會社在庫量織維食糧衛生資料藥品齒科尸物衣類石鹼

木林セメント肥料紙

一 漢菜 漢獲高 漢場ノ事情 燃料

(缺乏シテ申ル物ニ付テハ特ニ夫レヨ示ス)

一 公定價格表

一 賃金公定表



九月二十六日

九月二十六日

一 連絡委員会委員ノ通行証ハ聯合軍ニ於テ發行ス 既ニ彙集提出セル委員ノ氏名等令住所ヲ至急提出ノコト

一 入港船舶ヨリノ塵芥処理ノ問題ハ解決セシ  
一 二十七日午前十時半海運局奈藤港務課長ニ出頭ヲ通知アリタシ  
(キヤブテンゴール)

一 電氣クレーン操縦者ハ一名未シ更ニ二十七日午前九時ゴールドスノイン中尉ノ所ハ三名出頭セシムルコト

一 二十七日午前九時三十分警察部長代理者ニテモ可リンチ大佐ノ所ニ出頭ノコト

一 二十七日最終列車ニテ佐世保ニ將校一名出發ス 駅ニ連絡シ切符ヲ購入シ置フコト

一 小テ倉寮ノ便所ノ汲取ヲ至急措置スルコト  
尚定期的処置方針ヲ確立スルコト

一 労務者ノ勤務時間ヨ一定シ確實ニ遵守セシムルコト  
一 飽ノ浦寮ノ周囲ヲ今週中ニ掃除ヲ終ルコト

一 市内ニ於テ下水工事 無線機械工 電気工 大工 各何人勤員出來ルカ 又其ノ勤員方法如何

一 水洗便所手直シノ為職人ハ佐世保ヨリ何時來ルヤ至急手配ノコト  
一 海軍中學校ヲ使用スルニ付書類物件ヲ本日前中ニ取付ケラレタシ但シ机椅子ハ其儘ニテ整理スレバ可ナリ

一 石油タンクニ残レル石油ハ二十七日ヨリ出シテ宜シキ旨許可了リタリ  
(ゴロネルゴールドベツ)

一 三菱造船所第三トック向ッテ右側ノ建物ハ現在空イテキルカラ軍側テ使用スルシタシ

一 三菱ノホイラーヲ聯合軍ニ於テ使用シタシ  
一 本日前九時經濟第一第二部長司令部ニ出頭セルバート中尉ヨリ左ノ要求ヲ受ケタリ

ノ食糧  
a. 各品目毎ニ調査ノコト(市民充テラル、モ之)  
b. 量ガ市民ノ需要ニ充分ナリヤ  
c. 何時迄需要ニ充テ得ルヤ  
d. 不足アラバ何処ヨリ移入スルヤ  
e. 倉庫  
a. 所在地及其ノ数

0255

RA'-0108

0221

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

- 6. 食糧衣料燃料ノ在庫量ヲ明示ノコト
- 7. 消費費者ニ入手スル経路ヲ図解ノコト
- 8. 小売価格現在
- 9. インフレ率ノ状況ノ大体
- 10. 衣料(衣類ノモノ)
- 11. 既製品並ニ生地ノ在庫数量(市内ノミ)
- 12. 燃料(家庭)
- 13. 生産量ト在庫数量(市内ノミ)

ノ換業  
 a. 澳場ト其ノ通路ノ図解  
 b. 燃料ガ出ル道船ヲ行フコト  
 一塵芥運搬ノ為ノ曳船一隻ニテハ不足ス 増加スルコト  
 何時ヨリ増加出来ルカ

一海星中学校表三階建ト横ノ建物ヲ使用中ナル所更ニ運動場下木筋コンクリートニ階建モ使用シタシ  
 本日午後一ニ〇名収容ノ予定ナリ

一司令部參謀長室修理ノ為大工(指物)一名出頭セシムルコト  
 一三菱電気クレーン操縦者ヲ至急司令部へ出頭セシムルコト

一電気電話海底電信ノ配線図明日午後一時迄ニ提出ノコト(ローカン大尉)  
 一海運局所有自動車ヒウイク(現在故障)使用シタシ

九月二十七日

一本日午後五時ニ〇分発ニテ佐世保へ軍ノ士官一名が行クカラ切符ト席ヲ用意スルコト  
 一駅長ヲ尋ネテ行クカラ其ノ旨駅長ト打合せシ置クコト  
 一到着押カ無料カ否カ駅長問合セノコト  
 (措置) 駅長ニ連絡済

一土井首江川国民学校運動場ヲ一部使用ス 授業ニハ差支ナキ様ニスル  
 (ゴールドベルク中佐)  
 (措置) 教學課ニ連絡シ指示方通報セシム

一長崎会館ヲ使用ス 使用目的ハ事務所及倉庫ナリ (クーパー少佐)  
 (措置) 一新長崎ホテル七條氏ニ連絡ホテルノ件中止セシム  
 二 會館内各関係者ニ至急立退方通知ス (連絡者 等口屋)

一月川氏ノ処ニ雇ハレテ居ル雇人五名在リ 希望アラバ聯合軍ニ於テ其ノ儘雇入レタシ  
 若シ希望アラバ各人ノ氏名及住所ヲ至急司令部連絡員迄報告ノコト  
 (希望ナシ其ノ旨通知ス)

一六浦口民学校高等科倉庫使用スルヲ以テ机椅子ヲ取片付タルコト





0257

一本日午後一時縣食糧課長市配給課長出頭ノコト (市助役ニ連絡済)

浪ノ平神学校同国民学校便所ノ掃除ヲスルコト (市助役ニ連絡済)

一諫早軍病院ヲ接收シ明後日ヨリ使用スル  
日本人患者ハ他ニ移スコト 若シ移スコトカ不可能ナラハ病院内一部ノ  
建物ニ收容シテモ良シ  
(措置) 諫早海軍病院... 諫早警察署長ニ連絡済  
佐古鎮守府... 佐世保警察署長ニ連絡済  
病院長ヨリ

九州地方最高軍医司令官キンク軍医大佐ヨリ自分カラ指令ナキ  
限リ他ニ使用ナラヌト云フ指令ヲ受ケテ居ル  
之、明後日迄ニハ各種備品ノ搬出不可能

一月川ノ屋敷(少將及幕僚長ノ室)ニ電氣カ付カヌ 至急手入ヲ願フ  
(措置) 九州配電ニ連絡済

一出島ノ勞務者ハ晝ヲハ〇〇名トス (夜ハ二〇〇名)

一三菱ヨリ出テ居ル勞務者ヲ明日丈三三〇名(平常三〇〇名)トスルコト

一三菱ノ機械工場ノ一部ヲ藥品庫ニスルカラ中ノ品物ヲ片付クルコト

一ニ十七日石川通設官ヨリ連絡  
左記事項ヲ前田長崎鐵道管理部長ニ連絡スルコト

(1) 本日長崎港駅ニ引込ミタル貨車十一輛ノ内十輛ハ明朝六時発車シ得

(2) 八時ニ貨車九輛ヲ長崎港駅ニ引入レ直チニ積込ムニ時ニ発車シ得

(3) 十三時ニ貨車十輛ヲ長崎港駅ニ引入レ翌朝六時ニ発車シ得ル如ク機

(4) 車ノ手配ヲナスコト

(5) 線返ス見込ニ付手配シ置クコト

一月川ノ屋敷ノ水道管ヲ閉ケル 鍵三個司令部ニ持參セヨ  
(措置) 市水道課ニ連絡

一松ヶ枝町山下政雄  
右ノ者所有野菜荷造場所ヲ自動車修理所ニ使用スル  
(措置) 本人未訪解決済

一石油タンク使用ノ件ニツキ辻村部長ノ報告ニ依ルト使用ニ堪ヘヌ分モア  
ルノテ未ダ使用可能ノモノヲ区分調査報告ノコト  
軽油 | 重油区分

RA'-0108

0223

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

重揮油	二三三七四
重揮油	一五五〇六
燈マシ	一五五〇六
燈マシ	一一〇屯
揮油	一五五〇六
揮油	一一五二七

油タンクノ内現在入ツテ居ルモノハ可成急速ニ空ケル様

(措置) 右ノ并経済保安課へ連絡  
ソホ大佐ヨリ通報  
明ニ十八日午前十時三菱會館ニ関スル件ニテ島本副長又ハ西田総務部  
長司令部ニ出頭ノコト  
(措置) 西田氏へ連絡済

近藤課長連絡  
深堀宿舎ノ電燈ガツカ又至急手配ノコト  
(措置) 配電会社ニ付調査(吉賀氏)  
昨ニ十六日午後三時頃至急手配ノコト  
川南側ノ技術者五名アリ技術責任者ハ修理ヲ引受ケ電球ノ要求アリ

四五〇個ヲ届ケ全部ヲ依頼シテ帰ツタ  
尚江川出張員ヲシテ事情ヲ調査シテ修繕ニ付テ川南責任者ニ交渉  
セシメ矣燈出未ル様手配スルコトトス

永久座ノ持主又ハ責任者明朝十時迄ニ司令部へ出頭ノコト  
(措置) 保安課ヨリ連絡

三菱占勝閣ハ昨日三菱ヨリ案内人ニ依ツテ案内セシムルコトトセシモ  
案内人ハ未ナカツタ  
司令部ニ於テハ本日占勝閣ヲ使用スルコトニ決定シタ  
(措置) 西田氏部長ニ傳令ヲ以テ手紙差立

電車運転開始準備ノ進行状況調査ノ上回答ノコト

架空線ノ整理  
瓦斯会社ノ先長崎駅ヨリ見テノ橋ノ上流ノ橋附近ニ在ル電線折下ツテ  
トラック等通行ノ妨ゲトナル 今夜中ニ十五呎ノ高所迄引上げ方整理  
ノコト  
(措置) 配電会社及電話工事局ニ連絡シ実行方確約ス

活水女学校ニ派遣中ノ聯合軍ヨリ要求  
電燈修理工事ノ爲直ニ電工ヲ派遣スルコト  
(措置) 活水ヨリノ稗使ニ手紙ヲ以テ九配支店ニ連絡済



資材ノ要求

140 pieces iron track stock 4" x 49 x 9 1/2"  
50 pieces of wheel iron  
40000 sq. ft. plywood (about 1500 pieces)

九月二十八日

一 片淵町元聯隊区司令部建物使用シタシ  
二 九日三〇日兩日デ移転完了シ十月一日ヨリ聯合軍ニテ使用ス  
掃除ハ軍ニ於テナス

三 三十日熊本ヘ十五名行ク シトプ三台ヲ携行スルニ付貨車一台連結ノ  
コト

一 諫早迄電話架設シタキヲ以テ工事務局野上氏午後三時出頭ノコト

一 壽橋ヲ修理シ三五屯戰車通行可能ナラシムルコト  
長崎練早間路面修繕ヲ爲スコト  
ターパー少佐

一 活水女学校ノ下水道設備圖提出サレタシ

一 月川邸司令官宿舎ノ便所汲取ヲ至急行ヒ尚定期的ニ汲取ルコト

一 一ニ時四五分宛ニテ將校ニ名大村ニ赴ク 切符座席ノ手配スルコト

一 市内地下壕ハ聯合軍ニ於テ視察スルヲ以テ全部ノ入口ヲ通行可能ナル  
様致シ置クコト

一 佐賀及熊本迄ノ道路ヲ知ツテ居ル者ヲ至急出頭セシメラレタシ

一 ドラム缶二十提出ノコト (シユリアン中尉)

一 西山狹部水源地ニ電燈及便所ヲノ施設ヲナスコト

一 列車前灯欠陥ノ結果危ク事故ヲ起サントセリ 速急修理ヲ實施スルコ  
ト (セーヒーダユハン)

0259

九月二十九日

一 明日午后一時迄ニセメントヲ持参セラレタシ  
量ハ在官四人ニテ午前八時ヨリ午后八時迄ニ使用スル数量トス  
(聯合軍勞務係ゴードステイン)

一 長崎ニ於ケル聯合軍全將兵ノ洗物処理場トシテ適當ナル建物ヲ斡旋ス  
ルコト

一 自動車五台ノ駐車場ヲ提供セラレタシ

一 聯合軍將校十五名三十日ニ熊本ニ赴クニ付テハシトプ三台携行ス  
貨物車一台連結シテ輸送ノコト

一 大浦川ニ元海軍警戒隊ノ使用シタラシキ舟四五隻アリ中ニ三隻ハ波没  
シアリ 何レモ至急取片付ケノコト

一 旭酒精会社広場ヲトラツク置場ニ使用シタシ

一 電工六名挿込ソケット六個電気ボンプ修理

一 十月七日頃ヨリ十日間乃至二十日間ニ亘リ熊本へ汽車便ニテ進駐ス

貨車ノ帰リガ空車トナルニ付長崎へノ食糧物資輸送ヲ計画セラレタシ

一 クレゾール石鹼液又ハデシン一〇〇ガロンヲ要求ス

一 將官宿舍月川邸常盤町武官府跡及水ノ浦兵舎ノ便所掃除ヲ屬スコト

一 三十日午前十時半縣庁ニテ知事ニ面会シタキ旨通知(キヤプテンホーシ

一 月曜日(十月一日)午前九時迄松浦豊一(聯隊区司令部警務部長室ロ)カ  
大尉ノモトニ出頭スル様連絡スルコト

一 午後一時縣衛生課長及市衛生課長並ニ航運会社代表者ヲ司令部ホト  
大尉ノモトニ出頭セシムルコト

一 シュハン大佐ガ要塞ヲ視察ス九時ニ出頭スベシ

一 午前九時迄司令部ヘ土井首海軍倉庫ノ鍵ヲ持参スベシ豊大佐出頭

一 現在進駐軍ノ使用シテキル建物ヲ長崎市内地圖ニ番号ヲ以テ表示シ別  
ニ其ノ番号別ノ元所有者及建物所在地町名ヲ記載シ可成早急ニ提出ノ  
コト

0260

RA'-0108

0226

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan



Q261

- 一 木材 既定通り製材シ十月一日迄ニ終了ノコト
- 一 硝子 五一一三五平方呎ノ現在量ヲサイズ毎ニ内訳ヲ作り提出ノコト
- 一 合同清掃会社田島ニ市内ノ人糞尿処理ノ爲燃料重油ヲ渡サレ度シ  
(三〇也)
- 一 小ヶ倉塩谷 枡尾喜傳  
右所有ノ土地五碼一〇碼ノ空地ニケテ塵芥捨場トシテ使用スル  
使用出来サル場合ハ其ノ理由ヲ明三十日午前八時迄ニ回答ノ爲知事代  
理者出頭スベシ
- 一 家屋土地ノ使用借受ニ付テハ連絡委員会ヲ通ジテソミ交渉使用ス
- 一 教練銃ノ所在地(学校)数量調査表ヲ提出ノコト所在地ヲ図示セヨ
- 一 月曜午前十一時新聞社代表一名新聞社ノ希望ヲ聞ク爲メシエームス大  
尉ノ下マテ出頭ノコト

九月三十日

- 一 電工一名派遣セラレ度

- 一 三菱グラウンドヲ爆破シテ飛行場ヲ作ル故図面及ヒ上下水道ノ配置ノ解  
ル人ヲ派遣アリ度
- 一 銃ヲ製造スル職工ヲ司令部ヘ派遣スルコト
- 一 メーシヤーリンクヨリ市長ニ会ヒ度直グ司令部ヘ出頭シテ欲シイ
- 一 コマンダーグライン氏ヨリ和船ニシテ横櫓ヲ六乃至十二本付ケ得ル如  
キモノヲ四隻同形ノモノガヨイ手配ノコト  
手配出来タラ一応同氏ニ報告シテ下檢分ヲ受ケルコト  
尚損傷ノ場合ノ保証ニ必要アルヲ以テ所有者ノ氏名ヲ書テ置クコト
- 一 中川町細菌検査所ニ硝子工ヲ派遣ノコト
- 一 司令部ケエレット中尉ヨリ食糧課長ニ出頭ヲ要求
- 一 電工一名司令部ヘ派遣ノコト
- 一 洗濯代金(公)表提出ノコト
- 一 電球一〇〇W一打入用

RA'-0108

0227

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

- 一 釘一吋三寸 机引手一打
- 一 米憲兵隊本部ニ大工十人毎日出スコト (大工屋根菅左官)
- 一 本日午前一時迄ニ食器洗シシク又ハ大型タラヒ一個ヲ幹旋方要求アリ
- 一 大林大尉外ニ名明日午前八時グラウン大尉ノ所ニ来ルコト
- 一 豊島大佐ノ所ノ三名ノ將校明日午前九時ニグラウン大尉ノ所ニ来ルコト。尚松島脇岬外一ヶ所松島ノ東南ニ当ル地ノ要塞ヲ視察スルニ付知セル人ヲ出頭セシムルコト
- 一 馬ヲ三六頭靴ヲツケテ提供ノコト(軍ニ在ル筈)正式ニ書面ヲ出スガ一底通知シテ置ク
- 一 一万五千バレルノカリリンヲ運ブタンカー(一雙)ヲナクトモ可ガ有ルカ否カ至急回答ノコト
- 一 將官々舎ノ修繕ニ要スル左記諸材料ヲ供給セヨ。尚其等材料ノ貯藏所ヲ通知スレバトラックヲ取りニ行ク (月川邸及江島邸分)
- 硝子 八箱 建具材料 五石
- 天井板 十五坪 障子紙 十二坪
- セメント瓦 五十枚 障子紙 五百枚
- 賃金統制ニ就テ説明ヲ求ム
- 一 浪ノ平ノ司令部ノ先ノ疎開地ニ土藏アリ三棟之ノ一ツハ大波止中村儀平氏所有一ツハ附近ノ藥店ノ所有ヲ使用スル。物品ヲ移転シ中ヲ掃除シテ錠ヲ締メズニ置クコト
- 一 三菱クラウンドヲ飛行場設定ノ爲今日ノ三時乃至三時半迄ノ間ニ爆破スル交通上ノ措置ヲ講ゼラレ度
- 一 尚聯合軍爆破合図ハ旗等ヲ以テ聯合軍ヨリナス
- 一 左記使用シ度
  - イ 石炭 五〇屯 (梅ヶ崎警察署前ニ在ルモノ)
  - ロ 江川製材所
- 一 諒早行午前六時迄ノ貨物列車ハ本部ノ命令アル迄ハ発車スベカラズ
- 一 聯合軍郵便所(元商工聖濟会)附近ニ三〇〇〇平方呎位ノ倉ヲ幹旋提供セラルコト (G4)



洗濯場ノ要求

ノ 干場 五〇呎―七五呎  
真中ニドラックガ通レル様テ場ヲ

ズ 建物 二階建 一〇〇呎―二〇〇呎

三 上水道設備ヲ要ス

々 下水道完備ノコト

一 沢山宅黨僑住居ノ調度品不足ニ付同家付ノ家具ヲ提供スルカ又ハ別ニ  
調達セラレタシ

一 洗濯人夫ヲ雇ヒタシ 勞賃ヲ決定シテ明日午五時迄ニ報告アリタシ

十月一日

一 ゴールドパークノ所へ椅子四脚届タルコト

一 大工五名司令部へ出頭セシムルコト

一 常清高女ヲ上ツタ所ノ日本ノ兵舎ニ棟使ヒ度

一 水ノ浦海兵隊ノ便所及ヒテビス大尉宿泊所ノ方モ同時ニ至急汲取ヲ願  
ヒ度

一 水曜日(十月三日)ヨリ毎日約二十名ノ聯合軍陸隊員ヲ外出セシメルニ  
付通知ス

一 腕章ハ未タ出来ナイカ至急回答ノコト

一 寺山少將ニシユハン大佐ガ直グ会ヒ度キニ付司令部ニ出頭ノコト

一 コルセン大佐ガ調査團ノ人ニ会ヒ度

一 水上署員一名司令部ニ出頭ノコト商船積載小舟ノ類ヲ要求シツ、アリ

一 食器洗ヒ用タライヤ至ニ尺位ノモノヲ昨日申込ンタモノ本日午五時トドケ  
シレ度

一 海運局齊藤港務課長ニシユハン大尉ガ面接致度即刻出頭相成度

一 今日ノ正午迄ニ設営關係出スコト

- 一 陸軍將校一名 陸軍司令部ニ出頭スルコト
- 二 日午前八時迄
- 三 第十三及第十五陣地視察
- 四 プラウシ大尉ノ指揮ヲ受ケルコト
- 五 小ヶ倉寮ニ在ル疊ヲ取片付ツケルコト而シテ民家ニ配給スル様手配スルコト

- 一 松原先ノ防波堤破壊セリ至急修復スルコト (バトリイ中尉)
- 一 市ノ塵捨ト糞尿ヲ調べテ直クニ綺麗ニセヨ (バトリイ中尉)
- 一 福島ノ兵士官別人員及司令官名ヲ知ラセヨ (バトリイ中尉)
- 一 木造船及鋼船ノ修理ヲ早クセヨ (バトリイ中尉)

十月二日

- 一 鉄道電話ノ主任者至急陸軍司令部ニ出頭ノコト
- 一 諫早附近ノ海軍関係碎石機責任者直クニ出頭ノコト
- 一 通信講習所宿舍ハ洗濯場トシテ了合格ナリ陸軍病院ヲ使用シタシ

- 一 水道課責任者一名至急司令部へ出頭ノコト
- 一 大工十五名要求シテ了ツタガ本日ハ五名出テキル他ニ出島岸壁ニ大工十名カラス屋六名屋根葺大名ヲ出スコト
- 一 月川邸(将官宿舍)ノ天井ヲ塗ル爲左官ノ使用スル踏台ヲ一個提供セヨ
- 一 有無並ニ所在場所通知ノコト
- 一 長崎地区ノ陸軍兵站部ノ銃器以外ノ食糧衣服等ノ保管場所ヲ地圖ヲ解リ場々ノ説明出来ル者司令部ニ出頭セヨ 目的ハ民需ヲシテ流ス夕ノ資料
- 一 明三日十二時四十五分長崎発列車ニテ陸軍將校一名佐世保へ行ク駅へ連絡ノコト
- 一 市庁水道部ノ仕事ノ見積ノ出来ル者ヲ司令部へ出頭セシメルコト
- 一 水道用晒粉ハ現在金曜日迄ノ分了リ後ノ使用量ハ未確定又ハ金曜日迄ニ確定ニ入手方手配スルコト 本日四時迄ニ報告ノコト
- 一 海軍兵站部ノ軍需被服食糧其ノ他銃器以外ノモノ、所在地圖ニ記スル上ニ部明日十時迄ニ陸軍司令部ニ出セ





- 一 水曜日正午迄ニ物質表ヲ提出ノコト
- 一 海運局斎藤氏ニゾーパン大尉ノモトニ即刻出頭方連絡ノコト
- 一 ゴールドバウグツ所ニ椅子四個届ケルコト
- 一 波ノ正神学校ノ上ノ兵舎約十三棟明日ヨリ使用ス
- 一 司令部南側ノ端ニ鉄並ニ材木カアルカラ取除クコト
- 一 長崎稅務署ヲ聯合軍ニ於テ使用ス 水曜日迄ニ退クコト  
現在使用シアラサル備品件器ハ其ノ儘殊シ置クコト
- 一 稅務署ノ二階ノ貴賓室机ノ上ニアル硝子板ヲ明日正午迄ニ付マク  
コト 硝子少佐ノ処ニ出セ  
之書類整理箱ヲ四個持ツテ行クコト
- 一 稻佐橋ヲ渡リ水ノ浦ヘ行ク途中ノ三菱ノ木材置場ヲ使用ス
- 一 明日午前九時食糧課長ヨリハトノ所ヘ出頭ノコト
- 一 トランスフオートズガ切レタ配電会社ヘ直ス様指示ノコト
- 一 水ノ浦ノ海兵隊駐在所ノ便所ノ汲取ヲ至急実施サレ度
- 一 ノ 軍政部ニ事務机五椅子五幹旋ノコト (ソアル大尉)
- 一 同ヒール百画酒ニ斗届ケル
- 一 長崎発ニ時ノ貨物列車ハ諫早駅カ混雑シテキルカラ明朝六時ニシテ欲  
シイ
- 一 活水女学校排水口下水故障アリ水道職工一人司令部ニ来ルゴト
- 一 縣全体各市ニ於ケル水道ノ報告書ヲ報提出セヨ
- 一 諫早方面ニクラツシヤ「碎石機」ガ了ル其レヲ使用シテ砂利ヲ製造シ早  
ク出セ 自動車運搬ハ軍デスル 道路ノ修理ニ使フ  
之ノクラツシヤ「ノ場」能カ何日カラ出来ルカ調査セヨ
- 一 海軍將校ニ名聯合軍司令部ニ出頭ノコト
  - (イ) 一人ハ二日前八時迄ニ出頭ノコト
  - (ロ) 軍施設ヲ視察ス長浦行也
  - 3 出頭ノ上ハブヲウシ大尉ノ指揮ヲ受ケルコト
  - 2 一名ハ二日前六時四十五分迄ニ出頭ノコト
  - 3 軍施設ヲ視察ス松島行一泊トス
  - 出頭ノ上ハブヲウシ大尉ノ指揮ヲ受ケルコト

0266

- 一 不釘ニ。本明駐進駐軍司令部へ届ケルコト
- 一 戸川邸將官宿舎修理中ノ官用白灰ニ猿欲シイ至急有無返事ノコト
- 一 天井ノ塗ル爲、材料
- 一 椅子及卓子一組床屋ノ椅子ニ廻提供ノコト本日中ニ有無回答ノコト
- 一 追加運搬椅子一机一椅子一床屋ノ理髪台一
- 一 歩兵新隊社區團社長明三日八時ニ司令部ニ出頭スル様連絡ノコト
- 一 巡査ノ持ッ棍棒ノ具本ガアルカウ司令部ニ取りニ来ルコト
- 一 川崎船所西尾氏ニ一年前運送者カラ如何ナル種類ノ船ヲ作レト去ツ
- 一 三来ツカ英ノ通牒ヲ至急送駐軍司令部ニ届出ル様連絡ノコト
- 一 文房具及物帶地着物地ノ公定価格表ヲ提出ノコト
- 一 鉄道通信ノ責任者ニ今一度出頭セヨ明朝八時
- 一 梅ヶ崎署跡建物使用シタシ
- 一 凡ソ港ハ中ノ部ニ日本ダンヘイ船ヲシキモノ緊留シアリ至急移動セシ
- 一 立神ノ先ノ小神ノ高射機関銃庫地(三)四陣地ノ高射機関銃接收ノ爲メ
- 一 道案内人一名明三日八時迄ニ司令部ロカシ大尉ノモトニ出頭スベシ
- 一 窓硝子工三名明日進駐軍司令部へ出頭セシムルコト
- 一 下月三日
- 一 諫早ヨリガツク五〇〇個諫早所在ノモノニ付至急讓渡指令ヲ乞フ
- 一 縣内ニ於ケル新聞ノ巻取紙ノ在庫數量至急調査ノコト
- 一 進駐軍將校ノ衣服並ニ部屋等ノ整理ノ爲、二十才前後ノボーイ六名使用シ度
- 一 福田寮窓ヲキ廊下ヲキ掃除ナス爲、毎日半日宛男二〇人女六〇人使用シ度
- 一 本日十二時四十五分発列車ニテ司令部將校二名佐世保ニ行ク驛へ連絡ノコト



一 本日から一時近衛及市衛生関係便所責任者ヲ司令部迄出頭セシムルコト

一 散髪用白布ニ〇〇ヤール(五〇〇尺)ヲ至急調達ノコト

一 前田管理部長ニ出頭セヨ (キヤプテンソール)  
谷口司令官午後一時迄出頭セヨ (キヤプテンブラウシ)

一 諫早ヨリ要求

ハンダ 五キロ  
塩酸 一八立  
亜鉛板 三〇〇枚  
男サツツ 六〇〇人分

一 要求諸資材 (G十ペンネット中迄)

プライウツド(飛行機構造ニ使用スル合セ板) 一ニ枚(一〇寸) 二枚(一五寸)

ニ×六呎板 一〇〇枚

ニ×四〇〇 一〇〇枚

一×八〇〇 一〇〇枚

一×四〇〇 五〇枚

ハベニイ釘 五封度

六ペニイ 二封度

一 塵芥係ノ今泉清掃会田島両氏本日午後一時若クハ四時ニ司令部へ出頭  
ノコト

一 三菱製鋼所鋳物工場ノ中二押型第五〇本在リ可及的早く提供サレ度

一 大浦口民学校ニ駐留セル聯合軍ノ部隊名ヲ調査報告ノコト

一 柏ヶ枝町市警倉庫ノ先ニ石炭置場並ニ小サキ倉庫アリ石炭ハ其儘ニテ  
良イカラ小サキ倉庫ノ内部ヲ清掃スルコト

一 警察官用棒五〇本十月八日迄納入ノコト(見本附)

一 椅子四脚(背部ノ真直ナモノ) (特別陸戦隊港々指揮官S.W.ウツクローン中尉)

二 事務机 五脚 全椅子 五脚 (軍政部)

三 三×六呎フアイバー板 三五〇部

六吋材 一五〇〇ボードフイート紙一〇帖 (師團司令部大隊補給係)

事務用机 一脚 (第一二九八工兵戦隊)

テールブル 二脚(三×四呎) (特別陸戦隊司令部大隊)

事務用椅子二脚 (第一二九八工兵戦隊)

事務用椅子付机一脚 (第一二九八工兵戦隊)

昨日依頼セル白灰ニ依受取ノ為現場ニ所有者ノ立会ヲ求ム

長崎警察署ノテーブル。個個用スルM機使用ノモノト思料セラル  
 本日課長ヨリ熊本直ニ「一合送付シタル課長車ニテ積込ノ用意セラ  
 レタシ」  
 課長ニ在ルジ「積込」ムモノナルニ付課長ノ進駐軍ガ課長車ニ行ッ  
 テ時刻等ハ打合せヲスルコトニナツテヤル  
 一昨日ノ川面造船所ニ辨スル運通省カラノ一年前ヨリノ造船ノ覚書命令  
 ニ関スル調査ハ造船ノ種類文ケデヨイカラ至急調査ノコト  
 一各種ノ客船貨物船軍艦巡洋艦駆逐艦汽船汽艇ノ別遷信船等  
 一お島西南端ニ壊レタル建物アリ。是月十日迄ニ之ヲ取除キ整理ノコト  
 一銅座川カラ港ヘ材木ガ流レ込シテセル危險ニ付手配ノコト  
 一縣庁内憲兵隊派出所(会計課前)ヨリ「ゴート」ヒーツギ一箇ノ要求アリ  
 一長三九呎横三六呎ノ硝子何個アリヤ  
 一英文タイプライター「修理者一名ヲ急ニ派遣」ノコト  
 一明朝八時迄ニ左官三名庭師四名司令部ニ派遣ノコト

一 縣立高等女學校ニ明晩兵五〇名宿泊ノ予定ナリ  
 別ニ準備ノ要ナシ  
 一 九州配電株式会社ニ「アンプ」変圧機ヲ明日本部迄持参ノコト  
 一 机用ガラズ31吋46吋各一枚 25吋42吋一枚 明朝十二時迄ニ届ケル  
 コト  
 一 机椅子等ノ既要求品ノ整理並ニ再要求アリ  
 一 函箱椅子 一個 マグラフリン少佐要求  
 一 椅子机一組 MP本部要求  
 一 床屋椅子二個 ベンメット少佐要求  
 一 机一椅子ニ卓子ニ ヒユイックマー大佐要求  
 一 海運局ノモノヲ欲シイ今日午迄取リニ行ク  
 一 スベニシンク用ブラックインキナガロン届ケルコト  
 一 土井首倉庫(三菱所有)ニ在ル白ペンキ(五カロン)込一〇缶ヲ使用スル  
 一 土井首一小ヶ倉庫(倉庫)有ル中ニ消防用ホース「五卷(巻一〇〇m)」  
 ヲ使用スル倉庫ハ川南所有也



一 大村一面七部隊ヨリ接收セルモノハ〇〇枚付番類少々長崎市戦死者  
ニ流用シタシ 縣ノ係員明日(西日)ニモ派遣セラレタシ

一 下水道並ニ上水道用鉄管ニ吋ノ至三吋モノハ〇〇呎ヲ要ス資材アリヤ  
三日中ニ送達ノコト

一 水上署長ニ對シ左ノ通り傳達ヲ依頼ナリ

一 移転命令ヲ覆ニ出シタルモノモ移転ハ見合セテ良イ 但シ水上署長ハ前通  
知ノ通り日八時迄ニ本部ニ出頭セヨ

一 硝子三枚届ケル様要求セルカキ送付ナシ至急届ケルベシ

一 諫早航空隊大格納庫ノ屋根ノ取付工事ニ木材三〇〇〇坪ヲ要ス木材関係  
担当者諫早ニ末ル様要求ナリ

一 明五日ヨリ当分ノ間大工三〇名左官六名ヲ出頭セシムルコト成ル可ク同  
一人ヲ希望ス

一 市内片測町一丁目三五番地ノ建物三菱ノモノラシキヲ使用シタシ  
所有者ノ承諾ヲ得度シ

一 將官宿舎(月川邸)ノ石崖及堀ガ崩レテキル至急修理願ム

九月二十八日左ノ事項要求セリ顛末如何  
米ノ收獲予想高

一 長崎佐賀熊本三縣ノ予想高並ニ前年度トノ比較  
二 縣民ノ生活上種々困ツテ居ル情況調査

一 明日午前一時医薬品配給株式会社々長宮崎氏ニ出頭ヲ要求  
人

一 進駐軍指令部ニ市内ニ詳シイ人ヲ派遣スルコト營膳関係ノ建築ニ通スル

一 本日午前十二時四十五分發列車ニテ聯合軍將校ニ名佐世保ニ向フ  
長崎驛駅ニ連絡ノコト

一 商品公価ヲ決定シタシ縣ノ主務者ヲ出頭セシメラレ度

一 元商工経済会聯合軍郵便局ニ運搬スルテラゲル長三〇尺巾三尺ハデス  
ヲ運ネテハイケナイ 新凶品ハ困難タロウカラ何処カラ何処カラ格借上  
ル様手配ナルコト

一 便所ノ汲ハビシヤク大一個司令部へ至急届ケルコト



十月五日

一 電気バリカン二個司令部宛至急届ケルコト

一 左記ノモノ至急司令部へ届ケルコト

- 一 机上ガラス 三六吋 三枚
- 二 疊表 三枚
- 三 机 三尺一四尺 二脚

一 油屋町ヨリ愛宕町通道路ニ乗合自動車ニ台ヲ放置シアリ之ヲ直チニ撤去シ去移動セシムルコト向今所維持ニ自動車荷馬車等置キルコト

一 右ノ撤去ノ結果報告ト共ニ從來ノ放置セル自動車荷馬車等ニ因ル事故ヲ報告コト

一 本日午前一時一五分ニ谷口司令官ニ對シホルパン大佐ノモトニ出頭スル様連絡ノコト

一 長福丸五島ヨリ復員兵士九〇〇名ヲ乗セテ入港セリ右前裝備ヲ調査シ即刻復員セシメル 警察官ノ整備員ヲ派遣セシメルコト

一 野母道路カ彼換シテ自動車ヲ通ナルニ依リ至急補修ノコト

一 水道江天六名司令部へ至急出頭セシメルコト

一 三菱ノ水ノ浦浦新ノ便所ヲ彼換シテキルカラ至急修理スルコト

一 センネル三〇張被シ五〇張至急活木安學校兵舎ニ届ケルコト

一 本日届ケタル圓形椅子用生蒲團ニ枚至急修理シ司令部へ届ケルコト

一 机用ガラス長三尺中二尺一枚司令部へ届ケルコト

一 明日午前八時迄大工四〇人左官一五名屋根葺門一〇名壁葺川五名電氣工夫六名司令部へ出頭セシメルコト

一 カンリン五カロン一錠明朝十時迄浦上病院モロー一届ケルコト

一 水道工夫六名司令部へ至急出頭セシメルコト

一 商工課長ニ直ク司令部ニ出頭セヨ

一 稲佐橋附近ヲ地ナラシメテキル其ノ附近ニ煉炭ヲ製造シテキル家カナル司令部へ其処ノ責任者ヲ出頭セヨ

0270

RA'-0108

0236

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan



昭二〇二〇年十月一日 長崎縣知事 永野若松

總務部長

昭二〇二〇年十月一日

長崎縣知事 永野若松

外務大臣殿  
内務大臣殿  
九州地方總監殿

長崎地區ニ於テ聯合軍ト連絡ニ関スル件

長崎縣ニ對シ聯合軍ノ進駐状況等ニ関シテハ隨時御報告致  
置候通りニシテ聯合軍ハ大村地區ニ九月二十日ヨリ 佐世保地區ニ九  
月二十二日ヨリ 長崎地區ニ九月二十三ヨリ進駐ニ開始シ十月一日  
現在ニ於テ佐世保市及其附近ニ約三万四千名 大村市ニ約十  
名 長崎市及其附近ニ約一万一千三百名 諫早市約七千

五百名ノ進駐ヲ了シ其間些少ノ事故發生ヲ見ケルモ概ネ  
円滑ニ推移シ來リ 發生シタル事故ニ對シテモ先方ニ於テ既ニ處  
置ヲ了シタル状況ニ有之候 而シテ此等聯合軍ト日本側トノ  
連絡ニ関シテ九月十三日佐世保ニ連絡委員會ノ正式設置ア  
リ 佐世保市及大村市方面ニ進駐スル聯合軍ト連絡折衝ニ當  
ルコトニ爲リタルガ長崎市及諫早市方面ニ進駐セル聯合軍トハ  
先方部隊ノ系統及兵員數等ニ我方ニ於ケル佐世保鎮守府及  
長崎縣廳ノ業務分担ノ都合等ヲ稽ヘ佐世保連絡委員會  
ト別個ニ連絡委員會ヲ設置シテ先方ト連絡折衝ニ當ル  
ヲ最適ト認メラレタルヲ以テ 外務省派遣官吏 九州地方總監  
府 佐世保連絡委員會 西部軍司令部等トモ協議ニ事實  
ト長崎連絡委員會ヲ設置シテ小官委員長ト爲リ關係  
官公署等ヨリ適當ナル委員ヲ選任シ九月十七日聯合軍先

0271

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

RA'-0108

0237

遣隊ト折衝ヲ開始シテ以来今日ニ至ル迄田滑且活弁ナル  
運營ヲ圖リ来リタル次第ニ有之候 然レニ未ダ中央ヨリ長  
崎連絡委員會ノ正式設置ノ通知ニ接セズ今後ニ於ケル事務  
ノ進捗上困難ヲ感シ居候ニ付茲ニ從前ノ徑過ノ概略ヲ報  
告スル共ニ速ニ長崎連絡委員會ヲ正式設置セラル様特別  
ノ御取計相煩度此段及上申候也

一長崎地区ニ對シテ聯合軍ノ進駐ニ関シテハ終戰直後ヨリ其事  
アルヲ察知セラレタルヲ以テ長崎縣廳トテハ直ニ之ヲ對策ニ付連  
日ニ亘リ協議ヲ重ネ受入準備等ニ努力中ナリト云フ九月  
十三日中央ヨリ九州地方總監府ヲ通ジ進駐ノ日時及聯合軍ノ  
要求事項等連絡アリタルニ由リ佐世保鎮守府九州地方總  
監府單等トモ協議レソツ鏡意準備ヲ爲シ聯合軍ノ進駐

ニ遺憾ナキヲ期スルコトトシタリ  
一而シテ佐世保地区ニ對シテ進駐ニ関シテハ九月十三日正式設置ヲ見  
タル佐世保連絡委員會ニ於テ準備並ニ連絡折衝ニ當ルコトト  
爲リタルガ曩ニ述ベタルガ如ク長崎地区ト佐世保地区トニ進駐ス  
ル先方部隊ノ系統カ異レト長崎地区ニ進駐予是ノ兵員  
數ガ三万二千名ノ多數ニシテト地ニ當リテハ實情トシテ佐世  
保方面ハ佐世保鎮守府ヲ主体トシ長崎市方面ハ縣廳  
ヲ主体トシテ夫々別個ニ連絡折衝ニ當ルヲ便宜ト認メラレタ  
ルニト 諸莫ニ願ミ長崎市方面ニ進駐スル聯合軍ト連絡折  
衝ハ佐世保連絡委員會ト別個ニ長崎市ニ連絡委員會ヲ  
設置シテ之ニ當リテ適當ト認メ居タルモ中央ヨリハ其ノ方針  
ニ付特別ノ指圖ナク小官トシテ之カ處置ニ付困惑ヲ感シ居  
タルト云フ 九月十六日ニ至リ外務省問頼總領事九州地方總監

0272

RA'-0108

0238

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan



府安田官房主幹、西部軍司令部江潮少将等長崎市に到着シタルヲ以テ豫テ研究準備中ノ長崎地区ニ於ケル連絡及受入事務組織等ヲ中心トシ同日午後長崎縣廳ニ於テ関係官公署等代表者ヲ集メ協議ヲ爲シ便宜別紙(一)ノ如キ構成ニ依リ長崎連絡委員會ヲ設置シ到着期日切迫スト認メラシタル聯合軍先遣隊ト折衝ニ當ルト共ニ先方要求事項ニ付準備打合ヲ遂ヘタリ

一然ルトコロ右委員會成立ハ翌日即チ九月十七日長崎港聯合軍先遣隊到着シタルヲ以テ先方要求ニ依リ小官駐長崎要塞司令官、西部軍江潮少将等先遣隊長ウエニンガー大佐、ワイルド中佐等ト面會シタルトコロ其場ニ於テ佐世保地区ト別個要求ナリトシテ別紙(三)ノ具體的  
要求ヲ受テ之ヲ中心ニ質疑應答ヲ爲シタリ 而シテ

ウエニンガー大佐、佐世保地区ニ對スル進駐ニ関シ佐世保連絡委員會ト折衝ヲ開始スル爲メ九月十八日佐世保地区ニ向ヒ長崎地区進駐ニ関シテワイルド中佐主任トシテ相當スルエント爲リ其後同中佐外数名ノ士官ト數回ニ亘リ小官及當方關係委員面會シ別紙(三)及(四)ノ要求事項ヲ中心ニ種々打合ヲ爲スト共ニ當方トシテハ要求事項ノ充足ニ付萬全ヲ努メカヲ爲ストトシタリ

一原子爆彈ニ因リ深刻ナル被害ヲ蒙ル長崎市及其附近ニ對シ聯合軍ニ方ニ名ノ進駐ヲ見ルハ元來無理ナリト認メ居ルトコロ果シテ先方要求事項ノ充足ニ付其當方トシテ相當ノ困難ヲ感シタルモ先方ニ對シテハ當地ノ實情ヲ充分説明スルト共ニ進駐場所ノ決定ニ付テハ市民生活ノ便宜ヲ出来得限リ考慮シツ、先方ト折衝ニ當ルニトシニ方約束事

項ニ付テ、誠意ヲ以テ作業ノ完遂ヲ圖ルニトシタル結果先遣  
 隊トシテ連絡折衝ハ至極円滑ニ進捗シタル次第ナリ  
 一其ノ間長崎地区ニ於テ先遣連絡委員會、正式設置方ニ付テ九州  
 地方總監府及佐世保鎮守府等ヲ通シ中央ノ意向ヲ質シ  
 設置手續ノ促進ヲ圖ラレ度キ旨連絡方依頼シタルコト九月  
 ニ十日頃九州地方總監府ヨリ内務省警保局外事課長ヨリ回  
 答ナリトシテ聯合軍進駐後設置ノ方針ニ付可然御處置  
 相成度キ旨、電話連絡アリ、九月二十日頃又佐世保鎮守府ヨ  
 リモ長崎地区ニ独立ニテ委員會ヲ設置セラル、中央ノ方針ナ  
 ル旨ノ情報アリ、現地トシテハ正式設置ノ手續、如何ニ問ハズ  
 先遣隊トシテ交渉上差當リ委員名簿提出ノ必要ニ過ラレタル  
 ヲ以テ別紙(五)ノ如キ英文名簿ヲ提出シ交渉ノ円滑ヲ圖ル  
 コトトセリ

一而シテ長崎港ニ對スル聯合軍進駐ハ中央ヨリ通知アリタル日時  
 ヲリ三日程早ク九月二十三日ヨリ開始セラルコトト爲リ一層當  
 方引受作業ノ進捗ニ困難ヲ來シタルガ進駐ノ予定、如ク九月  
 二十三日ヨリ開始セラレ、後ノ状況ハ既報ノ如ク概ネ平穩裡ニ  
 推移シツ、アル次第ナリ(進駐開始後、状況等ニ関シテ隨時警  
 備本部ヨリ報告シタルモ、重複ヲ厭ハズ便宜別紙(六)トシテ添附ス)  
 一長崎地区ニ進駐セシ聯合軍ノ司令部ハ政務部ヲ初メ多數ノ專  
 問家ヨリ成ル相當ノスタッフヲ以テ當方ニ接シ各種ノ要求  
 質問等ヲ連日ニ亘リ爲シツ、アリ(別紙(七))之ニ對シ長崎  
 連絡委員會トシテ折衝回答シ多忙ヲ極メ、今後ニ於テハ豫算  
 經理ハ處理、爾今發生スベキ各種問題ノ處理上、便宜ヲ措テ  
 シ、速ニ長崎地区ニ独立ノ連絡委員會ヲ正式設置スルノ必要ヲ  
 痛感セラル、次第ナリ



一尚大村地区ノ進駐軍ト連絡折衝ハ佐世保連絡委員会ノ  
支部機構トシテ大村市ニ連絡委員会ヲ組織シテ之ニ當リ  
諫早地区ノ進駐軍ハ長崎市進駐軍ノ一部ト等ノ事情  
ニ照シ長崎連絡委員会ノ支部機構トシテ諫早連絡委員  
會ヲ設置シテ先方ト連絡ニ當ルコトトシ以テ現地ニ於ケル連絡  
折衝ノ円滑ナル運営ヲ圖リツツナリ而シテ諫早委員会  
ハ當初ヨリ諫早市長ヲ委員長トシ市役所ガ主体ト爲リテ  
作業ヲ爲シ縣ニ關係官ヲ派遣應接セシムルコトトシタリ  
大村委員会ハ大村海軍航空廠長ヲ委員長トシテ弁定ニ初  
期ノ任務ヲ果シツアルガ軍ノ復員等ノ爲近ク大村市長ヲ  
委員長トシ委員会ノ組織ニ変更ヲ加フル必要アルモノト思料  
シ居レリ

0275

RA'-0108

0241

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan



長崎連絡委員会事務分日表

委員長 永野長崎縣  
 副委員長 江湖陸軍少將  
 寺中海軍少將  
 九州總監督  
 岡田長崎市長  
 田副參事官

部		委員
警備部	鈴木警備部長	久武(事) (縣)
海上部	岡本(局長) (海運局) 鈴木警備部長 山本大佐 (海)	梶山(縣) 中村(縣)
建設部	森田助役(中) 豐島大佐(海) 平田副參事官(統)	梶山(縣) 中村(縣)
庶務	各種制度品	梶山(縣)
電話施設	電燈施設	梶山(縣)
土地建物港灣 道路水道施設	冠安修築施設	梶山(縣)
廢務及連絡	一般食糧	梶山(縣)
勞務	電信施設	梶山(縣)
各種制度品	電燈施設	梶山(縣)
各種制度品	土地建物港灣 道路水道施設	梶山(縣)
各種制度品	冠安修築施設	梶山(縣)
各種制度品	廢務及連絡	梶山(縣)
各種制度品	一般食糧	梶山(縣)
各種制度品	勞務	梶山(縣)
各種制度品	電話施設	梶山(縣)
各種制度品	電燈施設	梶山(縣)
各種制度品	土地建物港灣 道路水道施設	梶山(縣)
各種制度品	冠安修築施設	梶山(縣)
各種制度品	廢務及連絡	梶山(縣)
各種制度品	一般食糧	梶山(縣)



電信寫

A 1002

外務省

昭和二〇 一 一 四 九 四 平 鹿 尾 十月三日 一五〇〇 發 選  
 本省 五日 一 四 五 潛

河相次官  
 (種子ヶ島廻留ノ件)  
 米側ヨリ種子ヶ島廻留ニ關シ現場調査ノ研究ノ必要アラハ米側  
 トシテモ人道的見地ヨリ連絡飛行機提供方考慮シ差支ナキ旨ノ  
 口頭申出アリ米當局ニ於テノ實行計畫手配申ナルモ不取敢

(了)

0278

備考 委員中。印ヲ附シ者ヲ主務委員トス

衛生部 内政部長(縣) 陸軍醫學主任(海)	輸送部 前田鐵道管理部長 海運局長(海)	警務部 警務部長(縣)	物産部 經濟部長(縣)
全 般	海上輸送	陸上運送	飲 料
中山衛生課長(縣)	林井管理課長	泉輸送課長(縣) 鐵道輸送課長	大野航務課長
住田生志部長(省)	成瀬復興部長(省)	大西林務課長(縣)	細川草堂次官
			立石經濟課長(縣)
			山崎高王部長(縣)
			住田生活部長(省)
			液体燃料
			日用品
			未建築材料類
			煙草食鹽

0277

RA'-0108

0243

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

作業及訓練	R. A. ミットルズゲート	大尉
航空技術官	ゴックリオン	大尉
土木	ハイア	シ
三才一ニ七聯隊		
聯隊長	フレージャー	中佐
軍医長	クーパー	少佐
警備及武器	バフロン	少尉
憲兵隊長	デニフィン	少尉
三軍政部(才一ニ七聯隊附)		
部長	スティーグ	中佐
記録	クラーク	少佐
経理	オウアトソン	少佐
法務	バンゼット	少尉

(日本標準規格 B5)

0280

外務省

A 1.0.2

司令官	トーマス H. ハーグ	少佐
副司令官	J. W. ジョーンズ	少佐
副官	F. D. ドラウラー	中尉
需品官	J. S. ストーン	大尉

一、米占領軍編成(通)

二、鹿屋進駐航空特別任務部隊下野

聯合軍倒上折衝三箇事項

(日本標準規格 B5)

0279

外務省

鹿屋進駐航空特別任務隊長

鹿屋進駐航空特別任務隊長

昭和二十年十月六日

鹿屋進駐航空特別任務隊長 山路 章

才一ニ七 才三ニ七

聯合軍倒上折衝三箇事項

記録



ニ前米軍司令部官のシリシ右佐當時九月十日  
 之書ヲ以テ委員会ノ態ヲ地難シニシテアサ  
 司令部ニ對シ委員会ノ排除ヲ求ルルヤ又知  
 シザル旨ノ強硬申入ヲ爲シ事リタル事ア  
 又當時ノ主戦ニ関スル認識ヲ深クシ共ニ  
 委員会ニ對スル態度ヲ漸次変更シ其ノ  
 後米軍司令部トノ折衝ハ極メテ調  
 ニ進歩シワマリ後記ノ如ク右官ヲ右佐  
 佐野ノ爲メ米軍司令部官の4ヤカマシシ右佐  
 ヲ訪問セム際ニ4ヤカマシシ右佐ニ委員  
 会トノ連絡ヲ密ニ行キおキ旨ノ希望ヲ  
 述ヘ居タリ而シテ右官ニ於テモ常ニ連  
 絡ヲ密ニシ意思ヲ通フ旨ニ努メシツアリ

(日本標準規格B5)

0282

外務省

輸送及調達  
 オスボン右尉  
 ニールスン中尉(トランク)  
 マクリーン中尉

(日本標準規格B5)

0281

外務省

RA'-0108

0245

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

三、日取道ニ於ケル聯合軍ト折衝事項左ノ通  
 一、九月二十四日  
 米兵ニシテ却テ去テ救助ニ對スル感謝状ノ付  
 九月十五日、龍凡ニシテ古江ノ漁夫遭難セシヨリ米兵六ノ勇  
 敢ナル行為ニシテ救助セシタル事件ニ関シテ鹿児島縣  
 知事石ニテ感謝ヲ表明セリ  
 二、九月二十日  
 立入禁止區域ハトシテ又許可方申請ノ件  
 聯合軍側工事ノ存否協同ニ供スル食料  
 持出ノ存約一週目ニ亘テトシテノ出入許可ヲ  
 願ヘリ  
 三、九月二十日  
 宮崎方面ニ於ケル米兵行士救恤ノ件

(日本標準規格B5)

外務省

0284

前記軍政部ニ占領軍内部ニ於テ労務、需  
 品、調達等ニ関スル事項ヲ管掌スルニテ特殊  
 部内ニシテ軍政部ト稱スルモ右ノ直接一級  
 氏象ニ對スル所謂軍政ヲ施行スルモノニ  
 非ラズ  
 軍政部員ハ米國內ニ於テ特殊ノ訓練ヲ  
 受ケタル部員ニ依リ構成セラルルモノナリ

(日本標準規格B5)

外務省

0283

RA'-0108

0246

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan



ト理局ト由ニ一致ヲ生スヘキ付立ヲ取端ラシガキ  
 旨の陸軍トシテ在リ如キ行方防止ノ存建札  
 ヲ建シハキ旨並ニ根本的ニ成ル可ク早目ニ武  
 器引換ヲ實施シガキ旨申入シタリ

(由) 九月三十日  
 敵屋残存軍人負傷報告ノ件  
 武裝無事ハ十九日ノ軍人連絡委員会及  
 技術上ノ必要上残存ル旨ヲ報告ス

(三) 九月三十日  
 二十五日御真影射撃ノ事件ニ対スル由答  
 (農運中三号ニ参照)

(四) 十月一日  
 新物没収事件

(日本標準規格 B5)

0286

二十五日乃干五搭象鼻飛行士六名(内二名死)ハ  
 山崎縣海岸ニ墜落セルヲ以テ之ヲ救助直チ  
 ニ山崎醫院ノ手当ヲ受ケテ二十名ノ敵屋ニ誘送セ  
 ラレタリ。先方ハ之ニ對シ謝意ヲ述ヘハ「アア」トシテ  
 合部ニ報告ノ存経過報告書ヲ提出ヲ要ス  
 哉セリ。

(四) 九月三十日  
 新物没収事件ニ対スル由入シノ件  
 九月二十日迄報告ニ事及ル者二十五日都城  
 ニ四名ニテ各都城ニ七名ガ事リキトシテ  
 敵日軍ノ没収セル旨ニ對シ陸軍トシテ  
 既ニ武器引換準備ノ段階トシテ中出ニ目  
 録提出格ニ付斯ニ没収継続スルニ於テハ目録

(日本標準規格 B5)

0285

RA'-0108

0247

砲七の事件ニ因ル申入

(十) 十月二日  
 消防自 助車備付 サレシニ 辺印方申入付  
 九月十三日 米兵ニ 対 折属即 新域 射 砲 出  
 折前道路ニ 花リニ 消防自 助車 備付  
 サレシニ 持去リタル 事件ニ 因ル 申入

(四) 十月二日  
 立入 禁止 已成リ 物 知 持 出  
 官 脇 福 吉 氏 秘 物 持 出ニ 対 方 申 入

(日本標準規格B5)

0288

九月二十九日 重水 梅 軍 特別 係 在 改 事務 所  
 相 慮 ヲ 訪 シ 巡 邏 ト 梅 ニ 某 特 務 ノ 字 號  
 概 一 腕 時計 一 ヲ 持 出 去 リタル 事件ニ 因ル  
 ル 申 入

(四) 十月一日  
 腕 時計 持 出 事件

九月二十四日 野 下 所 属 市 古 振 占 某 某 標  
 道 造 程 概 内 所 三 腕 時計 ヲ 持 出 サレタル  
 事件ニ 対スル 申入

(九) 十月一日  
 米 兵 裝 砲 威 嚇 事件

九月廿四日 米 兵 五 名 一 旅 団 市 指 貸 商  
 某 方 二 車 ヲ 燒 却 出 七 ヲ 強 要 威 嚇 装

(日本標準規格B5)

0287

外務省

外務省

RA'-0108

0248

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan



外務省

聯合進駐軍連絡委員會回報第十五號十月六日  
委員終戰連絡中央軍一殿 委員長  
情報部長

聯合進駐軍進駐状況

福岡地區 (十月五日現在) (本項は西軍折衝情報第四号)

進駐開始 九月三日

進駐兵力 約一、二〇〇

進駐軍編成並ニ所在

第五海兵師團第三十八聯隊

指揮官

司令 部

幕僚

參謀長

副參謀

ロビンソン代將(第五航空隊所屬)

東公園 一方亭

ウイリアム大佐

バニクス少佐

トンプソン少佐

ウインド少佐

バスター少佐

兵員宿舎

在香港

九州飛行機製作所工員宿舎

陸軍第四倉庫

(以下連絡委員會情報)

乙 閉門地區

十月四日約三〇〇名(佐古保)下関到着

十月十六日約一〇〇名進駐開始

門司小倉 四〇〇名

別小倉 三五〇名

八幡 三五〇名

下関 三五〇名

計一四五〇名

八所司令長官六八時左に通電話あり

門司市六日十三時三〇名(海兵隊)進駐宿舎内司俱樂部

九日若八日五〇名(宿舎神製鋼所神銅寮)

猶部長級連絡者ヲ縣ヨリ派遣方ヲ要請來ル

前項要請直ニ不取敢有十四時去登ニテ終清第二部長ヲ門司ニ派遣ス

A/10.0.2

0289

RA'-0108

0249

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

二十五日時櫻井内政部長ハ美馬外務課長ヲ帶同シテラ  
ロビンソン司令部ニロビンソン代將ヲ訪問 連絡委員會ヲ  
代表シテ別紙ノ如キ進駐軍司令部ニ対スル希望ヲ申込レタリ  
ロビンソン司令官ノ回答要旨日次ノ通ナリ

一 承知セリ

二 承知セリ 予メ電話等ニテ連絡スルモ必ズ文書ヨリ手交ス

三 承知セリ 現ニ今實施シテアルガ是レ上ニ何處カ増設

四 委員會トノ連絡ハ司令部ニ於テハ 尤モ希望アリヤ

外ハナリ大尉ガ軍政府ニ於テハハバワトカ少佐之ニ當ル

門司ニ於テハ六日ヨリ名程度進駐ス 次ニ七〇名程度及ニテリ

今日申旬六日ヨリハ名程度進駐ス 六〇〇名程度進駐スルナラン

佐賀ハ一〇〇〇名程度本ニハ三〇〇〇名程度進駐ス 大分田

六 ビルニ付テハ軍政府ヲ統一ラトシタルヲ可トセン 久留米ハ不明ナリ

七 四ヨリ承知ス

九 秋道ナル是縣代表、爲ニ日ニ與ヘタリ

一〇 承知ス

以上外ニ内政部長ハ進駐軍ノ要求ハ縣トシテハ全カヲ與テ期  
待ニ沿フベク努力シアルモ敗戦ニヨル縣民志氣ノ沮喪 交通通  
信機關ノ破壊等ニヨリ伴々涉ラザルニテ自ラ説明セル處戰事  
ニヨリ疲勞シタルハ彼我同様ナル實情ナラテ右ノ如キハ理由ナ  
ラズ當カノ要求ハ未得限リ是非トモ實行スベシ 但シ不可能  
ナル事頂テ要求セザルニ望ムナリ 宿舎問題、如キ市民ニ迷惑ヲ  
掛ケザル心算ナルモ縣ニ於テ所定ノ準備出来ザルハ得ル  
一級兵隊ヲ使用セザルベカラザルニ至ルヤモ知レザルヲ以テ此點能  
了解シテ欲得限リノ處置ヲ講ズベシ 特ニ港務問題ニ関シ  
テハ 例ヘバ武徳殿ノ方ハ順調ニ行キタルモ香椎雨品倉庫ハ向  
滑ニ實施セラレズ 之ハ監督者ナカリン爲テリト思惟ス去務  
勞務者モ遊ビタル者ヲ大部見受タリ今後進駐軍人員増

0290

RA'-0108

0250

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan



加せ場合ハ努力務モ多大ニ要求スルニ至ラン此場合ヨリ想シ今ヨリ十分準備シ置クベシ

三要 求

ハケスバイン大佐五百十四騎内政部長ニ訪問シ左ノ要求ヲナセリ  
明六日下関ヲ明後日門司小倉八幡戸畑ヲ視察ス  
依テ門司市長ニ北九州ニ於テ左記件ノ施設ヲ表示シタル  
地圖ヲ調製セシ安内者通譯ヲ準備セシムベシ

宿舎 事務所 建物 候補  
陸海軍関係 建物 表  
其他 木テリ 表

2 右要求ニ基キ同日十八時内司市長ニ対シテハ市秘書課長ヘ  
下関市ニ村々ハ山口縣警備部長ヲ受話者トシテ電話  
通報ス

3 四日シンソ司令部ヨリ「トラング」約五〇輛福岡市ヘ提供カ  
4 外國人遺骨引渡ニ関スル情報 要求シ来リ

本六日聯合軍「オド」ニホリ中尉ヨリ元陸軍部カノ遺骨十五体ノ  
引渡ヲ要求シ来リ 里林ヲ引渡シ完了セリ (折衝情報 先四十八号)

四 決定

本六日西部軍管區司令部廳舎ハ聯合軍ヨリ接收セラル  
ニ階東半部ハ今後三月日本側ニ於テ使用ス折衝班ハ同ニ階ニ其  
他ハ敬言固小遣子夜ニ移轉セリ  
2 憲兵司令部ハ四日建物家具施設一切ヲ聯合軍ヨリ接收シ  
司令部ハ要索ヨリ司令部ヨリ引渡ヲ完了福岡官憲分隊  
ニ移轉シ完了セリ

進駐軍司令部ニ對スル希望

(田報者十喜子別紙)  
福岡縣聯合進駐軍連絡委員會

一、進駐軍ノ當方ニ對スル要求(純然タル軍事上ノ要求ヲ除ク)  
ハ總ベテ委員會ヨリ通ジテ爲サレ度キト、當方ヨリノ希望事  
項モ總ベテ委員會ヨリ通ジテ爲スモノトス

二、要求ハ正確ヲ期スル爲原則トシテ責任者ノ署名セル文書ニ依  
テ爲サレ度キト

三、進駐軍ト市民トノ間事故防止爲M、Pニ依ル市内巡察  
ヲ實施サレ度キト

尚當方ヨリ希望セル場合ハ必要ナル個所ニ特ニM、P「ガード」  
ヲ配置セラレ度シ此、場合ハ當方ヨリモ敬言ニ警官ヲ配置ス  
ルコトニ司令部ニ於ケル庶務、經理、宿舎、設營、勞務  
食糧、飲料、自動車、衛生、通信、敬言ニ察其他進駐軍所

ニ對シテ各種問題ニ對シテ分擔表ヲ各責任將校  
各前ト共ニ明示サレ度キト  
故トナレバ貴方ノ要求ニ不明ナル部分ヲ生ジタル又ハ當方ヨリ特  
ニ説明ニ必要ナルトキハ必要ナリ

五、門司、大牟田、久留米其他進駐地域ガ決定シテ居ルハ至急  
其兵力等御知ラセラセテ委員會ニ於テモ各種準備ヲ爲  
ス必要ナルカラ

六、進駐軍ノ要求スル飲料、勞務、資材其他ニ要スル經費  
ノ支拂方法ニキキ協定致度キ故貴方ノ責任者ノ指示サレ度キト

七、同一問題(例ハ飲料、宿舎、通款等)ニ對スル進駐軍ノ  
要求ハ原則トシテロビンソン司令部ノ同一係ヲ要求セシ度キト

八、司令部等ヲ進駐軍ニ於テ使用決定セシタル場合ハ現場同  
伴ニ對シテ委員會ニ對シテ其旨傳達セルカ又ハ委員會代表者  
ニ對シテ委員會事務局長櫻井三郎ニ通知セシレ度キト

九、委員會事務局長櫻井三郎ニ通知セシレ度キト





本委員會ニ於テハ直下ニ當該建物ノ所有者若クハ使用者ニ對シ  
 其旨申シ渡シテ爲シテ予メ準備セシメ置クハ要ガアルカ  
 九〇二〇司令部ニ勤務スル本委員會代表者及通訳ニ。名ノ  
 爲適當ナル部屋ヲ與ヘテ度キコト  
 一。本縣ノ食糧事情、衛生事情、輸送機關、貨物自動車、  
 不足ニ依リ非常ニ困難ナル狀況ニ係リ一般國民ハ日常生活上非常  
 ナル困難下ニアルヲ以テ進駐軍ハ自動車ヲ接收セル上ニ於テハ  
 其內取敢エズ四十分ノ右ノ爲縣ニ於テ使用  
 方許可セラレタシ  
 二。聯合國最高司令官ノ指示ニ其キ登セラレタル一般命令ヲ爲第廿一  
 項ニヨリ一般民間ノ所有スル一切ノ武器ハ之ヲ聯合國側ニ引渡ス  
 準備ノ要アルルタメ目下縣下一般ニ引渡シ民間ノ所有スル武器(日本刀  
 拳銃、軍用火藥等)ヲ召集中ニテ以テ運搬途中聯合軍ニ  
 於テ押收スル様ノ事ナキ様配意相成度

0293

RA'-0108

0253

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

0294

再四 總務課

總務課

佐世保連絡委員會關係調整ノ件

郵表

二〇、一〇、七  
海軍省

首照ノ件ニ關スル海軍省提案左記ノ如シ、各部異議無ケレバ直ニ發動ノコトト致度

杉山委員長ヨリノ報告ニ依レバ各委員ノ誠意ト努力トニ依リ何等ノ事故無ク今日迄至誠圓滿ニ經過シ來レリ、然シテ今ヤ委員會ノ仕事モ次第ニ細項ニ入りツツアリテ委員長及鎮守府長官ノ兩任務ヲ分離セシムベキ段階ニ達セルモノト認メラル

海軍トシテハ右意見竝ニ海軍省解消時期ノ切迫トモ併セ考ヘテ左ノ方針ニ依リ調整致度

一、現在佐世保鎮守府司令長官ト佐世保連絡委員會委員長トハ一人二役ナル處之ヲ分離シ後者ヲ外務又ハ内務省關係員ニ引繼グモノトス

(佐世保電港ト海軍トノ特殊關係ニ鑑ミ要スレバ海軍省解消後モ囑託ノ形式等ニ依リ擔任者ヲ確保スルノ用意アリ)

三、聯合電港駐狀況ト觀ミ合セ博多ニ地方事務局ヲ佐世保ニ其ノ支店ヲ設置スル如ク準備ス

(人喜 口述……現在佐世保河原參事官)

RA'-0108

0294

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan



A'100 2

建物名稱	場所	接収日	接収部隊	使用部隊
九州飛行機和台水	相模原村海中道	未定	進駐歩兵	旅團八〇名
岡山飛行機積有來員	八ヶ野岡山村	一〇・三五	〃	旅團八〇名
養正所飛行機建物	朝倉町八ヶ野村	一〇・二三	〃	旅團八〇名
多摩駐在所事務所	福岡市牛代田ビル前	〃	〃	〃
〃	福岡市雁ノ巣	〃	〃	〃
〃	福岡市雁ノ巣	〃	〃	〃
野氏別邸	福岡市大名町	〃	〃	〃
大田清和公建物	福岡市外香椎	〃	〃	〃
〃	福岡市外香椎	〃	〃	〃

終戦事務第一号  
 聯合進駐軍道務委員會報第十號 十月二十三日  
 委員長 局長  
 左通進駐軍ヨリ接収スルコトニ決定ス

2011 6

0296

A'100 2-3

昭和二〇 一一七〇〇 平 處置 十月二十一日 一五〇〇 發  
 本省 二十二日 一七一〇 發  
 山陽連絡事務局長  
 (至急)  
 (聯合軍進駐ニ伴フ事務連絡ノ件)  
 當地聯合軍進駐區域ハ十月四日以來宮崎郡之城福山ノ線以南ノ大隅  
 半島全部ニ擴大セラレタルカ近ク第五水陸兩部隊ニ屬スル第二師團  
 現駐地進駐歩兵部隊ト交代シ宮崎方面ヘモ進駐スルコトトナリ又本  
 月末頃約一千鹿兒島市ニモ進駐スル管ナルカ兩縣下進駐部隊ニ屬ス  
 ル連絡業務ハ各地ニ設置セラルヘキ連絡機關ノ往來如何ヲ問ハス當  
 方ニテ適宜指導協力援助スルコトト致置何分ソ御回示請フ(了)

差 付

0295

RA'-0108

0255

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

0297

聯合進駐軍連絡委員會報第千三號 十月十六日  
委員 外務省終身課長 殿 委員 一  
情報 中央平定局長

十一月十四日現在 於 前合軍九州地區(含山口縣)進駐状況  
別紙 如シ

福岡地區進駐軍第三師團司令部幹部名簿  
師團長代理 マックブライド代將

參謀長 バローー大佐

參謀(人事) カーナート中佐

參謀(情報) マツプマン少佐

參謀(休戰) クラスバン中佐

參謀(補給) ストラウス中佐

參謀(通信) フォード少佐

第三十二師團司令部官署管轄サレル區域は朝倉郡下谷羽  
郡三井郡境東線ヨリ北側地區ナリ  
四前項區域以南福岡縣管内に第五海兵師團司令部  
管轄サレアリ  
五十三日一三〇ヨリ三十二師團トロビンソン司令部ト事務分  
割實施セラレ二十四日ハ〇ヨリ連絡所ハ千代田ビル四階ニシテ  
情報主任ハキヤプマン(Cayman)少佐ナリ(五項海軍情報)

RA'-0108

0256

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

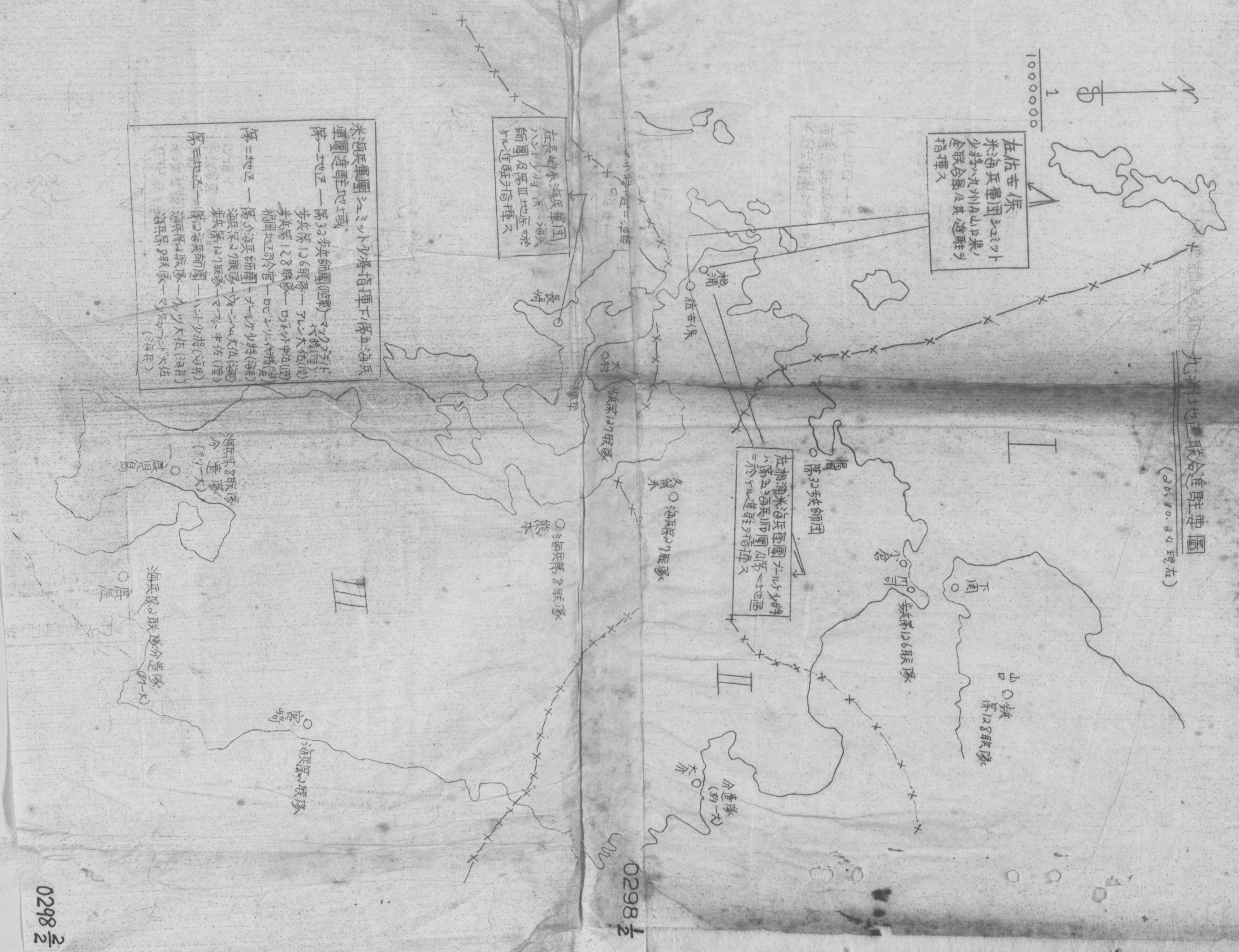
国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan



九州上陸軍聯合進駐要圖  
(昭和10.04現在)



米海兵軍團シムット少将指揮下第2海兵連隊進駐地域

第一地区 — 第30歩兵師団(連隊) — シムット少将(連隊長) 歩兵第126隊第一中隊(連隊長) 歩兵第128隊第一中隊(連隊長) 福岡地区司令官 — ロビンソン少将(連隊長)

第二地区 — 第128歩兵師団 — シムット少将(連隊長) 海兵隊司令官 — シムット少将(連隊長) 第128歩兵連隊第一中隊(連隊長) 海兵隊司令官 — シムット少将(連隊長)

第三地区 — 第128歩兵師団 — シムット少将(連隊長) 海兵隊司令官 — シムット少将(連隊長) 第128歩兵連隊第一中隊(連隊長) 海兵隊司令官 — シムット少将(連隊長)

左長崎水陸兵團  
ハント少将(連隊長)  
師団及第128隊  
シムット少将指揮

左福岡水陸兵團  
ハント少将(連隊長)  
師団及第128隊  
シムット少将指揮

左佐賀水陸兵團  
ハント少将(連隊長)  
師団及第128隊  
シムット少将指揮

0298 2

0298 1/2

RA'-0108

0257



外務省駐英大使事務官  
 労働一覽表  
 事務官長

要 求 部 隊	指 揮 者	職 別	人 員	出 勤 日 場	所
橋岡進駐軍司令部	子ノクウ少尉	電工 鋳工 電工 鋳工 電工 鋳工	四一五	八	橋岡市一丁目
第二分遣隊	ウヤマ ハルニカ少尉	人夫	二〇〇	八	香椎常品廠
第二八海兵隊 第五海兵分遣隊	右 同	大工 夫	二〇〇	八	筑紫工業建物
第五戰鬥機隊本部	マックブライト少佐	大工 夫	三〇	八	西部軍司令部
第五〇二工隊	ワシム少尉	大工 夫	八三五	八	西尾海軍航空隊
第五衛生隊	シロト少佐	人夫	一〇	八	憲兵隊本部建物
一六八八工隊	上ノハニ中尉 トビノ中尉 グアイ中尉	人夫 人夫 人夫	五〇 五〇 一〇一五	二 五	西尾留守所
第五艦隊指揮班	グラニニ少尉	鋳工 電工 鋳工 電工	一〇 一〇 一〇 一〇	四 三 三 三	九州飛行機 春日原兵器廠 春日原兵器廠
憲兵隊本部	ウヅクワ少尉	大工 夫	三〇	九	憲兵司令部
	ノトフサ少尉	人夫	一五	九	
	ウヅキ少尉	人夫	一五	九	春日原常品廠
	ヘンロウ少尉	人夫	一〇	九	
	アマト少尉	人夫	五〇	九	筑紫工業學校
	スビョウ少尉	人夫	一〇	九	
	ホノト少尉	人夫	六	九	三井物産代理店

0299





1000

要求部隊	指揮者	職別	人員	出動日	場所
第五航空隊指揮班	アムヘルグラー大尉	勤務者	三〇	一〇月一八	
第五航空隊指揮班	コルサバチ少尉	人夫	四〇	一〇月一八	春日原兵器廠
第五航空隊指揮班	ミープラード少佐	電工 水道工 木工	五〇 五〇 八五	一〇月一〇	
第六航空整備隊	ロトシ少佐	大工 船管工 電工 木工 その他	一五 一五 一五 一五 二〇	一〇月一〇	香椎飛行機修理所
第一〇九工隊	タイラー大尉	人夫 船管工	五〇 二〇	一〇月一〇	香椎青年學校
第三砲兵隊	カネキ少尉	人夫 船管工	一三 一四	一〇月二二	筑紫高女
福岡駐屯軍本部	ケンシ少尉	大工	四	一〇月二二	下
第一野戦部隊	ホイト大尉	人夫	一五	一〇月二二	香椎駐屯軍本部
第一四工隊	ウヘート大尉	人夫	一〇	一〇月二二	福岡捕鯨
第三五代學部隊	バトカー少尉	人夫	四〇	一〇月二二	松原陸軍工廠
砲兵隊	クレネラ少尉	人夫	六〇	一〇月二二	常備司令部
	ハリブ少尉	洗濯セ	一〇	一〇月二二	常備司令部
	トムロク少尉	人夫	六四	一〇月二二	香椎倉庫
第三師團	バーネカ少佐	人夫	一五	一〇月二二	千代田丸

0300

RA'-0108

0259

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

A1.0.0.2

終務總務部一課  
 聯合進駐軍連絡委員會回報第五百號 十一月八日  
 終務總務部一課  
 委員長  
 情報部長 殿  
 委員長  
 一 九州山口地區進駐米第五海兵軍團配屬表別紙第一  
 二 右海兵軍團管轄地域別紙第二 如シ



0302

電信寫

A1.0.0.2

特報

昭和三〇 一一八八 平  
 吉田外務大臣  
 第三號 (三急)  
 (進駐部隊動靜ノ旨)  
 進駐部隊第一歩兵師團一二七聯隊第一大隊ハ陸四ニ特送シ、  
 十八日第五水陸兩用部隊第一海兵師團第一大隊進駐セリ  
 向) 航空隊ハ從來通りナリ

山崎事務所長

應接 十月三十一日 〇〇〇〇  
 本省 十一月一日 〇〇〇〇  
 送

外務省

0301

RA'-0108

0260

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan



九州山口地区駐米第五海兵軍團配属表



0303

RA'-0108

0261

外交史料館

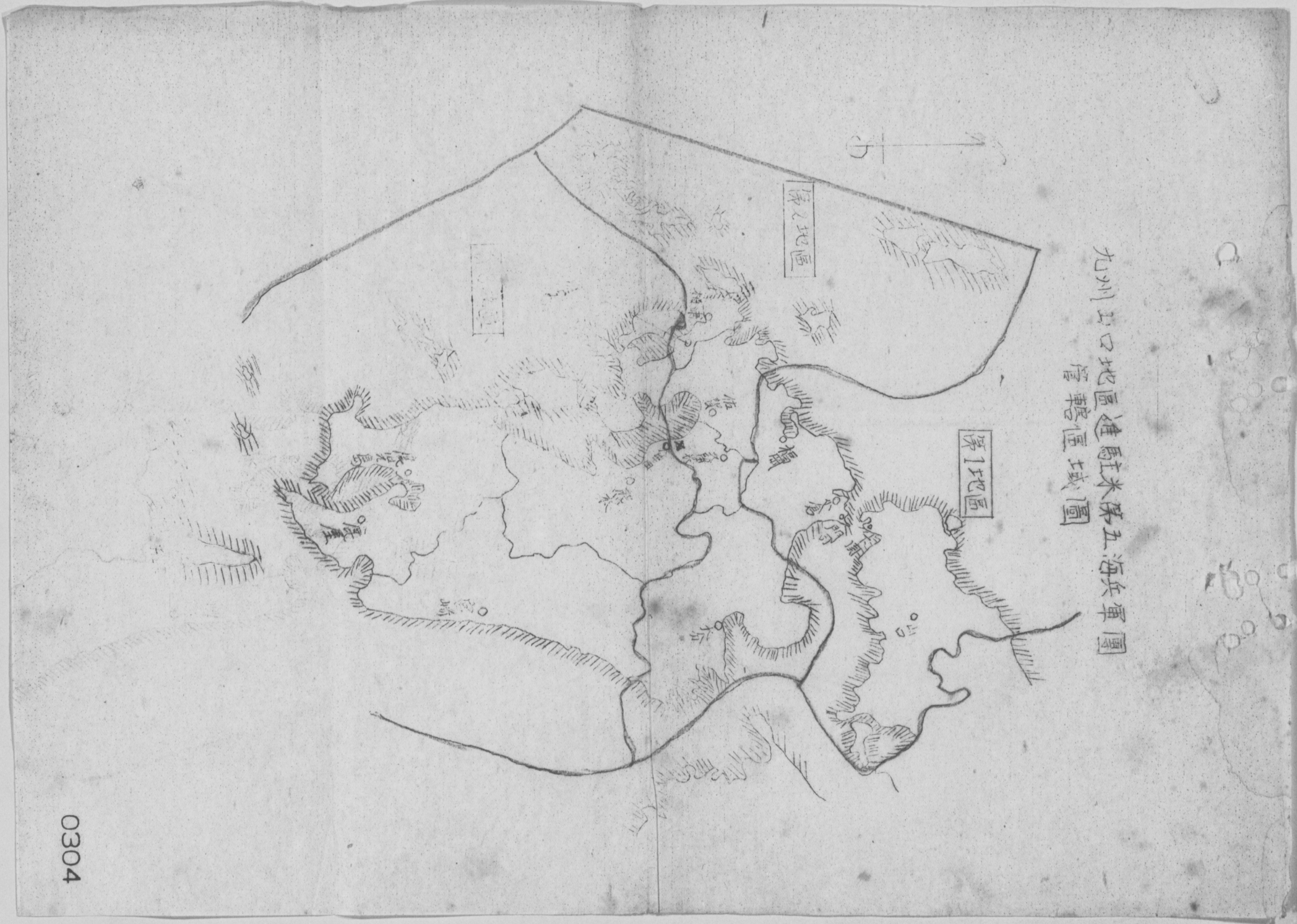
Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan





0304

RA'-0108

0262

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan



支那總務部

聯合進駐軍連絡委員會田部敦彦字五號 十月十日  
 委員長  
 委員 神谷有恩 野村長

一、香椎松原倉庫ヲル聯合軍海軍金員(輸送隊及彈藥隊其他  
 特殊作業隊ヲ除ク)ハ十月二日 至〇時〇〇分間同倉庫引込線臨時  
 列軍ヨリ佐世保向ト移駐セリ其兵力五〇〇ト推定(箱崎署情報)  
 右ハ九月五日進駐セシ海兵隊ヲ入駐隊兵力カ減テ三師團進駐  
 伴ト逐次之ヲ引込ルト判斷ス  
 二、進駐進駐兵力一覽表別紙如シ

建築物名稱	場所	接收月日	接收部隊	使用部隊
渡辺ノ所有四十二室 小島ノ所有 比島ノ所有 流石殿王所河内様	市田博多 在家庭 香椎所番租 箱崎	一一一 一一二 一一四	三三師 "	軍團前衛



0305

RA'-0108

0263

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

0306

(取扱ハ特ニ注意セラル度) 手書き別紙 計一〇、一九二 二、二二〇現在

福岡縣下聯合進駐軍兵力一覽表 總計一六七〇七

福岡地區

進駐日	宿營場所	部隊(指揮官)	人員	摘要
海軍隊 自九三〇 三〇一 三二師 自九三〇	西戸崎海軍航空隊及同附近	第五二〇一工作隊 第一六八八工作隊 第六地區部隊 第五戰隊指揮官	三四四	
	雁ノ巣	第三三師團附航空整備隊 第三三師團附航空整備隊	二〇〇	海軍第三八聯隊 八隊佐佐木作一 移動開始七二七
	香椎松原倉庫	海兵第三八聯隊 第三三師團附航空整備隊 第七三三步兵大隊 第七三三步兵大隊 第七三五化生部隊 第七三六二設營隊 第七三三設營隊	三六〇	
	香椎九飛	第一四〇九工作隊 第一九〇二工作隊	三〇〇	
	吉岡年時學校	第一四〇九工作隊	三〇〇	
	多良村土井倉庫	?	二七〇	
	箱崎福壽鐵工所	第一一四工作隊	二八八	
	一方亭武徳殿	ロビンソン司令部	約一五〇	
	進駐兵隊司令部	M.P.司令部 第三三師團司令部 第三三師團司令部 第三三師團司令部	二八〇	
	千代田ビル	第三九軍政部 第三九軍政部 第三九軍政部	一〇	
	福岡易保險司	第一三三野戰病院 第一五衛兵隊 第三三師團通信隊	八〇〇	内一五〇看護
	西軍司令部及同部裏	第一三三野戰病院 第一五衛兵隊 第三三師團通信隊	七〇〇	
	雜餉限九世推	第五戰隊機隊	二〇〇	
	春日原造兵廠	第五戰隊機隊	二〇〇	
	北九州市大野村白木庫	第三三師團通信隊	八〇〇	
	福岡精工所	第三三師團通信隊	八〇〇	
	大野村中央兵器	第一三三野戰病院 第一五衛兵隊 第三三師團通信隊	一五〇	



進駐日	宿 營 場 所	部 隊 (指揮官)	人 員	備 考
	東洋空軍製衣作所	第一一二部隊	二〇〇	
	山 本 六 十 七 八	第九四司令部		
	島 津 製衣作所	第四檢閲所		
	松 下 電 氣	港灣司令部		
	日 本 勤 産			
明 司 地 區	明 司 地 區	計 一、五〇		
	門 司 復 樂 部	海 兵 隊	三〇〇	近々第三十 二師團と交 渉中
	門 司 第 二 神 鋼 寮		五〇〇	
	門 司 復 樂 部	第一三師團一部?	二〇〇	
小 倉 地 區	小 倉 地 區	計 四、六五		
	白 銀 養 成 所	第一三二師團	一〇九九	
	北 方 競 馬 場	第一一二部隊	一五〇	
	北 方 第 三 十 部 隊	カトケス中佐	三三八	
	城 野 養 成 所		八一二	
久 留 米 地 區	久 留 米 地 區	計 八、〇〇		
	造 兵 廠 本 館 及 復 樂 部	第一一六部隊 アレン大佐	八五八	
	玉 屋	第一三五部隊 スナブシ大佐	二四〇	
大 牟 田 地 區	大 牟 田 地 區	計 二、五〇		
	第一豫備士官学校	海兵第五師團 藤原大佐	一五〇	
	師團司令部	ウチノハ大佐	一〇〇	
芦 屋 地 區	芦 屋 地 區	計 一、三五		
	市内三池港務所	海兵第三師團第八 聯隊二部 (中隊長カ)	三五〇	
	計 一、三五	ケネテイ中佐	三五〇	
備 考	備 考			一本表、外直及田川に各々小隊、散在部隊をシキモ、進駐シテリ 二、福岡地区各場所へ負へ所管警備隊員を報告、通報若務監督者 へ、見込等あり、福岡以外地区へ助役、散在警備者等、報告シテリ 三、北九州へ逐次兵力増加シテリ、云々

0307

RA'-0108

0265

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

2

報電線無察警

ト三西之警電中本校用警機 檢査出月学校ヲ下檢分  
一後離島カ。

0309

報電線無察警

局長	課長	事務官	主任	主任	主任	主任	主任	主任	主任
要理	小三洋	女	正統	①	定指	辨整	15	数	211
昭和二十年 11月 21日 時 分									
警電線無察警									
一十月十七日林町警察署ヨリ本署ヨリ三十一時一十分ニ									
檢査出月学校ヲ下檢分									
ト三西之警電中本校用警機									
一後離島カ。									

0308

RA'-0108

0266

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan



電信寫

A. 1. 002  
P. 1. 2. 0. 1

第九號	馬瀨局長	終連次長
（在福岡米車司令部所在ニ關スル件）		
貨電第一二號ニ關シ		
第五海兵師團福岡地區司令部撤退後福岡ニハ如何ナル司令部アリ		
ヤ報告相成度		
號	番	總
六	四	八
八	八	八
四		
號	符	
	平	
	昭	
	和	
	二	
	十	
	年	
	十	
	二	
	月	
	四	
	日	
	一	
	四	
	時	
	三	
	〇	
	分	
	三	
	〇	
	分	
	運	
	一	

記帳齊

0311

電信寫

P. 1. 2. 0. 1

昭和二〇	平	幅	岡	十	一	月	二	十	九	日	一	三	五	〇	時	五	〇	分	運
第一二號	吉	田	外	務	大	臣													
（第五海兵師團司令部撤退ノ件）																			
征電第一號ニ關シ																			
第五海兵師團福岡地區司令部「ロビンソン」代將ハ十一月二十五日																			
佐世休ニ歸還シ之ヲ以テ向司令部ハ福岡ヨリ撤退セララルコトトセ																			
リ																			

記帳齊

0310

RA'-0108

0267

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

陸軍省

極秘

終戦連絡部

昭和二十年十一月十四日

終戦連絡中央事務局總裁

児玉謙次 殿

終戦連絡作世保事務局長

河原 暖 一郎

米軍移動ニ関スル件

情報ニ依リハ相浦第五海兵師團司令部ヲ含ム兵力  
 約三千八百二十月初旬歸米スルヲ決定セル概ナリ但シ  
 同師團ノ兵力一万以上及第五海兵軍團ハ皆分當田地ニ  
 残留ノ由ナリ  
 第五海兵師團ハ明年二月歸米ノ予定ノ趣ナルカ同師  
 團引揚後ハ九州ハ第五海兵師團及第三十二師團ノ管

20.11.30

0312

0313

轄トナルモ當該司令部ハ現在地ニ止マルヤ或ハ當地又ハ他  
 ニ移駐スルヤハ未タ決定ヲ見ルニ至ラザル趣ナリ  
 右節參考迄ニ報告ス

RA'-0108

0268

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan



終戦事務

種別録



0314

聯合進駐軍連絡委員会回報第三十號 十一月十八日

外務省終戦連絡中支事務

情報 委員長 総務部長 委員長

海兵第六聯隊ウーシム大佐ハ十月二十六日佐古保陸路由ニテ米本國ニ帰國

久留米地區指揮官スターリング中佐ハ久留米ニテ都城ニ交代勤務処豫定変更ニ現在待命中ナリ

海兵第六聯隊ハ十月二十五日全員佐古保ニ集結後都城並ニ宮崎轉進スルモノニシテ之ガ交代ハ第一百二砲兵大隊ニシテ十月二十四日佐賀縣基山ヨリ久留米第一豫備士官學校ニ進駐ス其兵力左ノ如シ

大隊長兼久留米地區指揮官 キン 中佐

副官

ホルホルク中尉

大隊本部附

ジヨソン中尉

同

ミーラ中尉

並ニ之ガ麾下ニ屬スル陸兵隊六〇〇名

海兵隊所屬ニ意兵アトンスコットニツキ中尉以下五〇名ハ十月

二十日佐古保ニ集結シテ都城ニ轉進ス

又那進部隊(海兵第六聯隊ウーシム大佐)ト交代部隊(

第一百二砲兵大隊)キニ中佐ハ十月二十二日ヨリ二十四日迄ニテ

初カ引継ヲ實質施ヤリ

又十月二十六日現在久留米地區進駐軍兵力左ノ如シ

RA'-0108

0269

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

A/20.2

建物名稱	場	所	接收日期	接收部隊
松下金屬株式會社	筑紫郡二日市町	三月九日	兵器補給部隊	
大谷機軸株式會社	博多駅通博多区前		檢閲所	
大和生命	福岡市千代田区前		第三師團	
星野病院	西戸崎		第五師團	

一 部  
 二 部  
 三 部  
 四 部  
 五 部  
 六 部  
 七 部  
 八 部  
 九 部  
 十 部  
 十一 部  
 十二 部  
 十三 部  
 十四 部  
 十五 部  
 十六 部  
 十七 部  
 十八 部  
 十九 部  
 二十 部  
 二十一 部  
 二十二 部  
 二十三 部  
 二十四 部  
 二十五 部  
 二十六 部  
 二十七 部  
 二十八 部  
 二十九 部  
 三十 部  
 三十一 部  
 三十二 部  
 三十三 部  
 三十四 部  
 三十五 部  
 三十六 部  
 三十七 部  
 三十八 部  
 三十九 部  
 四十 部  
 四十一 部  
 四十二 部  
 四十三 部  
 四十四 部  
 四十五 部  
 四十六 部  
 四十七 部  
 四十八 部  
 四十九 部  
 五十 部  
 五十一 部  
 五十二 部  
 五十三 部  
 五十四 部  
 五十五 部  
 五十六 部  
 五十七 部  
 五十八 部  
 五十九 部  
 六十 部  
 六十一 部  
 六十二 部  
 六十三 部  
 六十四 部  
 六十五 部  
 六十六 部  
 六十七 部  
 六十八 部  
 六十九 部  
 七十 部  
 七十一 部  
 七十二 部  
 七十三 部  
 七十四 部  
 七十五 部  
 七十六 部  
 七十七 部  
 七十八 部  
 七十九 部  
 八十 部  
 八十一 部  
 八十二 部  
 八十三 部  
 八十四 部  
 八十五 部  
 八十六 部  
 八十七 部  
 八十八 部  
 八十九 部  
 九十 部  
 九十一 部  
 九十二 部  
 九十三 部  
 九十四 部  
 九十五 部  
 九十六 部  
 九十七 部  
 九十八 部  
 九十九 部  
 一百 部

終連 秘 20.12.18 周 榮

終連 秘 20.12.18 周 榮

20.12.17

0316

宿營場所	部隊(指揮官)	人員	摘
第一豫備士官學校	陸自三砲兵大場中佐	六〇〇	
師團司令部	海兵第三師團隊殘留班	若干	手合引揚子定未決 八廿月八日自下り定ナリ
三井町石橋氏別邸	キーン中佐	五	
久留米駐屯地		五	
久留米旭俱樂部	C. I. C. (情報班) マイクローン中尉	若干	

(以上久留米警察署情報員依ル)

0315

RA'-0108

0270

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan



終連軍務部

福岡縣

福岡縣下聯合進駐軍兵力覽表 約二八五〇〇

福岡地區 計約二八〇〇〇

進駐日	場所	部	隊	人員
九月未日 以降 三工師 主力八 十月二十 日以降	西 戶 崎	雁 巢	第五三〇工作旅団	一〇〇〇
			第一〇八八工作大隊	一〇〇〇
			第二八一一工作大隊	一〇〇〇
			第三〇二二工作大隊	一〇〇〇
			第五〇三三工作大隊	一〇〇〇
			第三三五戰鬥隊	一〇〇〇
			第七二陸兩用自動車部隊	一〇〇〇
			第三三三彈藥隊	一〇〇〇
			第三三三砲兵隊	一〇〇〇
			第三三三砲兵隊	一〇〇〇
香 椎 松 原 倉 庫	香 椎 九 飛 工 場	第三三七設營大隊	一〇〇〇	
		第三三九設營大隊	一〇〇〇	
		第三六一設營大隊	一〇〇〇	
		第三六九設營大隊	一〇〇〇	
		第三七二設營大隊	一〇〇〇	
		第三七三設營大隊	一〇〇〇	
		第三七四設營大隊	一〇〇〇	
		第三七五設營大隊	一〇〇〇	
		第三七六設營大隊	一〇〇〇	
		第三七七設營大隊	一〇〇〇	
香 椎 九 飛 青 年 博 子 校	香 椎 九 飛 工 場	第一四〇九工作大隊	一〇〇〇	
		第三三聯隊本部第三大隊	一〇〇〇	
		第三三聯隊特任道隊	一〇〇〇	
		第三三聯隊特任道隊	一〇〇〇	
		第三三聯隊特任道隊	一〇〇〇	
		第三三聯隊特任道隊	一〇〇〇	
		第三三聯隊特任道隊	一〇〇〇	
		第三三聯隊特任道隊	一〇〇〇	
		第三三聯隊特任道隊	一〇〇〇	
		第三三聯隊特任道隊	一〇〇〇	
多 々 良 橋 際 電 氣 研 究 所	多 々 良 橋 際 電 氣 研 究 所	第三三師團一部	一〇〇〇	
		第一四一工作隊	一〇〇〇	
		第一九八工作隊	一〇〇〇	
		第四檢閲所	一〇〇〇	
		臺灣部隊	一〇〇〇	
		島津製作、松下電氣	一〇〇〇	
		竹相崎、福壽、鐵工所	一〇〇〇	
		竹相崎、昭和製衣工	一〇〇〇	
		日本勤作	一〇〇〇	
		島津製作、松下電氣	一〇〇〇	

0317

RA'-0108

0271

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

進駐局	場所	部隊	人員
	千代田ビル	第三師団司令部 モクアライド代 第九軍政部	二〇〇 一〇〇 一〇〇
	津田 産業 (葉港)		二〇〇
	海軍ビル (旧九州海軍部)	第三師団特任隊	二〇〇
	教育會館 (放送局前)	第三師団通信隊	二〇〇
	西部軍司令部及第一高女	第一三三病隊	三〇〇
	簡 易 俣 陵 局	第三〇九綜合病隊 第五サ藥品研究所 第八三三リヤ制御隊	一〇〇〇
	大名町住友海上俣陵	第八三三リヤ制御隊	一〇〇
	板付 興 垂 炭 景	加農砲隊	三五〇
	板付 大 成 炭 景	第一八七六工作大隊	七〇〇
	航空 航 工	第一九〇二工作大隊	七〇〇
	東 洋 空 氣	第一一二二工作大隊	六〇〇
	雜餉隈九七航	第五八航空整備隊	一五〇〇
	雜餉隈九 兵	第一七七七工作大隊	一六〇
	大野村福岡精工	第三師団第二大隊	六〇〇
	大野村中央兵 器	第二〇九兵器大隊	五〇〇
	春日 原 造 兵 廠	第五戰斗機隊 第三七四通信隊 第六〇二通信隊 第三六〇砲隊	二五〇
	古 賀 射 場	第八三七航空隊	一〇〇
	第一〇四工場	第七二二野戰病院	
備	九月末第一次進駐ビルロビンソン海軍代将官率七七第五		
考	移駐ラ最後トシテ佐佐木保三帰還セリ		

以上一二月一日現在

0318

RA'-0108

0272

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan



進駐日	明司地区	計約一、〇五〇	人員
百六以降	明司俱樂部 明司第二神鋼寮	海兵隊 第三師團 一部	一、〇五〇
小倉地区	計約五、〇〇〇		
自一〇、八	白銀養食所 北方競馬場 北方第三師團 坂野養食所	第三師團 第一三師團 カーチス中佐 第三六部隊 アレン大佐	一、〇九 五〇〇 三三八 三三〇 八三三 五八
至一〇、六	造兵廠本館及俱會本部 玉屋	第三五師團 第三三師團 部下	三三〇 三三〇 一〇〇〇
其後			
久留米地区	計約一、〇〇〇		
第一予備士官生学校 第一三師團司令部	第一三師團 部下		六〇 五〇
大牟田地区	計約一、二五〇		
市川三港務所	海兵隊第二師團第八聯隊 一部 ケネディ少佐		三五〇
其他			
一〇、六	若松市	第三師團 第一師團	六〇
一〇、三〇	直六市	M.P.	三五
一〇、中旬	田川市	M.P.	五〇
一一、三	芦屋町	航空部隊	一〇〇

以上百目現在

0319

RA'-0108

0273

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

為戰務部一課

福岡縣

外務省陸軍連絡中央事務司總務部長殿

福岡縣下聯合進駐軍兵力覽表 計約二八五〇〇

進駐日 福岡地區

進駐日	場所	部	隊	人員
九月未日	西 戶 崎	第五〇二工作旅團	第一〇八八工作大隊	三〇〇
九月未日	雁 巢	第七〇陸軍自動車部隊	第三三師團砲兵隊航空班	一〇〇
九月未日	香 椎 松 原 倉 庫	第三三師團砲兵隊	第三三師團砲兵隊	三〇〇
九月未日	香 椎 九 飛 工 場	第一四〇九工作大隊	第一四〇九工作大隊	七〇〇
九月未日	香 椎 九 飛 青 年 進 子 校	第三三師團砲兵隊	第三三師團砲兵隊	一〇〇
九月未日	多 良 橋 降 電 氣 研 究 所	第三三師團砲兵隊	第三三師團砲兵隊	三〇〇
九月未日	多 良 橋 土 井 倉 庫	第三三師團砲兵隊	第三三師團砲兵隊	三〇〇
九月未日	多 良 橋 福 壽 鐵 工 所	第一四〇九工作大隊	第一四〇九工作大隊	四〇〇
九月未日	多 良 橋 昭 和 製 工	第一四〇九工作大隊	第一四〇九工作大隊	三〇〇
九月未日	島 津 製 作 松 下 電 氣	第四檢閲所	第四檢閲所	三〇〇
九月未日	日 本 勤 作	港 灣 部 隊	港 灣 部 隊	三〇〇



0320

RA'-0108

0274

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan



進駐場	進駐所	部	隊	人員
千代田ビル		第三師団司令部	マクスライド代將	二〇〇
津田産業(築港)		第三九軍政部		二〇〇
津田産業(築港)				一〇〇
海軍ビル(旧九州海軍部)		第三師団特任隊		二〇〇
教育會館(放送局前)		第三師団通信隊		二〇〇
西部軍司令部及第一高女		第三師団憲兵隊		三〇〇
簡易保健局		第一三三病院		一〇〇〇
		第三〇九綜合病院		一〇〇〇
		第五樂品研究所		一〇〇〇
		第八三三三管制隊		一〇〇〇
大名所住友海上保険		第八三三三管制隊		一〇〇〇
板付興運炭		加田辰砲隊		二五〇
板付大炭		第一八七六工作大隊		七〇〇
航空工		第一九〇二工作大隊		七〇〇
東洋航空		第一一二工作大隊		六〇〇
雜餉隈九飛		第一五八航空整備隊		一五〇
雜餉隈九兵		第一七七七工作大隊		一六〇
大野村福岡精工		第三聯隊第一大隊		六〇〇
大野村中兵兵器		第二九兵器大隊		五〇〇
春日原造兵廠		第五戰斗隊		二五〇
		第二七四通信隊		二五〇
		第六〇二通信隊		二五〇
		第三六戰隊		二五〇
古賀射場		第八三七航空隊		一〇〇
第一〇四一工場		第七二一野戰病院		一〇〇

備考  
 九月末第一次進駐ビルロビンソン海軍代將率員五  
 海軍隊ハ十月二十五日方亭三三三ビルロビンソン司令部  
 移駐ヲ最後トシテ去伴三俣還セリ  
 以上二三月一日現在

0321

RA'-0108

0275

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

門司地区	進駐員	門司俱樂部 門司第二神鋼寮	海兵隊 第三師團 二部	人員	計約六〇五〇
小倉地区	自〇・八 自〇・六 二〇・三	白銀養成所 北方競馬場 北方第三十部隊 城野美良成所 造兵廠本館及俱樂部 五	第三師團 第一三三部隊 カーク中佐 第三六部隊 アレント佐 第一三五部隊衛生隊 第三三師團隷下	一〇九 五〇〇 三八 三三〇 八三 八五八 三三〇	計約五、〇〇〇
久留米地区	其後	第一三師團司令部 第一三師團司令部 第一三師團司令部	第一三師團 第一三師團 第一三師團	一〇〇 一〇〇 一〇〇	計約一、〇〇〇
大牟田地区	一〇・五	市原三港務所	海兵隊第二師團第八聯隊 一部 ケネディ少佐	二五〇	計約一、二五〇
其他	一〇・三六 一〇・三〇 一〇・中旬 一一・三	若松市 直方市 田川市 芦屋町	第三師團一師團 M P M P 航空部隊	一六〇 二五 五〇 一〇〇	計約一、〇〇〇

以上一月現在

0322

RA'-0108

0276

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan



21204

昭和二〇 十一月八 平 福岡 十二月十二日一三〇〇發 連一  
 本省 十二月一日四四〇着

元玉總叙  
 (步兵第三二師團大牟田市進駐報告ノ件)  
 尾瀨局長

富地駐屯ノ第三二步兵師團ノ一部ハ最近大牟田ニ進駐ヲ開始シ同師  
 團司令官モ之ヲ確認セリ之ニ依リ第三二師團ハ福岡縣全土ヲ管轄ス  
 ルコトトナレリ(了)

0323

21204

昭和二〇 十一月二十三 平 佐世休 十二月二十三 連一  
 本省 二十三日着

元玉總叙  
 (駐屯軍交代ノ件)  
 河原島初局長

第五海兵(軍團司令部ハ本月末日引揚師團長阿第一師團司令部  
 カ富地へ移轉スル旨内報アリタリ)

0324

陸軍部

佐世連第百四號

昭和二十一年十月二十九日

佐世連佐世係事務局長

陸軍部中央事務局總裁 殿

米海兵第百二師團佐世係移駐ニ関スル件

一 米海兵第百二師團カ長崎ヨリ当地ニ移駐ノ次第ハ既ニ電報ノ通リナリ同師團ノ管轄區域ハ福岡大分ノ兩縣ヲ除キタル九州各都府及ソラ以テ廣事務局ノ管轄區域ニ示レテ兩縣ヲ除キタル九州各都府ト政令ニ付右ニ御承知相成度  
(十月二十日接到、十日附外務省告示第百十号ニ依リハ、陸軍部中央事務局ハ米海兵第百二師團カ五水陸兩用軍團

海軍

第百二海兵師團ト同キ區域ヲ管轄ス。但シ管下ノ他ノ陸軍各師團ノ管轄ノ所管ニ属スルヲ除キトス。師團司令部カ当地ニ是以上事實ニ示テ示シテ師團管轄區域内ニ是以上事實カ、其知事務局ニ付テ之ヲ處理スヘキト止ラリ得サル所ナリ。從テ之ヲ廣事務局ハ廣事務局ノ管轄區域内ニ是以上事實カ、其知事務局ニ付テ之ヲ處理スヘキト止ラリ得サル所ナリ。從テ之ヲ廣事務局ハ廣事務局ノ管轄區域トスルニ一考スルヘシ  
二 当地内ノ海兵先鋒隊ハ既ニ恒久的的宿營施設ヲ開始シ居ル中ニ是以上事實ニ付テ之ヲ處理スヘキト止ラリ得サル所ナリ。内報ニ依リハ福岡第百三師團ノ何レ早晚協同シテ後、九州ノ各都府ニ海兵先鋒隊カ中心トナル所ナリ。從テ之ヲ廣事務局ハ廣事務局ノ管轄區域トスルニ一考スルヘシ  
三 佐世連第百四號ノ特ニ御承知相成度、(先般貴國ガ事務官出張ノ際、其ノ中九州ニ殘留スルコトナリ、其ノ觀測ヲ進ヘ

陸軍部 2115 秘書課

21.5

0325

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

RA'-0108

0278



置キタルカ其ノ後ノ情報及中ノ地圖ノ者地ニ於ケル致シテ  
ソ見ルニ第一外國ノ各地ヲ根據地トシテ長期滯留スルヤト明  
白ナルニ付右ノ如ク述ベテ置ク

海軍

0326

RA'-0108

0279

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

電信寫

2/12/24

昭和二一 三一 平 長崎空軍第一月六日一三〇〇發 連一  
 本管 七日一〇一〇着 若松事務局長  
 兒玉 總 裁  
 (進駐軍移駐ニ關スル件)  
 客年九月以來當地ニ駐屯セシ米第二海兵團ハ最近佐世保ニ移駐ス  
 ルコトトナリ舊駐二十六日以降移動ヲ開始中ナリシ處既ニ大部分  
 ノ搬送ヲ終ヘ司令官「ハントン」少將ハ幕僚ト共ニ本六日佐世保  
 ニ向ケ出發セリ  
 右ト入替リニ練早ニ定中セリ同師團第一〇聯隊ノ大部分當地ニ來  
 駐スルコトトナリ既ニ移動ヲ開始セルカ指揮官「クラーク」大佐  
 ハ今朕中ニ來降スル意ナリ(了)  
 既布先 次官、政長、政一、總裁、次長、終戰各部隊

外務省

0327

電信寫

2/12/24

昭和二一 二〇六 平 佐世保 一月八日一三〇〇發 連一  
 本管省 八日一四二〇着 河原事務局長  
 兒玉 總 裁  
 (第二師團司令部進駐ニ關スル件)  
 七日第二師團司令部當地ニ進駐シ第五海軍團ト交替ヲ了セリ  
 福岡、鹿屋事務局、大分福岡ヲ除ク九州各縣知事ニ傳達セリ  
 既布先 次官、政長、政一、總裁、次長、各部長、秘書、連一、三

外務省

0328

RA'-0108

0280

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan



終連事務部

佐世連第四號

昭和二十一年一月三十一日

終連佐世連事務局長

河原隆一郎

見玉 謙次 殿

終連佐世連中央事務局總裁

進駐聯合軍兵力配置ニ関スル件

本件ニ関シ新軍政部長「フイヒン」少佐、本官ニ対シ説明  
左ノ通リ報告申進ス

一、一月二十日米軍政部長「進駐軍」ヨリ獨立シテ直接京都

A'1.0.0.2

終戰連終佐世保事務局

終連 21.2.5. 秘書課

21.2.-5

終連

0329

0330

第一軍團ニ帰属スルトナリ後テ九州方面ニ於テ六軍軍  
方面、徵發(調達)物資及勞務ヲ命令ハ第一師團司令  
部之ヲ統轄シ、軍政方面ハ左ノ如ク第九十五「カール」之ヲ  
統轄ス

二、(1)第二師團司令部所屬各隊、配置及管轄區域左ノ  
通リ

第二隊 (宮崎縣・大分縣) 一宮崎

第八隊 (熊本縣・鹿兒島縣) 一熊本

第十隊 (長崎縣) 一長崎

第六隊 (福岡縣・山口縣) 一福岡

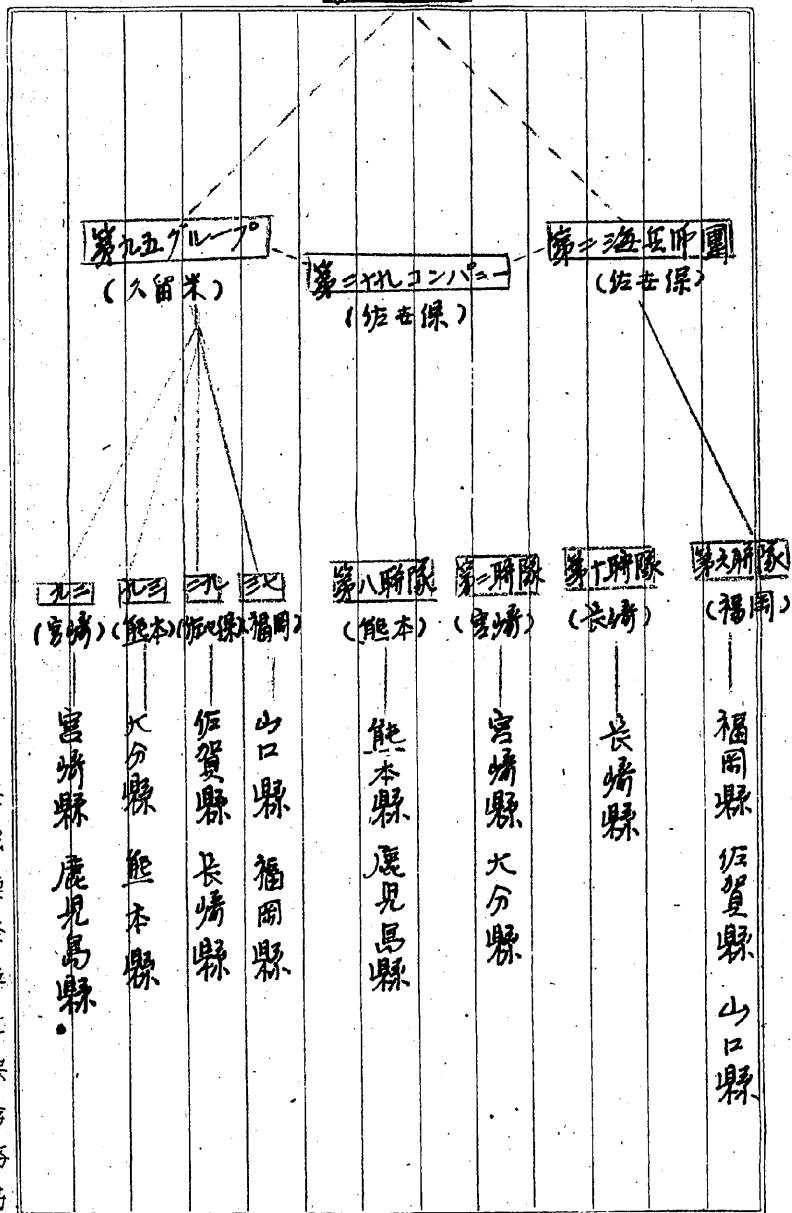
(4)軍政部長第九十五「カール」ノ組織左ノ通リ

第九十五「カール」(鹿兒島縣・宮崎縣) 一宮崎

第九十三「カール」(熊本縣・大分縣) 一熊本

終戰連終佐世保事務局

第一軍團



終戰連終佐世保事務局

0332

第二十九「コンパニー」 (長崎縣・佐賀縣) — 佐世保  
 第三十七「コンパニー」 (福岡縣・山口縣) — 福岡  
 第二十九「コンパニー」ハ佐世保ニ在リ右ハ長崎・佐賀・軍政ヲ統轄スル外第二師團司令部ト第九五「グループ」トノ連絡ニ當ルコト・ナリ居レリ但シ長崎・佐賀兩縣ノ軍政事項ハ四縣廳所在地ニ於テ「第二十九「コンパニー」」ノ代表者ニ依リ直接處理セラルル尚考考ノ為右ノ圖示セハ存存 左ノ通り

終戰連終佐世保事務局

0331

RA'-0108

0282

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan





電信寫

P12014

昭和二一 五〇三二五 平  
吉田總裁  
第三〇號

福岡 二月四日一〇〇〇發  
本省 四月一〇二五着  
川崎事務局長代理

記帳簿

(福岡山口地區進駐軍交替ノ件)  
從來福岡山口進駐ノ歩兵第三二師ハ本月一日附ヲ以テ海兵第二師  
第六聯隊ト交替セリ、尙第五戰團隊ハ從來通り進駐シ居レリ(了)  
配布先 文、電、總裁、次長、各部課長

0335

外務省

P12012

昭和二一 一八三八 久留米  
吉田總裁  
第一七號(至急)

五月三日一七二一分發絡總  
本省 四月一〇二九分着  
根道事務局長

(第二四歩兵師團ノ九州地區進駐ニ關スル件)  
第二四歩兵師團ノ九州地區進駐ニ關シ本三日午后當地第九五軍政  
團司會ニテ會議アリ未ダ續行中ナル處現在迄ノ決定事項トシテ副  
官ノ本官ニ語リタルモノ左ノ通り

(イ)司令部ヲ小倉ニ置ク  
(ロ)進駐軍各部隊所在地ハ未定ナルモ佐世保ハ少カルベシ  
(ハ)第九五軍政團ノ移轉說(鈴木發總裁宛第一三三號參照)ニ關  
シテハ未定ニテ久留米ニ存置シタキ意向ナリ  
細決定次第報告ス  
配布先 次官、文、會、電、總裁、次長、総務各部長

(了)

外務省

0336

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

RA'-0108

0284



UNITS UNDER THE COMMAND OF 2ND MARINE DIVISION

- Automotive Co. 8th Service Regiment
- Auto Resupply 8th Service Regiment
- Motor Transport Bn. 8th Service Regiment
- Service Bn. 8th Service Regiment
- Service Co. Hq. 8th Service Regiment
- Signal Co. Hq. Bn. 8th Service Regiment
- Hqs. Bn. 2nd Marine Division
- Hqs. Co. Hqs. Bn. 2nd Marine Division
- 2nd Engineering Bn. 2nd Marine Division
- 2nd Pioneer Bn. 2nd Marine Division
- 2nd Serv. Bn. 2nd Marine Division
- 2nd Tank Bn. 2nd Marine Division
- Special Service 2nd Marine Division
- Hq. Bn. Motor Transport
- Military Police Co. Hqs.
- Port Director
- Provost Marshal
- R. T. O.
- Second Medical Bn.
- 2nd Motor Transport "Duck Co."
- 2nd Motor Transport Bn.
- Shore Brigade-----Colonel
- Shore Patrol-----Lieutenant
- 31st N.C.B.

0339

A/1002

進駐軍兵力配置に関する件

昭和二十一年五月二十日

鐵道局長 河原三郎

陸軍省 吉田 茂 殿

佐世達第一六號

別紙 附

133

2.5.23

海軍

本件に関し本年一月十二日附給總の一普通合第一〇号貴信  
 御申越の次第了承當事務局管轄區域内に於ける進駐軍配  
 置状況に關しては第一師團司令部に於て斯種情報を供給  
 せざる方針を堅持し居り報告を提出することが出来な  
 かつた次第で本報告の内容は御趣旨に十分には沿はざる  
 ありとも何等御参差當別表の通り報告申進する

0337

RA'-0108

0285

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

進而第二師團現在の兵力總数は約七千名である

編制表

0338

UNITS UNDER THE COMMAND OF 2ND MARINE DIVISION

- Automotive Co. 8th Service Regiment
- Auto Resupply 8th Service Regiment
- Motor Transport Bn. 8th Service Regiment
- Service Bn. 8th Service Regiment
- Service Co. Hq. 8th Service Regiment
- Signal Co. Hq. Bn. 8th Service Regiment
- Hqs. Bn. 2nd Marine Division
- Hqs. Co. Hqs. Bn. 2nd Marine Division
- 2nd Engineering Bn. 2nd Marine Division
- 2nd Pioneer Bn. 2nd Marine Division
- 2nd Serv. Bn. 2nd Marine Division
- 2nd Tank Bn. 2nd Marine Division
- Special Service 2nd Marine Division
- Hq. Bn. Motor Transport
- Military Police Co. Hqs.
- Port Director
- Provost Marshal
- R. T. O.
- Second Medical Bn.
- 2nd Motor Transport "Duck Co."
- 2nd Motor Transport Bn.
- Shore Brigade-----Colonel
- Shore Patrol-----Lieutenant
- 31st N.C.B.

0340

海  
軍

RA'-0108

0286



P1.2.0.4

昭和二一 二四七二 平 久留米 五月二十五日 一六 發 絡總局  
 本 卷 二十六日 九〇七着  
 根道事務局長

吉田 總裁  
 第三二號 (至急)

(進駐軍移轉に關する件)

當地第九五軍政團トツド 副官の言に依れば  
 (一) 佐世保駐在第二九軍政中隊は六月五日迄の間に漸次佐賀市に移  
 轉の豫定

(二) 第二十四師團司令部の小倉駐在は一時的であるが最終的駐在位  
 置は未だ決つて居ないと  
 京都、福岡に轉電した

配布先 總裁、次長、總務、各政團長、秘書、各總、各政團  
 軍、文、電

0341

外務省

A10.0.2

使送文の件  
 昭和二十一年五月三十一日  
 終戦連絡中央事務局  
 終戦連絡福岡事務局

先玉隊開隊後及留米に於ける報告の件  
 當地先玉隊開隊後技術便を初めの報告に於ては  
 内誌七五と二六に依り先玉隊開隊の進捗と煤撃  
 隊との合併に對し、關東部隊を編成し九州  
 に於ける補給に對し、故郷を新に編成し九州  
 従前通りふる如く、先玉隊の板  
 付(別名中隊)を煤撃隊用として隊開隊

0342

終戦連絡福岡事務局

用は充ての予定に於ては、敷設場所は  
 張に鑑み、北山甲、下、撫で、下、全軍  
 場には、B 29 甲の滑走路の二本目を新  
 設甲、F-2 爆撃機に採用として、附近山  
 丘利用の方設計甲、下、由である。  
 他方、如きもの場合には、許の甲、下、命、下、命、  
 り、下、命、下、命、下、命、下、命、  
 の許可あり、下、命、下、命、下、命、  
 の由に、下、命、下、命、下、命、  
 此、下、命、下、命、下、命、  
 以上、米軍が九州、戦部、と、止、前、進、基  
 地として、重要視してあることを、諒解す  
 る。資料として、当局、及、十倉、市の

(別添) 巻頭

終戦連絡福岡事務局

0343

将来の重要性は、  
 甲、上、下、  
 報告

0344

終戦連絡福岡事務局

